

菌類 Fungi

大型菌類 Macrofungi

城川四郎¹⁾・三村浩康¹⁾・井上幸子¹⁾・藤澤示弘²⁾

Shirou Kigawa, Hiroyasu Mimura, Sachiko Inoue & Tokihiro Fujisawa

要 約

2004年から2005年の2ヶ年を費やし、丹沢山地の大型菌類相調査を行い、丹沢山地産大型菌類目録を作成した。調査範囲は丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園及びその周辺とした。本目録には今回の調査で得られた2797点の標本のうち、分類学的検討により種と認められたもの792種を登載した。尚、標本の検討は未完であり、継続中である。

凡 例

1. 原則として科の配列は自然分類に従い、種の配列は学名のアルファベット順としたが、説明の都合上並べ替えたものもある。
2. 各種の記述は種整理番号、和名または仮称、学名を1行目に記し、次行に分布情報と付記、標本の引用を記した。
3. 仮称和名には（命名者+T）が付記してある。命名者の青木は青木 実、Kは城川四郎、Mは三村浩康の略、TはTentativeの略である。
4. 学名は現在最も適当と判断されるものを用いた。
5. 標本の引用は標本番号、採集地、採集者の順で記し、普通種については採集地と採集者を省略したものがある。なお、本調査で採集された標本は全て神奈川県自然環境保全センターに収蔵されている。
6. 標本番号の頭から8桁目までは採集年月日、下3桁は整理番号である。
7. 目録のとりまとめと執筆は執筆者4名で行ったが、現地調査には執筆者の他に調査員として神奈川県キノコの会会員の市川敦子、巖昭子、岡はま子、黒谷秀夫、清水芳治、中島稔、西村幹雄、増子忠治、三村京子、宮川一孝、山口義夫、渡部利枝、の各氏に参加して頂いた。菌類懇話会の佐々木廣海氏には調査協力員という形で参加して頂いた。また、出川洋介氏を始めとした微小菌類グループの皆様には丹沢山地内で採集された多くの標本をご提供頂いた。この場を借りて厚くお礼申し上げる。

子囊菌類亜門 Ascomycotina

盤菌綱 Discomycetes

ヒナノチャワントケ科 Hyaloscyphaceae

ハリミノヒナノチャワントケ *Lachnum apalum* (Berk. & Broome) Nannf.
材上生。径0.5mmの皿型、子囊盤は淡黄色、胞子は針状。普通種。20040616015。

オルビリアキン科 Orbiliaceae

ダイダイオルビリア (KT) *Orbilina* aff. *sarraziniana*

材上生。径6mm以下の茶碗型、子囊盤は橙赤色で透明感あり、子囊のヨード反応は陰性、胞子は7-8 × 0.5 μm、側糸の先は球状、托外皮は多角形細胞。20041014055、堂平、山口義夫。

ズキンタケ科 Leotiaceae

ムラサキゴムタケ *Ascocoryne cylichnium* (Tul.) Korf

材上生。径10mmの浅い皿型、暗紫色、ゼラチン質。普通種。20041014059、堂平、巖昭子。

ビョウタケ *Bisporella citrina* (Batsch.) Korf & S.E.Carp.

材上生。径2mmの有柄皿型、黄色、胞子は狭楕円形、9-14 × 3-5 μm、托外皮層の菌糸は癒着。神奈川県低地には分布が少なく、ブナ帯では多産。20040901098。

ビョウタケ属の一種 *Bisporella* sp.

検討中。20051025063、大又沢、清水芳治。

ロクシウグサレキン *Chlorociboria aeruginosa* (Oeder) Seaver ex

C.S.Ramamurthi, Korf & L.R.Batra

材上生。子囊盤は径5mm、緑青色、着生材も緑青色に染まる。普通種。

ニセキンカクアカビョウタケ *Dicephalospora rufocornea* (Berk. & Broome) Spooner

形態的にビョウタケに類似するが柄の基部に黒色帯（子座）があり、胞子は細長い。神奈川県平地に分布するビョウタケ状の菌はほとんど本種で、標高の高い地域の分布はごく稀である。丹沢のブナ帯には分布しないと考えていたが堂平で確認された。20040705013、堂平、巖昭子。

ズキンタケ *Leotia lubrica* (Scop.) Pers f. *lubrica*

地上生。有柄頭球状。普通種。20040908125。

ダイダイビョウタケ (KT) 所属検討中

腐木材上生。ビョウタケ型、径2-3mm、集団密生し、おしくらまんじゅう状、明橙色。子囊は150 × 7 μm、ヨード反応陰性。胞子は狭紡錘形、10 × 2.5 μm、非アミロイド、側糸は先端が幅6 μmの紡錘状に膨大し、橙色の細胞液を満たす。托外皮は多角形細胞よりなる。20051108092、堂平、宮川一孝。

ニカワチャワントケ *Neobulgaria pura* (Pers.) Petr.

材上生。類白～淡紫褐色、こま型。20040908038、西丹沢忍橋付近、黒谷秀夫。

ウラグロウスキハナビラタケ (KT) 所属検討中

材上生。大小不規則な花卉状片に分かれ、長さ9cm、幅6cm、高さ4cmほどの集塊を形成する。各花卉状片の表面は淡黄色、裏面は黒褐色。厚さはほぼ1mm。子実層が100 μm、托外皮層が100 μm、肉層は700-800 μmでややゼラチン化。子囊は40-50 × 3-4 μmで8胞子を入れ、ヨード反応はない。胞子は楕円形、3 × 1-1.5 μm、非アミロイド。托外皮層は球囊細胞よりなる。20041105026、イデン沢、佐々木廣海。

ノボリリュウタケ科 Helvellaceae

オオシトネタケ *Discina parma* J.Breitenb. & Maas Geest.

材上生。堂平採集品（20050510074）の胞子両端は、網状突起が他部より高くなるが、多くの文献に示すような刺状突起は認められない。今後検討を要する。20050510074、堂平、城川四郎。

フクロシトネタケ *Discina perlata* (Fr.) Fr.

ヒノキ切株上に発生。普通種。20050510073。

シャグマアマミガサタケ *Gyromitra esculenta* (Pers.) Fr.

針葉樹林地上生。春季発生。生食有毒菌として有名。丹沢では稀。20050510002、堂平、三村浩康。

ヒグマアマミガサタケ（トビイロノボリリュウタケ）*Gyromitra infula* (Schaeff.) Quél.

地上とときに腐朽材上生。秋期発生。20051108009、堂平、巖昭子。

ノボリリュウタケ *Helvella crispa* (Scop.) Fr.

地上生。普通種。20040908127。

アシボソノボリリュウタケ *Helvella elastica* Bull.

地上生。普通種。20040908128、西丹沢、清水芳治。

クロノボリリュウタケ *Helvella lacunosa* Afzel.

地上生。普通種。20040901097。

ナガエノチャワントケ *Helvella macropus* (Pers.) P. Karst.

地上生。普通種。20051025086。

1) 神奈川県キノコの会 2) 神奈川県自然環境保全センター

アミガサタケ科 Morchellaceae

ヒロメノガリアミガサタケ *Morchella costata* (Vent.) Pers.

地上生。ブナ帯に限って発生し、平地・里山での発生を見ない。形態変異の著しい *Morchella* のなかで唯一、形態的特徴が明瞭な種である。20050522001, 大山, 巖昭子。

アミガサタケ *Morchella esculenta* (L.) Pers. var. *esculenta*

地上生。春季発生。形態変異が多い。普通種。20050510001。

チャワンタケ科 Pezizaceae

カバイロチャワンタケ *Pachyella chlypeata* (Schwein.) Le Gal

材上生。普通種。20040922053, 堂平。

シワミノチャワンタケ (KT) *Peziza* sp.

暗褐色。径 3cm の浅い茶碗型。胞子は楕円形、15-19 × 8-10 μm, 不規則なしわ状隆起があり、部分的に網を形成する。子嚢は円筒状、100 × 15 μm, 先端はヨード青変。側糸の先は膨れない。20040908044, イデン沢, 井上幸子。

オオチャワンタケ *Peziza vesiculosa* Bull.

普通は腐植質の多い基質に発生するが、イデン沢での採集品は清流に洗われる岩盤上に生え、生態的に興味深い。20041105034, イデン沢, 市川敦子。

タルゼツタ・カティヌス *Taruzetta catinus* (Holmsk.) Kort & J.K.Rogers
ブナ林床に生えることが多い。20040108042, イデン沢, 山口義夫。

コゲチャヒラチャワンタケ (KT) 所属検討中

材上生。ほとんど平坦、径 20mm, 黒褐色。子嚢は 200 × 15 μm, ヨード反応なし。胞子は広楕円形、平滑、油球なし、非アミロイド、25 × 13 μm, 側糸は中部より上部は幅 8-10 μm, 黒褐色の内容物がある。20041105034, イデン沢, 市川敦子。

チビクロチャワンタケ (KT) 所属検討中

材上生。茶碗型、径 5-8mm, 全体黒色。断面は子実層、ゼラチン層、色素層、托外皮で構成。子嚢は 250 × 10 μm, 先端ヨード青反応。胞子は非アミロイド、狭紡錘形、やや三日月型で両端は尖り、ときに隔壁がある。側糸は糸状で先端わずかに膨らみ、托外皮は多角形細胞よりなる。20051025062, 大又沢, 宮川一孝。

ピロネマキン科 Pyronemataceae

ヒイロチャワンタケ *Aleuria aurantia* (Fr.) Fuckel

地上生。普通種。20041014063。

キチャワンタケ *Caloscypha fulgens* (Pers.) Boud.

地上性。針葉樹林床に生える。普通種。20050416001。

コプロビア・グラヌラタ *Coprobria granulata* (Bull.) Boud.

顕微鏡的特徴は標記学名の菌にほぼ一致するのでその学名を当てたが、*Coprobria granulata* の子実体は 1-3mm の小菌であるという。採集品の子嚢盤は径 10mm を超えるものであり、生態的にも本来、家畜の糞などに生えるという *C. granulata* とは別種の疑いもある。子嚢盤の径は 5-10mm, 浅い皿型、子実層面は橙赤色、辺縁は多少不規則に切れ込みがある。外壁は淡色。子嚢は円筒状で 200 × 10 μm, ヨード反応はない。胞子は無色、平滑、楕円形で油球を含まず 14-16 × 7-8 μm, 側糸は糸状で長さほぼ 180 μm, 先端は球状に膨らむ。托外被層は径 100 μm の類球形の細胞で構成される。20051025061, 西丹沢大又沢, 巖昭子, 図 1 参照。

コプミノアラゲコベニチャワンタケ (KT) *Scutellinia badio-berbis* (Berk. ex Cooke) Kuntze

生態および肉眼による外見からは後 2 種と区別できない。皿型、径 5-10mm, 橙赤色。縁と外面に褐色、鋭尖頭、厚壁の剛毛

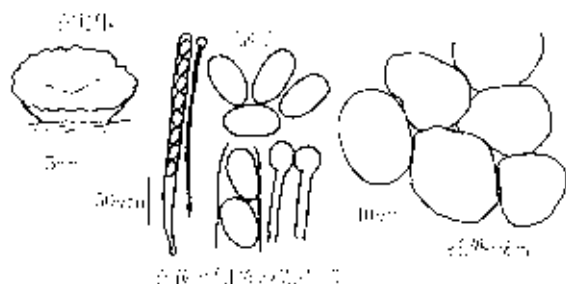


図 1. コプロビア・グラヌラタ *Coprobria granulata* (Bull.) Boud. (20051025061 西丹沢大又沢 巖昭子)

がある。子嚢は 250-300 × 25 μm, ヨード反応は陰性、8 胞子を入れる。胞子は広楕円形、無職で表面に不規則なこぶ状隆起があり、19-21 × 11-13 μm. 側糸は先端部が多少膨らむ糸状。20050913091, 丹沢山, 黒谷秀夫。

アラゲコベニチャワンタケ *Scutellinia scutellata* (L.) Lambotte

腐植質地上または腐木材上生。普通種。20040616018。

アミノアラゲコベニチャワンタケ (KT) *Scutellinia* sp.

腐木に生える浅い皿形、朱赤色の小菌である。普通種のアラゲコベニチャワンタケと、生態および肉眼による外見からは区別できない。径 5mm, 子嚢盤は橙赤色、辺縁には茶褐色の長い剛毛があり、その長いものは 1mm を超える。外側の剛毛は短い。子嚢は円筒形、ほぼ 300 × 30 μm, ヨード反応は陰性、8 個の胞子を入れる。子嚢胞子は広楕円形、無色で表面に網状隆起があり、網状隆起も含めて 20-23 × 15-16 μm, 網状隆起の高さはほぼ 2.5 μm. 側糸は頂部の膨らんだ糸状で、頂部の幅はほぼ 10 μm, 赤橙色の色素を含み、隔壁がある。20041014061, 堂平, 巖昭子, 図 2 参照。

ベニチャワンタケ科 Sarcoscyphaceae

シロキツネノサカズキ *Microstoma floccosa* (Schwein.) Raitv. var. *floccosa*

材上生。普通種。20040705051。

ニクアツベニサラタケ *Phillipsia domingensis* (Berk.) Berk.

材上生。暖地性のキノコとされており神奈川低地では普通種である。大又沢で確認されたが分布に注目したい。20051004174。

ベニチャワンタケ *Sarcoscypha coccinea* (Jacq.Sacc.) Lambotte

材上生。普通種。20041105029。

ベニチャワンタケモドキ *Sarcoscypha occidentalis* (Schwein.) Cooke.

材上生。普通種。20040908131。

オオミノミブサタケ *Wynnea americana* Thaxt.

ミブサタケ属で日本の分布が知られているものには本種と次種があるが、ふつうミブサタケに一括される場合が多いので、本種の分布の実態は明らかではない。今回、長尾尾根と檜洞丸で採集された 2 点は本種と同定された。子実体に縦すじがあり、胞子の大きさは 39 ~ 44 × 16 ~ 18 μm. 20040901001, 長尾尾根, 増子忠治。

ミブサタケ *Wynnea gigantea* Berk. & M.A.Curt

地上性。普通種。20041014162。

クロチャワンタケ科 Sarcosomataceae

オオゴムタケ *Galiella celebica* (Henn.) Nannf.

材上生。暖地性のキノコとされており神奈川低地では普通種である。長尾尾根で採集されたが分布に注目したい。20040901197。

イモタケ科 Terfeziaceae

ヒドノポリテス の一種 *Hydnobolites* sp.

落葉下。半地下性子嚢菌。20040705169。

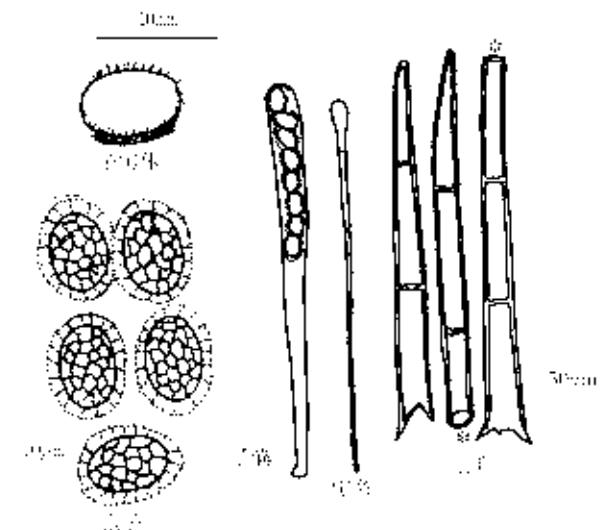


図 2. アミノアラゲコベニチャワンタケ (KT) *Scutellinia* sp. (20041014061 堂平 巖昭子)

ヒドノポリテス的一种 *Hydnobolites* sp.
落葉下。半地下性子實體。20040816120。

核菌綱 *Pyrenomycetes*
麦角菌科 *Clavicipitaceae*

ボーベリア ブロンニアティ *Beauveria brongniartii* (Sacc.) Petch
気生型。採集標本の寄主は甲虫のクワガタ♀で、その体表上に柄を介さず直接分生子を形成し、白色の粉末状。分生子は楕円形～類球形で $2.6-3.1 \times 1.7-2.0 \mu\text{m}$ (酷似する *Beauveria bassiana* の分生子は楕円形を含まない)。普通種。完全世代は *Cordyceps brongniartii*。20041014077, 堂平, 巖 昭子。

サナギタケ *Cordyceps militaris* (L.) Link
地生型。蛾の蛹～幼虫に寄生する冬虫夏草類で、子實體は単一ないしは複数本を生じ、棍棒形か長紡錘形。地上部の高さは2～10cm, 淡朱橙色, 肉質。子嚢殻は半裸生型で、孔口は尖ったイガ状に突出, 2次胞子は $2-3.5 \times 1 \mu\text{m}$ 。山地の高所から低地の広葉樹～針葉樹林内地上に発生の普通種。不完全世代は *Verticillium* 属。20050802011。

コソボホソエノタンポタケ (MT) *Cordyceps* sp.
標準的なタンポタケは、頭部が橙黄色 (後に褐色～暗褐色) で、柄は黄褐色, 太めの円柱形である。これに対し、柄が細く、白っぽいネズミ色で、頭部が黒っぽくなるものをホソエノタンポタケと呼び、種内で区別されている。本種は、外観的にこのホソエノタンポタケに相当するが、2次胞子が小さく $8.5-15.3 \times 2.6-3.4 \mu\text{m}$ (標準は $18-27 \times 2.5-3 \mu\text{m}$ の裁断状紡錘形) であり、別種とした。子實體は、汚褐色菌糸マットに覆われたツチダンゴ (種は未同定) から、直根状に黄色味の強い細めの柄 ($8.0-8.5\text{cm} \times 2.5-4\text{mm}$) が立ち上がり、頭部に黒褐色疣を突出した球形子座を付ける。柄の上部には灰褐色繊維状ササクレがある。20050628127, 堂平, 清水芳治。

ウスキサナギタケ *Cordyceps takaomontana* Yakush. & Kumaz.
地生型。時に腐朽の進んだ朽木に発生する。広葉樹またはスギを交える林内で、蛾の蛹に発生。子實體は単一か複数個を生じ、僅かに膨らむ円筒棍棒形。高さ1.5-4cm, 淡いシトロンイエロー。上半部に子嚢殻を付け、半裸生で孔口がイガ状に突出。2次胞子は $3.8-7 \times 0.8-1 \mu\text{m}$ 。標本は未熟で子嚢胞子確認できず。不完全世代はハナサナギタケ *Paecilomyces tenuipes*。屢、同じ寄主上にハナサナギタケを混生する。発生はサナギタケよりやや少ない。標本はハナサナギタケとの混生型。20040908048, イデン沢脇道, 中島 稔。

トサカハナサナギタケ *Paecilomyces* sp.
地生型。蛾の幼虫に寄生する分生子型の冬虫夏草類で、普通種のハナサナギタケに似るが、子實體が掌状 (平面内分岐)、その先に白色粉状の分生子塊を付ける。子實體高さは略2cm (通常4cm前後)、柄は淡朱～橙色を帯びる。希。尚、完全世代は *Cordyceps martialis* トサカイモムシタケとされる。採集標本は寄主を伴っていないが、子實體形状、分生子形状、サイズから推定したもの。20051025077, 大又沢, 清水芳治。

ハナサナギタケ *Paecilomyces tenuipes* (Peck) Samson (Syn. *Isaria japonica* Yasuda)
完全世代は *Cordyceps takaomontana* Yakush. & Kumaz. ウスキサナギタケで、所属は麦角菌科。本種は市街地から高山まで、林内、溪谷側等に極普通に見られる。標本は蛹から発生したもの。20040816054。

肉座菌科 *Hypocreaceae*

オオボタンタケ *Hypocrea grandis* S.Imai
20040922054。
ヒボクレア・プセウドストラミネア *Hypocrea pseudostraminea* Yoshim.

朽木に発生。20040901099, 長尾尾根, 巖 昭子。

ヒボクレア・ルファ *Hypocrea rufa* (Pers.) Fr.

朽木に発生。20041105040, イデン沢, 宮川一孝。

ボタンタケ属の一種 *Hypocrea* sp.

朽木に発生。20051004117, 大又沢, 岡はま子。

ヒボミセス属の一種 *Hypomyces* sp.

カワラタケに着生。20040616068。

ヒボミセス属の一種 *Hypomyces* sp.

ヤケイロタケに着生。20040705124。

ヒボミセス属の一種 *Hypomyces* sp.

キッコウアワタケに着生。20040816115。

ヒボミセス属の一種 *Hypomyces* sp.

ツエタケに着生。20040816116。

ヒボミセス属の一種 *Hypomyces* sp.

イグチに発生。分生胞子のみ。20040908041。

ウスキカエンタケ (KT) *Podostroma* sp.

子實體は淡黄土色で、直立し、高さ5cm, 幅15mm, 上部は3本の指状に分かれる。子嚢は細い円筒状で、 $100 \times 5 \mu\text{m}$, 16個の胞子を入れる。胞子は無色、不整の類球形、 $3-5 \times 3-4 \mu\text{m}$, 胞子の微刺の有無は未確認。カエンタケに似るが色調が全く違う。はじめ *P. alutaceum* の名を当てたが、それは不適当と判断したので標記仮称で整理することとした。カエンタケに極めて近いものとする。20040705164, タライコヤ沢, 山口義夫, 図3参照。

セペドニウム属の一種 *Sepedonium* sp.

イグチ上に発生。20040728021。

クロサイワイタケ科 *Xylariaceae*

チャコブタケ *Daldinia concentrica* (Bolton) Ces. & De Not.

普通種。20051108112。

ダルディニア・ロクラタ *Daldinia loculata* (Lév.) Sacc.

阿部恭久氏同定標本を参考にして同定したがツボミタケ *D. vernicosa* とは別物か判然としない。しばしば観察され、まれではない。20040604202。

フセイチャコブタケ (KT) *Daldinia* sp.

チャコブタケ属の一種。子實體の形態が不整形。やや有柄状。ツボミタケに近い? 20040616073。

タテナガチャコブタケ (KT) *Daldinia* sp.

子實體は球状でなく、縦に長い。20040616079。

ツボミタケ *Daldinia vernicosa* (Schwein.) Ces. & De Not.

ダルディニア・ロクラタ *Daldinia loculata* との異同について検討不十分。20051025081。

ホオズキタケ *Entonaema splendens* (Berk. & M.A.Curt.) Lloyd

普通種。20040705072。

アカコブタケ *Hypoxylon fragiforme* (Pers.) J.Kickx

寄主選択性が強く、ブナに生える。20051108102。

クロコブタケ *Hypoxylon truncatum* (Schwein.) J.H.Mill.

普通種。20040604206。

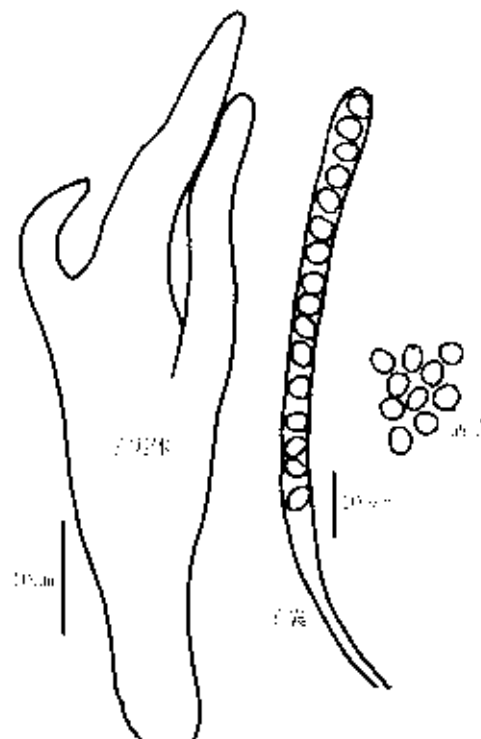


図3. ウスキカエンタケ (KT) *Podostroma* sp. (20040705164 タライコヤ沢 山口義夫)

ヒラノクロコブタケ (MT) *Hypoxylon multiforme* (Fr.) Fr.

クロコブタケに似た構造で、子座の形もクロコブタケ同様に多様である。クロコブタケは子座から半分ほど子囊殻をせり出し、その先端が必ず明瞭な切形を現わす。一方、本種は、子囊殻頭部の乳頭突起は見せるものの、切形ではない。更に、子囊殻上部の姿は現わさず、ほぼ平らな、現わしてもせいぜい1/4程度である（この平らの様が仮称の由来）。形質は、子囊殻は暗紫黒褐色の半球盤状〜クッション状の子座に埋生し、孔口部は乳頭状、切形は見られない。ピッチは2〜4個/mm。子囊胞子は暗褐色、楕円形〜紡錘形、発芽溝付きで7.7-11.9 × 4.3-5.4 μm。20050524071, 大山, 図4参照。

タイシャコブタケ *Hypoxylon rubiginosum* (Pers.) Fr.

落葉広葉樹の枯木に発生する普通種。全体が暗赤褐色〜暗紫褐色で、表面からは孔口も見えず平滑で、薄く広がる子座である。勿論、表面の殻皮を削ると、並んだ子囊殻が管孔状〜蜂の巣状に見え、そのピッチは2〜3個/mm。子囊殻は円柱〜長楕円形、孔口に突出部はなく、通常平坦、あっても小孔のみで、粒状ではない。子囊胞子は淡褐色、紡錘形、発芽溝付きで、9.4-11.2 × 4.8-5.4 μm。タイシャコブタケの図鑑写真が、対応する学名の記載内容と相違（平滑との記載に対し、写真は瘤状のざらつき）があるので、当初アカカツツナシウスコブタケ (MT) の仮称で標本記録したもの。取り敢えずは、図鑑に従いタイシャコブタケに変更記録する。20050607102, イデン沢, 三村浩康。

ザラツキシマコブタケ (MT) *Hypoxylon serpens* (Pers.) Fr.

落葉広葉樹の枯木に発生する極く普通種。島瘤状に薄く広がる暗褐色の子座で、その表面はざらつくが、肉眼では子囊殻の姿は見えない。ルーペでは、小さな黒褐色の球状疣が、2〜3個/mmのピッチで突出する。子囊殻は円柱形〜長楕円形、孔口部は球疣状に表面から突出し、ざらつく。子囊胞子は暗褐色、紡錘形、弱いながら発芽溝を持ち、11.9-15.3 × 5.1-7.7 μm。20050524045, 大山, 三村浩康, 図5参照。

タイシャアバタコブタケ (MT) *Hypoxylon* sp.

暗灰ピンク色の子座がクッション状に広がり、表面に子囊殻の頭部を見せる半埋生形である。子囊殻は卵円形で、子座表面は子囊

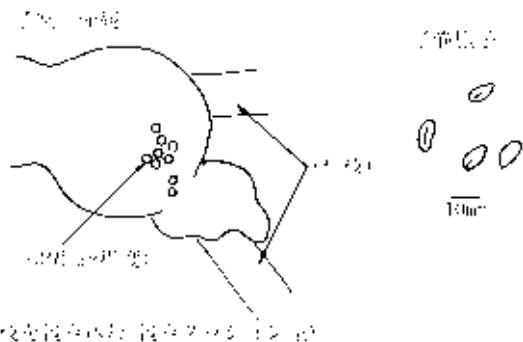


図4. ヒラノクロコブタケ (MT) *Hypoxylon multiforme* (Fr.) Fr. (20050524071 大山)

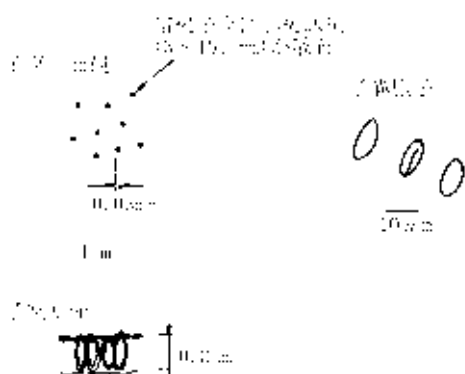


図5. ザラツキシマコブタケ (MT) *Hypoxylon serpens* (Pers.) Fr. (20050524045 大山 三村浩康)

殻に応じたアバタ状で、そのピッチは略3個/mm。子囊胞子は暗褐色、片平紡錘形〜楕円形で11.9-12.8 × 4.8-5.4 μm。子囊先端にJ+ (アミロイド) の薄い頂環がある。因みに、一連の形質は、子座表面が子囊殻に応じてアバタ状であること以外は、子座表面が平坦の *Hypoxylon rubiginosum* タイシャコブタケに酷似するものである。20051004115, 大又沢, 清水芳治, 図6参照。

カタツツタケ属の一種 *Rosellinia* sp.

本属の菌は多くの植物の根、樹皮、時に材上に生じ、白紋羽病その他の根腐性土壤病害などを起こす。20040705130, 大洞沢, 三村浩康。

オオミコブタケ *Ustulina deusta* (Hoffm.) Lind

広葉樹特にブナやカエデ等の根株心腐病を起こし、材に黒い帯線形成する。子座は樹皮または材上に生じ、平たく不定形に広がり、かさぶた状で、灰黒色〜褐色、炭で極めて脆く、基質から容易に剥がれる。子囊殻は子座内に1層に形成され、肉眼で容易に確認できるほどに大きい。子囊殻孔口は子座上に突出し、そのピッチは略1個/mm。子囊先端にJ+ (アミロイド) の樽形頂環がある。子囊胞子は大型で、暗褐色、長紡錘形、やや片平、発芽溝があり、32.3-35.7 × 8.2-8.5 μm。当初、和名に気付かずソイボオキコブタケ (MT) で登録。20050510093, 堂平, 清水芳治, 図7参照。

フデタケ *Xylaria apiculata* Cooke

ややまれ。20040922158, 長尾尾根, 巖 昭子。

ホソツクシタケ *Xylaria magnolia* J.D.Rogers

ホオの落果に着生する。20050607002, イデン沢, 宮川一孝。

マメザヤタケ *Xylaria polymorpha* (Pers.) Grev.

普通種。20040816027。

クロサイワイタケ属の一種 *Xylaria* sp.

20040705115。

シトネタケ科 Diatrypaceae

シトネタケ *Diatrype stigma* (Hoffm.) Fr.

各種広葉樹の枝枯れを起こし、またシイタケほど木の害菌として知られる。子座表面は褐色〜黒褐色で、内部は白、コルク質。子囊殻は子座中に1層に形成され、楕円形。孔口は子座上に僅かに出て鳥肌様の粗面（ルーペでは疣状突起が7〜8個/mm）。

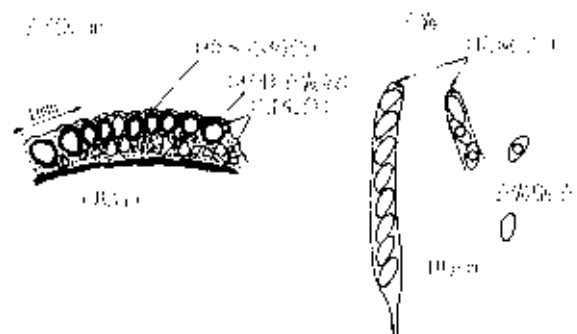


図6. タイシャアバタコブタケ (MT) *Hypoxylon* sp. (20051004115 大又沢 清水芳治)

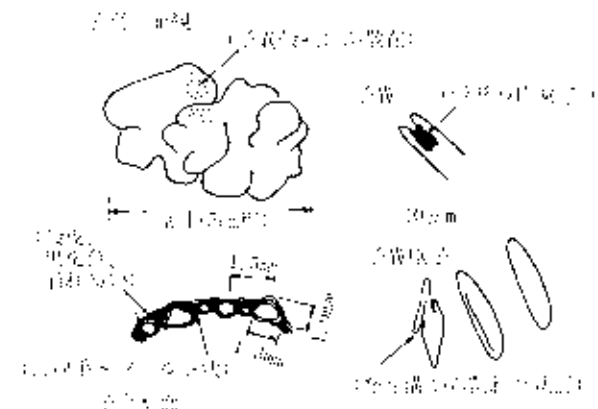


図7. オオミコブタケ *Ustulina deusta* (Hoffm.) Lind (20050510093 堂平 清水芳治)

子嚢胞子は無色、ソーセージ形で $7.7-11.9 \times 1.2-1.7 \mu\text{m}$ 。既存和名に気付かず、当初ミツイボシマコブタケ (MT) と仮称したもの。シイタケ櫛木の害菌とされるが、街中では通常気付かれていない。20050628128, 堂平, 三村浩康, 図 8 参照。

ケシイボシマコブタケ (MT) *Eutypa acharii* Tul. & C.Tul.

特にカエデ属の枯れ枝に発生し、希ではないとされる。肉眼ではシトネタケ同様、暗褐色のコウヤク型子座に、横に走る亀裂と表面のざらつきが見える。ルーペではシトネタケほど密ではないが、ケン粒様の黒い小疣が並ぶ。子嚢殻が長首のフラスコ形で、子座の下から伸びて、表面の殻皮を突き抜け、ケン粒様の頭を出す。並ぶピッチは略 3 個/mm 程度。子嚢殻は略 0.3mm 径。子嚢胞子は淡褐色、ソーセージ形、両端に小油滴を含み $6.8-8.5 \times 0.9-1.4 \mu\text{m}$ 。20050802096, イデン沢, 三村浩康, 図 9 参照。

ソルダリア目 Sordariales

カエトスファエリア科 Chaetosphaeriaceae

ホソミノナシツブシマコブタケ (MT) *Melanopsamma* sp.

黒褐色粉スーピクル上に黒の極小粒子嚢殻 (0.1mm 径) が密生 (従って四角の微小箱状)。胞子はヒョウタン楕円形で、中央に 1

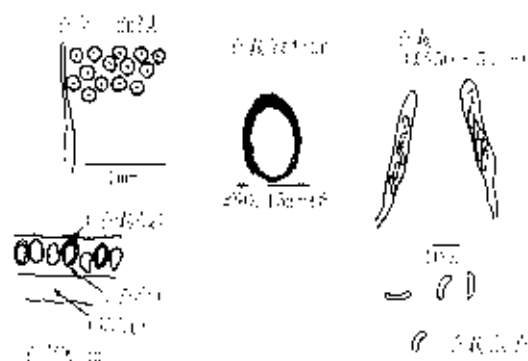


図 8. シトネタケ *Diatrype stigma* (Hoffm.) Fr. (20050628128 堂平 三村浩康)

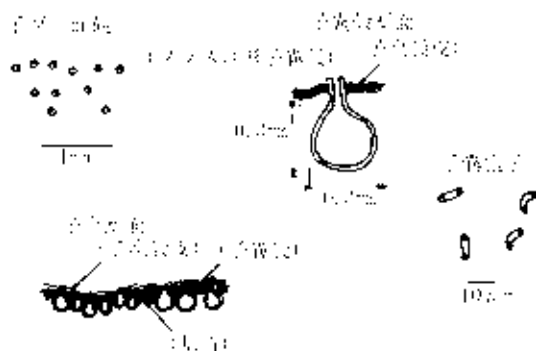


図 9. ケシイボシマコブタケ (MT) *Eutypa acharii* Tul. (20050802096 イデン沢 三村浩康)

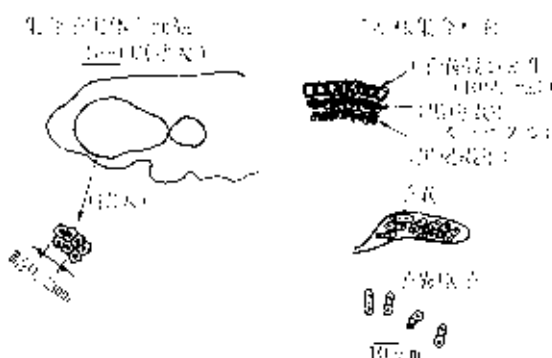


図 10. ホソミノナシツブシマコブタケ (MT) *Melanopsamma* sp. (20050802095 イデン沢 三村浩康)

隔壁があり、両端に油球を持つ。 *M. pomiformis* の細い胞子型か。20050802095, イデン沢, 三村浩康, 図 10 参照。

ラシオスファエリア科 Lasiosphaeriaceae

キャビアノツブタケ (MT) *Lasiosphaeria spermoides* (Hoffm.) Ces. & De Not.

ブナの倒木上。黒褐色子嚢殻 (0.6mm 径 $\times$ 1mm 高) が密に直接基質に表生。胞子は無色、平滑、先端丸い円柱形で屢曲がり (ソーセージ形) $22.1-25.5 \times 3.4-5.1 \mu\text{m}$ 。側糸は隔壁のない糸状。子嚢殻がやや卵形 (*L. spermoides* は類球形と記述されるが、図版を見る限りは多少縦長) を除き、微視を含め形質は *L. spermoides* に合致する。20050510090, 堂平, 三村浩康, 図 11 参照。

小房子嚢菌綱 Loculoascomycetes

プレオスポラ目 Pleosporales

メラノマ科 Melanommataceae

クロノコナツブタケ (MT) *Melanomma pulvis-pyrius* (Pers.) Fuckel

枯れ枝の基質上に直接、黒褐色の粉粒状の子嚢殻様に多数叢生する (ピッチは 2 個/mm)。一粒の表面は粗面で、殻皮状、0.5mm 径の類球形。子嚢は一樣に二重壁で $76.5-93.5 \times 7.7-8.5 \mu\text{m}$ 。子嚢胞子は 3 隔壁で、夫々縊れを持ち、中二つの径は太目で $15.3-16.2 \times 5.1-5.4 \mu\text{m}$ 。20050524070, 大山, 三村浩康, 図 12 参照。

コゲイロチャワンタケ (KT) 所属検討中

径 5mm 以下の皿型で黒褐色。胞子は三日月型、 $30^{\wedge}35 \times 5-6 \mu\text{m}$ 、隔壁のあるものもある。子嚢は $170 \times 15 \mu\text{m}$ 、先端コード青変反応。托外被層は球形細胞よりなる。20050906050, 菰釣山, 三村浩康。

アミメマルミノコゲチャワンタケ (KT) 所属検討中

径 25mm、レンズ型、黒褐色で上面凹凸あり平坦でない。胞子は網状隆起のある球形、径 $20 \mu\text{m}$ 、隆起は約 $3 \mu\text{m}$ 。子嚢は $140 \times 20 \mu\text{m}$ 、ヨードで青変しない。未熟子嚢は偽アミロイド。托外被層は径ほぼ $20 \mu\text{m}$ の球形細胞よりなる。20050906052, 菰釣山, 城川四郎。

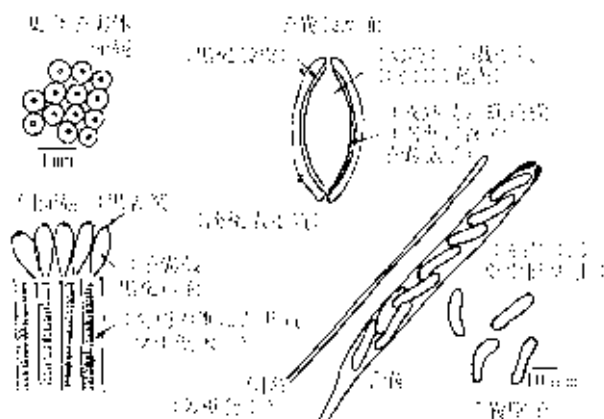


図 11. キャビアノツブタケ (MT) *Lasiosphaeria spermoides* (Hoffm.) Ces. & De Not. (20050510090 堂平 三村浩康)

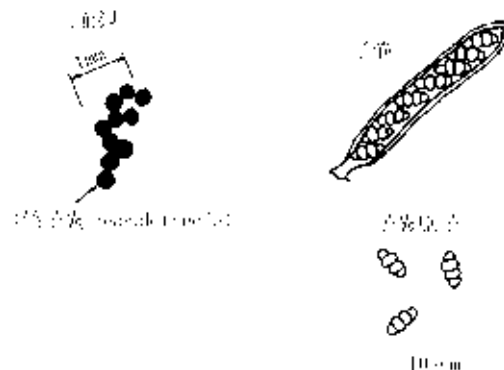


図 12. クロノコナツブタケ (MT) *Melanomma pulvis-pyrius* (Pers.) Fuckel (20050524070 大山 三村浩康)

担子菌亜門 Basidiomycotina
異形担子菌綱 Heterobasidiomycetes
シロキクラゲ科 Tremellaceae

ロウタケ *Sebacina incrustans* (Pers.) Tul.
普通種。20050802087。
ハナビラニカワタケ *Tremella foliacea* Pers.
普通種。20040901191。
コガネニカワタケ *Tremella mesenterica* Retz.
普通種。20040901189。
シロニカワタケ *Tremella pulvinalis* Kobayasi
普通種。20050913090。

キクラゲ 科 Auriculariaceae

キクラゲ *Auricularia auricula* (Hook.f.) Underw.
普通種。20050510044。
アラゲキクラゲ *Auricularia polytricha* (Mont.) Sacc.
普通種。20040901193。

ヒメキクラゲ 科 Exidiaceae

ヒメキクラゲ *Exidia glandulosa* Bull.Fr.
普通種。20050510079。
タマキクラゲ *Exidia uvapsassa* Lloyd
普通種。20041014160。
オロシタケ *Heterochaete delicata* (Klotzsch ex Berk.) Bres.
普通種。20040604510。
ムカシオオミダレタケ *Protodaedalea hispida* Imazeki
絶滅危惧種に選定されている。ブナの木に着生する。多数観察し、ブナ林の存続があれば絶滅の心配はないと考える。20041014161。
ニカワハリタケ *Pseudohydnum gelatinosum* (Scop.) P.Karst.
針葉樹材に発生。普通種。20040616011。
ムレコブタケ (KT) 所属検討中
径 10mm 程度の茶褐色、偏球形の子実体が房状集塊を形成。膠質ではないが担子器の形態からヒメキクラゲ科の 1 種と判断した。今後の検討を要する未知種。20050913089、丹沢山、黒谷秀夫。

アカキクラゲ科 Dacrymycetaceae

ヒメツノフノリタケ *Calocera cornea* (Batsch) Fr. f. *gracilis* Kobayashi
子実体の高さ 5mm 下の小菌である。20040705068。
ツノフノリタケ *Calocera cornea* (Batsch) Fr.
普通種。20040616029。
ニカワホウキタケ *Calocera viscosa* (Pers.) Fr.
普通種。20050913112。
ハナビラダクリオキン *Dacrymyces palmatus* (Schwein.) Burt
普通種。20040728047。
モモイロダクリオキン *Dacrymyces roseotinctus* Lloyd
形状はハナビラダクリオキンに類似するが淡桃色。ややまれ。20050607083、イデ沢、市川敦子。
ヒメアカキクラゲ *Dacrymyces stillatus* Nees
普通種。針葉樹生でなく、広葉樹枯枝生で採集され、また（未熟のためか）担子胞子が小さいことから、当初コツブヒメアカキクラゲ (MT) としていた。20041014072、堂平。
フェムスジョウタケ *Femsjonia peziziformis* (Lév.) P.Karst.
橙黄色の杯状、径 2-3mm、膠状軟骨質。希。20050906049、菰釣山、宮川一孝。
ツノマタタケ *Guepinia spathularia* (Schwein.) Fr.
普通種。20040705078。
ニカワジョウゴタケ *Guepinia helvelloides* (DC) Fr.
針葉樹林床に発生。希。20040816020、三の塔、三村浩康。

真正担子菌綱 Eubasidiomycetes
帽菌亜綱 Hymenomycetidae
ヒダナシタケ目 Aphyllophorales
アンズタケ科 Cantharellaceae

アンズタケ *Cantharellus cibarius* Fr.
普通種。20040901154。
ヒナアンズタケ *Cantharellus minor* Peck
普通種。20050802016。

アンズタケ属の一種 *Cantharellus* sp.
20040705024。

シロソウメンタケ科 Clavariaceae

ムラサキホウキタケ *Clavaria zollingeri* Lév.
普通種。20040901075。
ナギナタタケ *Clavulinopsis fusiformis* (Sowerby) Corner
普通種。10051025090。
マルミノヒメホウキタケモドキ (KT) *Clavulinopsis* sp.
地上生。高さ約 4cm のホウキタケ状、淡黄土褐色、基部より分岐し中部以上で二又分岐を繰り返して末端は尖る。胞子は球形。20040908025、西丹沢忍橋付近、宮川一孝。
シロヒメスリコギタケ *Pistillaria quercicola* (S.Imai) S.Ito
子実体が貧弱で、顕微鏡的考察も不十分なので同定不確実。20041014044。
タンザワカンザシタケ (KT) *Tremellodendropsis* sp.
子実体は淡褐灰色～汚灰色、高さは約 5cm、直立する柄の頂部で不規則、多数分岐し、各枝は鹿角状に短かく分枝する。柄の主幹は平坦ではなく菌糸束が寄り集まって太くなった印象を受ける。胞子は両端の尖った紡錘形、 $12-16 \times 5-7 \mu\text{m}$ 、平滑、偽アミロイド。担子器はほぼ $50 \times 10 \mu\text{m}$ 、2～4 胞子を着ける。シスチジアは多形であるがほぼ紡錘形で先端が細く伸びるものが多い。菌糸構成は 1 菌糸型で、クランプがある。この菌を標記の所属としたが、胞子が偽アミロイドであるなど疑問の点もある。今後の検討を要する。未知種である。20040908027、西丹沢忍橋付近の林道脇、清水芳治、図 13 参照。
シロタチホウキタケ (KT) *Tremellodendropsis tuberosa* (Grev.) D.A.Crawford
子実体は白色～象牙色～クリーム色、高さ 5cm、下半部より分岐し始め、上部で密に分岐する。各枝はやや扁平、先端は鋭く尖る。担子器は大型で $65 \times 10 \mu\text{m}$ 、小柄も大きい。胞子は無色、両端の尖った紡錘形、 $15-18 \times 6-7 \mu\text{m}$ 、まれに偽アミロイド反応を示す胞子があるほかは非アミロイド。菌糸は 1 菌糸型で、径 $3-4 \mu\text{m}$ 、クランプがある。文献 (Corner, 1970) によるとコーナー氏が今関先生と富士山で、また大谷先生と北海道支笏湖で採集したという。筆者らも富士山での採集例がある。20061004062、西丹沢大又沢、岡はま子、図 14 参照。

カレエダタケ科 Clavulinaceae

カレエダタケ *Clavulina cristata* (Holmsk.) Schröt.
普通種。20040901076。

フサヒメホウキタケ科 Clavicornaceae

フサヒメホウキタケ *Clavicornia pyxidata* (Pers.) Doty
普通種。20040604004。

ホウキタケ科 Ramariaceae

フタツミキチャホウキタケ (KT) *Ramaria* sp.
高さ 8cm、黄土褐色、下部より分岐するが中部の分岐やや少なく、頂部は短い角状突出、担子器は 2 胞子型、胞子は円筒形、粗面、 $12 \times 5 \mu\text{m}$ 。20050913062、丹沢山、西村幹雄。

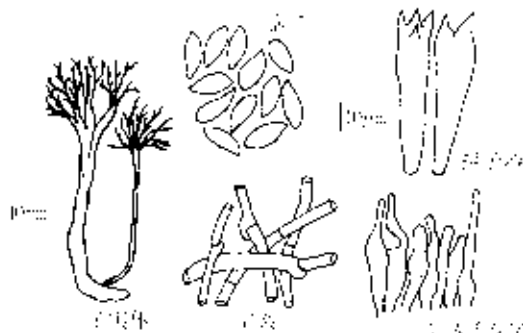


図 13. タンザワカンザシタケ (KT) *Tremellodendropsis* sp. (20040908027 西丹沢忍橋付近の林道脇 清水芳治)

キョダイキンリンホウキタケ (KT) *Ramaria* sp.

高さ10cm以下、黄土褐色、下部より分岐を繰り返す。径10m以上の巨大な菌輪を作っていた。胞子は円筒形、ほぼ $12 \times 4 \mu\text{m}$ 、クランプはない。20050927029、県民の森、巖 昭子・井上幸子。

ヒメアカホウキタケ (KT) *Ramaria* sp.

紅赤色で高さ2cm程度の小菌、基部から分岐、頂部は短い角状に分岐、胞子は円筒形、黄緑色、ほぼ $12 \times 5 \mu\text{m}$ 、クランプはない。20050927031、県民の森、清水芳治。

コウヤクタケ科 Corticiaceae

アカコウヤクタケ *Aleurodiscus amorphus* Rabenh.

モミ属、トウヒ属の枯れ枝に生える。モミ林で観察される。20040908051。

アテリリア・エピフルラ *Athelia epiphylla* Pers.

全背着、白色、膜質、平滑。胞子は狭楕円形-狭卵形、 $8 \times 4 \mu\text{m}$ 、非アミロイド。菌糸は部分的に結晶を被る。クランプはごくまれにある。本種は国内では東北地方に分布が知られていた。まれ。20051213008、イデン沢、井上幸子。

ウロコオクバタケ *Basidiaradulum radula* (Fr.) Nobles

普通種。20040816104。

ムラサキウロコタケ *Chondrostereum purpureum* (Pers.) Pouzar

半背着生。新鮮な子実体の子実層面は紫色であるが比較的早く退色し淡褐色になる。20050628114。

ミナミコメバタケ *Hyphoderma odontiaeforme* Boidin & Berthet

全背着生、白色、微突起。グロエオシスチジアがあり、他にステファノキストという特殊な構造物がある。普通種。20040616056。

シロコメバタケ *Hyphoderma setigerum* (Fr.) Donk

全背着生、白色、微突起。シスチジアに隔壁があるのを特徴とする。普通種。20040705110。

ウスカワコメバタケ *Hyphoderma transiens* (Bres.) Parmasto

全背着、白色、ほぼ平坦またはごく疎らに微突起がある。菌糸はクランプがあり、シスチジアは薄壁、胞子は $13 \mu\text{m}$ 以上の長さがある。20040616072、押出沢、城川四郎。

ヘラバタケモドキ *Hyphodontia arguta* (Fr.) J.Erikss.

全背着、ろう質、淡黄色-淡褐色、錐状〜へら状突起密生。細く尖り、先端に結晶を被るシスチジアがある。20051025045。

ハイフォドンティア・グラヌロセ *Hyphodontia granulosa* (Pers.)

GINNS & M.N.L.Lefebvre

全背着、淡黄褐色、不規則針状突起。顕微鏡の特徴として頭球状レプトシスチジアがあり、菌糸末端はやや屈曲して結晶を被る。クランプがある。胞子未生産。シスチジアによる同定。20050524036、大山、井上幸子。

ヘラバタケ *Hyphodontia spathulata* (Schrad.) Parmasto

全背着、ろう質、淡黄色-汚白色、錐状〜へら状突起。頭球薄壁のレプトシスチジアがある。20040908029。

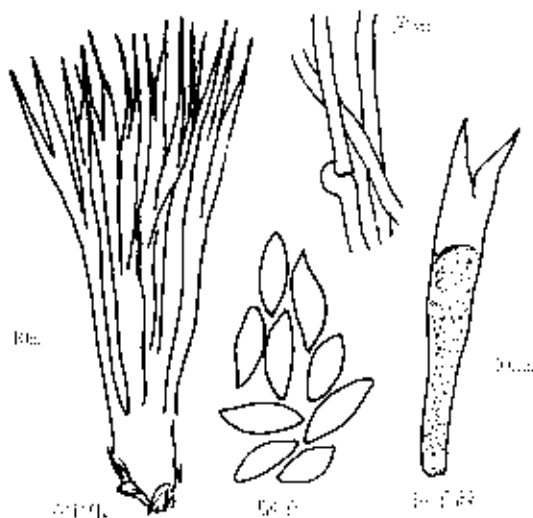


図 14. シロタチホウキタケ (KT) *Tremellodendropsis tuberosa* (Grev.) D.A.Crawford (20061004062 西丹沢大又沢 岡はま子)

ウラジロウロコタケ *Laxitextum bicolor* (Pers.) Lentz

半背着生。傘を多数重生し、子実層面は白い。組織にはグロエオシスチジアが多い。20040705166。

カワタケ属の一種 *Peniophora* sp.

全背着、淡黄褐色を帯び、膜状、平坦。目立つランプロシスチジアとグロエオシスチジアがある。胞子は楕円形、ほぼ $8 \times 4 \mu\text{m}$ 、非アミロイド。菌糸にクランプがある。20050524037、大山、井上幸子。

カワタケ属の一種 *Peniophora* sp.

全背着、淡黄褐色を帯び、薄い膜状、平坦、辺縁は次第に薄く不鮮明。ランプロシスチジアとレプトシスチジアがある。胞子は広卵形、ほぼ $6 \times 4 \mu\text{m}$ 、非アミロイド。菌糸にはクランプがある。20050524038、大山、井上幸子。

ウスキヒモカワタケ *Phanerochaete burtii* (Romell ex Burt) Parmasto
材上生。淡黄色で膜状に広がるがその辺縁に菌糸束が発達する。ややまれ。20040616067。

ヒロハリタケ *Phanerochaete chrysorhizon* (Torr.) Budington & Gilb.
橙赤色で、針状突起を密生し、膜状に広がる。普通種。20050802017。

クリームマクカワタケ (KT) *Phanerochaete galactites* (Bourdot & Galzin) J.Erikss. & Ryvarden

全背着生。白〜クリーム色、軟らかい緻密な綿質、基質から剥ぎ取りやすい。胞子は平滑、楕円形、 $4.5-7 \times 2.5-3 \mu\text{m}$ 、非アミロイド。担子器は細い円筒形でほぼ $25 \times 5 \mu\text{m}$ 、4胞子を着ける。菌糸は一部の隔壁にクランプがある。特に太い菌糸でダブルクランプを見ることが多い。一部の菌糸は粒状物に覆われる。シスチジアはない。採集品のホストはスギであったが、広葉樹にも着生するという。20040616066、押出沢周辺、山口義夫、図 15 参照。

ウスキヒロカワタケ *Phanerochaete sordida* (P.Karst) J.Erikss. & Ryvarden.

全背着、平坦、白〜淡黄色、膜状に落枝を覆う。普通種。20040705105。

ヒロカワタケ *Phanerochaete viticola* (Schwein.) Parmasto

モミ属に生える。橙赤色膜状で、KOH水溶液で紫褐色に変色する。20050412046。

チャシウウロコタケ *Phlebia rufa* (Pers.) M.P.Christ.

普通種。20040908087。

チヂレタケ *Plecturopsis crispa* (Pers.) D.A.Reid

材上生。傘は上面が黄褐色で幅3cm以下、裏面は汚白色で脈状のひだがある。普通種。20041014130。

サガリハリタケ *Radulodon copelandii* (Pat.) N.Mack.

普通種。20040816029。

ランプロツミカサネシロカワタケ (KT) 所属検討中

子実層にほぼ $30 \times 7 \mu\text{m}$ の狭円錐形被結晶シスチジア（ランプロシスチジア）が約100-150 μm の厚さの層をなして積み重なっている。菌糸は膠着して調べにくいクランプはある。胞子、担子器の確認ができないなど検討不十分ではあるが、他に例を見ないランプロシスチジアの累積層が本種の決定的な特徴として他種との識別点になる。今後、胞子生産子実体の採集によって分類位置が究明できることを期待したい。20051025044、大又沢、市川敦子。

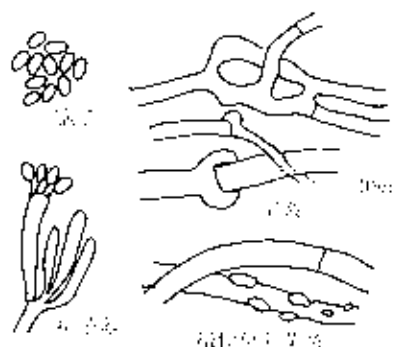


図 15. クリームマクカワタケ (KT) *Phanerochaete galactites* (Bourdot & Galzin) J.Erikss. & Ryvarden (20040616066 押出沢周辺 山口義夫)

ヴェシクロミケス・ルリダス *Vesiculomyces luridus* (Bres.) Boidin & Lanq.

全背着，暗紫褐色を帯び，膜状，乾燥すると著しくひび割れる。胞子は水滴型，弱アミロイド， $9-10 \times 4.5-5 \mu m$ 。グロエオシスチジアはほぼ円筒形， $40-50 \times 4.5 \mu m$ 。要再検討。20050412038，金林沢，城川四郎。

コウヤクタケ科の一種 所属検討中

全背着，白色，ルーベでようやく認められる程度の微小突起散在。20050412052，金林沢，黒谷秀夫。

コウヤクタケ科の一種 所属検討中

全背着，白色，平坦，乾燥してひび割れ。20050524039，大山，黒谷秀夫。

コウヤクタケ科の一種 所属検討中

全背着，白色，シロコメバタケ状微突起。20050607074，イデン沢，井上幸子。

コウヤクタケ科の一種 所属検討中

全背着，白色，平坦。胞子，シスチジア観察できず。菌糸の細胞壁は厚いが千切れやすく観察困難。20050802074，イデン沢，井上幸子。

タケヅツコウヤクタケ (KT) 所属検討中

全背着，白色，平坦，結晶を被った竹筒状の菌糸が特異である。20050802075，イデン沢，井上幸子。

コウヤクタケ科の一種 所属検討中

全背着，白色，薄い膜状，平坦。グロエオシスチジアが目立つ。胞子は楕円形，非アミロイド。菌糸にクランプがある。20050927026，丹沢県民の森，岡はま子。

コウヤクタケ科の一種 所属検討中

全背着，淡褐色，薄い膜状，平坦，辺縁は薄く広がり境界不明瞭。胞子は楕円形，非アミロイド，結晶を被る厚壁のランプロシスチジアがあり，菌糸はクランプがある。20051004063，大又沢，城川四郎。

シワタケ科 Meruliaceae

カワシワタケ *Merulius corium* (Pers.)

普通種。20040705159。

シワタケ *Merulius tremellosus* Schard.

普通種。20041014042。

イドタケ科 Coniophraceae

キシワタケ *Pseudomerulius aureus* (Fr.) Jülich

針葉樹材に生える。ややまれ。20051004065，大又沢，三村浩康。

ウロコタケ科 Stereaceae

クシノハシワタケ *Lopharia mirabilis* (Berk. et Br.) Pat.

普通種。20040705047。

カミウロコタケ *Porostereum crassum* (Lév.) Hjor. & Ryvarden (Syn. *Lopharia crassa* (Lév.) Boidin)

普通種。20050906045。

チウロコタケ *Stereum gausapatum* Fr.

普通種。20041105015。

キウロコタケ *Stereum hirsutum* (Willd.) S.F.Gray

普通種。20040816030。

ミヤマチャウロコタケ *Stereum ochraceo-flavum* (Schwein.) Ellis

キウロコタケに似るが黄色みを欠き，傘上面は灰褐色，下面は淡褐色。普通種。20040604201。

チャウロコタケ *Stereum ostrea* (Bloom & T.Nees) Fr.

普通種。20040604515。

シミダシカタウロコタケ *Stereum rugosum* (Pers.) Fr.

普通種。20040728043。

カタウロコタケ *Xylobolus frustulatus* (Pers.) Boidin

子実体は島状に形成される。スリコギ状糸状体を密生，20050412041。

シミナシカタウロコタケ (KT) *Xylobolus* sp.

シミダシカタウロコタケに似て全背着，短褐色～汚白色，革質。スリコギ状糸状体の突起は疎らで大きく，指状突起であり，汁管は見あたらない。胞子は円筒形， $8-9 \times 4 \mu m$ 。所属も含め要再検討。20050524034，大山，三村浩康。

アラントイドシロウロコタケ (KT) 所属検討中

半背着，縁部が反転して傘を形成，傘上面は綿繊維状，子実層面はやや淡黄褐色を帯びる。2菌糸型，原菌糸にはクランプがある。骨格菌糸はKOH水溶液に溶解する。胞子はソーセージ型，ほぼ $5 \times 1.5 \mu m$ ，非アミロイド。20051025047，大又沢，井上幸子。

タチウロコタケ科 Podoscyphaceae

ハナウロコタケ *Stereopsis burtianum* (Peck) Reid

普通種。20051025048。

ニクハリタケ科 Steccherinaceae

ニクハリタケ *Steccherinum ochraceum* (Pers.) S.F.Gray

普通種。20040705034。

アラゲニクハリタケ *Steccherinum rhois* (Schwein.) Banker

ニクハリタケに似るが傘上面の毛がより長く，傘断面で，毛皮層の下に暗褐色の境界層がある。普通種。20050913068。

フサツキコメバタケ *Steccherinum ciliolatum* (Berk. & M.A.Curtis) Cilib. & Bundington

白色，全背着，細い微細な針状で針の先は繊維毛状。胞子は楕円形，ほぼ $4 \times 2 \mu m$ ，2菌糸型，針全面に多数の結晶を被った長い細棒状のシスチジアがある。本種は古川氏が *Odontia ciliolata* (Berk. & M.A.Curtis) J.H.Miller の学名を当て，標記の和名で林業試験場研究報告No. 261 (1974) に記載している。20050524026，大山，井上幸子。

カノシタ科 Hydnaceae

シロカノシタ *Hydnum repandum* L. var. *album* Quél

普通種。20040922105。

エゾハリタケ科 Climacodontaceae

アケボノハリタケ *Climacodon roseomaculatum* (Henn. & E.Nyman) Jülich

地上生。ブナ林床に生える。ややまれ，20050913126，堂平（三村京子）。

ブナハリタケ *Mycicleptodonoides aitchisonii* (Berk.) Maas Geest.

ブナの枯れ木に群生する。普通種。20041014136。

多孔菌科 Polyporaceae

ウラキイロアナタケ (KT) *Anomoporia albolutescens* (Romell) Pouzar

全背着の多孔菌で傘を作らない。管孔面（表面）は淡汚黄色～汚白色の白っぽい感じで辺縁には菌糸束がある。基質に付着している面（裏面）は明らかに黄色で，基質から剥がれやすく，剥いだ表面は白っぽく，裏面は黄色という特徴がある。若いときは管孔面も黄色であるが次第に退色して白っぽくなるようである。孔口は2-4個/mm。胞子は短楕円形，～類球形， $3-4 \times 2.5-3 \mu m$ ，平滑，アミロイド。菌糸構成は1菌糸型。頻繁にクランプがある。肉の菌糸は径 $2.5-4 \mu m$ 。菌糸束の菌糸は密に微粒子に覆われる。アジア北地の針葉樹林に分布し，日本では北海道に知られていた。20041105019，西丹沢イデン沢，三村京子，図16参照。

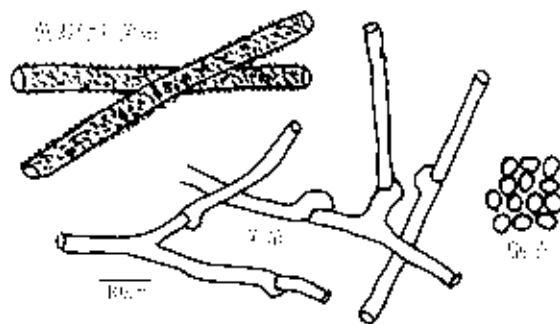


図16. ウラキイロアナタケ (KT) *Anomoporia albolutescens* (Romell) Pouzar (20041105019 西丹沢イデン沢 三村京子)

ダイダイヒメアミタケ *Antrodiella aurantilaeta* (Corner) Hattori & Ryvarden
湿時、やや柔軟な橙赤色の多孔菌である。ややまれ。20050906073, 金林沢, 井上幸子。
シツクイタケ *Antrodiella gypsea* (Yas.) Hattori & Ryvarden
スギの立ち枯れ, 倒木によく見られる普通種。20040604457。
ウスキニカワオシロイタケ (KT) *Antrodiella hoehnelii* (Bres.) Niemela
傘上面は淡黄色～淡橙黄色, 胞子はソーセージ形～短円筒形, 3 菌糸型。従来の日本の図鑑に紹介されていないが普通種である。20050802081。
シロニカワオシロイタケ (KT) *Antrodiella* sp.
傘は半円形～扇型, 傘上面及び傘肉は白色, 管孔層は淡黄褐色を帯びる。孔口は 5-7/mm。胞子は類球形, 径 2-3 μ m, 非アミロイド。シスチジアはフラスコ型, 10-20 $\times$ 5 μ m, 2 菌糸型。子実体の形態, 胞子の大きさからは *A. overholtsii* であろうかとも思えるがフラスコ型のシスチジアを持つ点で一致しない。今後の検討を要する。20050607081, イデン沢, 三村京子。
ニカワオシロイタケ属の一種 *Antrodiella* sp.
Antrodiella romellii に似る。検討中。20040728044, 丹沢ホーム上, 井上幸子。
ニカワオシロイタケ属の一種 *Antrodiella* sp.
Antrodiella globospora に似る。検討中。20050927032, 県民の森, 巖 昭子。
ニカワオシロイタケ属の一種 *Antrodiella* sp.
A. semisupina に似る。検討中。20050927033, 県民の森, 井上幸子。
ニカワオシロイタケ属の一種 *Antrodiella* sp.
傘は扇型～貝型, 白色～淡黄褐色, 孔口は 5-6/mm, 胞子は広楕円形・類球形, 4-4.5 $\times$ 3-4 μ m, 非アミロイド。シスチジオールは紡錘形, 10 $\times$ 5 μ m。管孔部の菌糸は膠着して菌糸型の確認が困難であるが2 菌糸型に見える。菌糸には明瞭なクランプがある。所属についても疑問があり再検討が必要。20051025050, 大又沢, 三村浩康。
ヤケイロタケ *Bjerkandera adusta* (Willd.) P.Karst.
普通種。20040616057。
ケリボリア・アラクアナ *Ceriporia alachuana* (Murrill) Hallenb.
全背着, 白色, 1 菌糸型, クランプはない。20040705114。
ミダレアミタケ *Cerrena unicolor* (Bull.) Murrill
普通種。20040705111。
ニツケイタケ *Coltricia cinnamomea* (Jacq.) Murrill
普通種。20050802077。
ニクウスバタケ *Coriolus brevis* (Berk.) Aoshima
普通種。20041105088。
ヨゴレヤキフタケ (KT) *Coriolus pubescens* (Schumach.) Quél.
ヤキフタケの品種レベルの変異品であろうと考える。顕微鏡的構造はヤキフタケに一致する。20050802076, イデン沢, 市川敦子。
センベイタケ *Coriolus strumosa* (Fr.) Ryvarden
普通種。20040705127。
ホウロクタケ *Daedalea dickinsii* Yasuda
普通種。20041105083。
ミイロアミタケ *Daedaleopsis purpurea* (Cooke) Imazeki & Aoshima
普通種。20040901084。
エゴノキタケ *Daedaleopsis styracina* (Henn. & Shirai) Imazeki
普通種。20040922117。
チャカイガラタケ *Daedaleopsis tricolor* (Bull.) Bondartsev & Singer
普通種。20040816108。
シカタケ *Datronia mollis* (Sommerf.) Donk
普通種。20050524055。
ツリガネタケ *Fomes fomentarius* (L.) J.J.Kickx
ブナの立ち枯れや倒木に生える。丹沢で採集した本種からまだ胞子の検出ができない。どんな条件のときに胞子を生産するのか解明の必要がある。20040604403。
ツリガネタケ (小型) *Fomes fomentarius* (L.) J.J.Kickx
ツリガネタケの大型と小型の関係について解明されていない。小型についても胞子の確認ができていない。20050802082。
ツガサルノコシカケ *Fomitopsis pinicola* (Sw.) P.Karst.
普通種。20040705170。

アカゾメアミタケ *Fomitopsis sensitiva* (Lloyd) R.Sasaki
半背着生。白色で孔口は 4-5/mm, KOH 水溶液で一時的に赤変する特徴がある。本種の所属について Ryvarden 氏はウラベニタケ属におき *Skeletocutis sensitiva* (Lloyd) Ryvarden としているが, ここでは旧来の学名を当てる。20040922052。
キチリメンタケ *Gloeophyllum trabeum* (Pers.) Murrill
普通種。20040604001。
エビウラタケ *Gloeoporus dichrous* (Fr.) Bres.
普通種。20040816035。
レンガタケ *Heterobasidion insulare* (Murrill) Ryvarden
針葉樹 (マツ) の枯れ木, 倒木に生える。普通種。20040922133。
ウスバタケ *Irpex lacteus* (Fr.) Fr.
普通種。20040705104。
ニクイロアナタケ *Junghuhnia nitida* (Pers.) Ryvarden
全背着生, 淡黄褐色, 結晶を被ったシスチジアが目立つ。普通種。20040901085。
マスタケ *Laetiporus sulphureus* (Bull.) Murrill
日本では普通, 針葉樹に生えるがときに広葉樹にも発生する。堂平ではブナ立ち枯れに本種の発生が見られた。ヨーロッパでは広葉樹, 特にブナ科に生えるのが普通であるという。20041014138。
カイガラタケ *Lenzites betulina* (L.) Fr.
普通種。20040908094。
トンビマイタケ *Meripilus giganteus* (Pers.) P.Karst.
ブナの根株に生える。今回の調査では菰釣山で老菌に出会っただけであった。20040604708。
ツヤウチワタケ *Microporus vernicipes* (Berk.) Kuntze
普通種。20040616042。
トドマツオオウズラタケ (レンゲタケ) *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilbn. & Ryy.
一年生, 針葉樹に発生, 赤腐れの菌である。傘は淡褐色を帯び, 孔口は 5-6/mm。1 菌糸型, 担子器と同じくらいの大きさで, 頭部に結晶をつけたシスチジアがある。20050927034, 県民の森, 岡 はま子。
アオゾメタケ *Oligoporus caesius* (Schrad.) Gilb. & Ryvarden
普通種。20040908103。
マ ス イ ロ ア ナ タ ケ (KT) *Oligoporus placensus* (Fr.) Gilb. & Ryvarden
全背着, 孔口は 4-6/mm, 1 菌糸型, クランプを頻繁に持つ。シスチジアはない。胞子は楕円形, ほぼ 5 $\times$ 2.5 μ m, 非アミロイド。針葉樹材に着生。20050607076, イデン沢, 清水芳治。
オオオシロイタケ *Oligoporus tephroleucus* (Fr.) Gilb. & Ryvarden
オシロイタケに似るが傘上面に粗毛があり, 傘肉の菌糸の分岐は少ない。20041014045。
ヒメシロカイメンタケ *Oxyporus cuneatus* (Murrill) Aoshima
普通種。20040705080。
シロサルノコシカケ *Oxyporus populinus* (Schumach) Donk
多年生, 白色, 広葉樹の立ち木に生え, 寒冷地に分布する。1 菌糸型でクランプを欠き, シスチジアがある。胞子は類球形, ほぼ 4 $\times$ 3 μ m。20050906047, 菰釣山, 城川四郎。
ウスキアナタケ *Perenniporia medulla-panis* (Jacq.) Donk
普通種。20040604002。
シイサルノコシカケ *Perenniporia tephropora* (Mont.) Ryvarden
普通種。20040616069。
カイメンタケ *Phaeolus schweinitzii* (Fr.) Pat.
一年生, 針葉樹の生木基部や倒木に発生, KOH 水溶液で黒変する。1 菌糸型でクランプを欠く。20050702013。
アシグロタケ *Polyporellus badius* (Pers.) Imazeki
神奈川の平地では分布を見ない。20040604207。
オツネンタケモドキ *Polyporellus brumalis* (Pers.) P.Karst.
普通種。20040604303。
キアシグロタケ *Polyporellus varius* (Pers.) P.Karst.
普通種。20040604213。
ハチノスタケ *Polyporus alveolaris* (DC.) Bondarsev & Singer
普通種。20040616023。
アミスギタケ *Polyporus arcularius* (Batsch) Fr.
普通種。20040616014。
アカハチノスタケ *Polyporus curtipes* (Berk. & M.A.Curtis) Ryvarden

傘上面に管孔の反対側がこぶ状に隆起する。平地には分布がなく、やや標高の高い地域で観察される、和名のように赤いとは限らない。20040604203.

スジウチワタケモドキ *Polyporus emerici* Berk. ex Cooke
標高が高い地域には分布しない。普通種。20040616040.

ミカワタケ *Polyporus mikawai* Lloyd
傘は扇形、淡黄色、幅 5cm 以下、短い柄が基部に着く。傘上面は無毛、平滑、放射状繊維紋がある。孔口は 5-6/mm、胞子は円筒形、8-10 × 3-4 μm、ややまれ。20040705112, 大洞沢、城川四郎。

ハンモンウチワタケ (KT) *Polyporus* sp.
傘は半円形、基部で基物に着生、上面は黄褐色、繊維毛を被り、縁部は茶褐色でクレーター状斑紋がある。2 菌糸型 (amphimitic) で原菌糸にはクランプがある。得られた子実体は 1 個、未知の珍品と思われる。詳細な再検討が必要。20050802080, イデン沢、増子忠治。

タバゲタケ (KT) *Polyporus* sp.
扇形、幅は 2cm、傘上面は黒褐色、密に黒褐色の毛に覆われる。管孔面は淡褐色を帯び、孔口は 4-5/mm 短い柄が側面に着く。胞子はソーセージ形、5-6 × 2-2.5 μm。2 ~ 3 菌糸型、クランプがある。傘上面の毛は 300 × 2.5 μm、多数が膠着して束を作る。得られた子実体は 1 個、未知の珍品であろう。詳細な再検討が必要。20050913076, 丹沢山、黒谷秀夫。

アミヒラタケ *Polyporus squamosus* (Huds.) Fr.
普通種。20040604406.

タマチョレイタケ *Polyporus tuberaster* (Jacq.) Fr.
菌核形成または材上生。アミヒラタケに似るが柄は中心生。20051025095.

シュタケ *Pycnoporus cinnabarinus* (Jacq.) Fr.
ヒイロタケに似るが孔口が大きい。標高のやや高い地域に産し、平地には分布しない。20051102009.

ムサシタケ *Pyrrhoderma adamantinum* (Berk.) Imazeki
アジア特産種。広葉樹の基部に発生するとされている。今回の調査ではクマシデの切り株基部に発生していた。まれな種類とされているが暗灰褐色の目立たない子実体が、根際に生えるため見落とされることが多いと考える。ツヤナシマンネンタケに似るが子実体は黒灰褐色で放射状のしわはない。Ryvarden 氏はタバコウロコタケ科に所属させているが、ここでは従来の分類に従った。20051004071, 大又沢、三村京子。

ツヤナシマンネンタケ *Pyrrhoderma sendaiense* (Yasuda) Imzeki
アジア特産種、ムサシタケに似るが、子実体は黄褐色で傘上面に不明瞭な放射状の細いしわがある。まれ。Ryvarden 氏はタバコウロコタケ科に所属させているが、ここでは従来の分類に従った。20050516007, 桧洞丸、西村幹雄。

スルメタケ *Rigidoporus zonalis* (Berk.) Imazeki
普通種。20040908113.

ホウネンタケ *Roseofomes subflexibilis* (Berk. & M.A.Curtis) Aoshima
Ryvarden 氏は学名を *Abundisporus pubertatis* (Lloyd) Nunez & Ryvarden に変更 (1998) しているがここでは旧来の学名を標記した。普通種。20040922131.

アナタケ *Schizopora paradoxa* (Schr.) Donk
アナタケ類の分類には疑義があり、再検討中である。20040616045.

アナタケモドキ (KT) *Schizopora* sp.
子実体の形態はアナタケ状、孔口は 2-3/mm、2 菌糸型、原菌糸にはクランプがある。胞子は楕円形、4-6 × 2.5^3 μm、非アミロイド。アナタケ属の特徴である微粒子を被る菌糸や頭球状の菌糸が観察されない。所属をアナタケ属としたが再検討を要する。20051213005.

ヒメカタバンタケ *Skeletocutis nivea* (Jungh.) Jean Keller
普通種。20040616024.

ミノタケ *Trametes cervina* (Schwein.) Bres.
普通種。形態変異が多く、本標本は倒木の下側に広く背着し、子実層托は迷路状の異形であった。20050510070.

オオチリメンタケ *Trametes gibbosa* (Pers.) Fr.
チリメンタケに似るが傘上面に微毛がある。やや冷涼地域に分布し、神奈川の沿海地域には分布しない。20040705063.

アラゲカワラタケ *Trametes hirsuta* (Wulfen) Pilát.

普通種。20051102013.

クジラタケ *Trametes orientalis* (Yasuda) Imazeki

普通種。20050927051.

ヤキフタケ *Trametes pubescens* (Schumacher) Pilát
冷涼な地域に分布し、平地には見ない。20050510027.

カワラタケ *Trametes versicolor* (L.) Lloyd
普通種。20040604504.

シハイタケ *Trichaptum abietinum* (Dicks.) Ryvarden
マツの立ち枯れ、倒木に生える。子実層托は粗い管孔状。普通種。20050927054.

ウスバシハイタケ *Trichaptum fuscoviolaceum* (Ehrenb.) Ryvarden
モミ、カラマツの立ち枯れ、倒木に生える。子実層托は薄菌状。20040901175.

ウズラタケ *Truncospora ochroleuca* (Berk.) Pilát
普通種。20050628028.

オシロイタケ *Tyromyces chioneus* (Fr.) P. Karst.
普通種。肉菌糸は著しく分岐、実質は 2 菌糸型。20040719005.

チチオシロイタケ (KT) *Tyromyces galactinus* (Berk.) J.Lowe
傘は白色、多湿柔軟、幅 5cm、広く基質に着生、孔口は 5-6/mm。胞子は広卵形〜類球形、2-3 × 2-2.5 μm、非アミロイド。1 菌糸型、クランプがある。20050802079, イデン沢、巖昭子。

アケボノオシロイタケ *Tyromyces incarnatus* Imazeki
普通種。20050628021.

多孔菌科の一種 所属検討中
全背着、白色、孔口は 5-6/mm、2 菌糸型、クランプあり、胞子は広楕円形、4.5 × 3.5 μm、非アミロイド。20041105016.

マンネンタケ科 Ganodermataceae

コフキサルノコシカケ *Ganoderma applanatum* (Pers.) Pat.

日本の図鑑ではオオミノコフキタケと共に一括して扱われ本種に関する認識が曖昧であった。筆者らの再調査によると神奈川、東京の平地では分布がないようである。文献及び北海道産資料に基づく典型的な本種の特徴は①殻皮が薄い、②肉、管孔層の色が淡褐色〜黄土褐色 (カラーデータ集の黄褐色〜枯葉色に相当)、③肉内に基部から放射状に出る線状殻質層はあるが管孔層に平行して走る殻質層はない。④管孔層に線状の薄い肉層を挟む。⑤胞子の長さは変異の幅が大きいがつう 8.5 μm 以下。子実体の外形ではオオミノコフキタケと識別できない。今回の調査で本種と見なした資料のほとんどは上記の典型的特徴のすべてについて合致するものは少なく、①殻皮が厚く、②肉及び管孔層がやや濃色で、③管孔層に肉層を挟まないものが多い。オオミノコフキタケとの識別に迷う子実体も多い。それらを中間型として報告することも考えたがここではコフキサルノコシカケの変異内として扱った。20050913175, 丹沢山、井上幸子、図 17 参照。

オオミノコフキタケ *Ganoderma tornatum* (Pers.) Bres.

日本の図鑑ではコフキサルノコシカケと共に一括して扱われ、本種に関する認識が欠落していた。従来、コフキサルノコシカケとして扱っていた神奈川、東京周辺平地の資料 20 点を検討したところすべて本種であり、コフキサルノコシカケは存在しなかった。典型的な本種の特徴は、①殻皮が厚く②肉、管孔層の色が暗赤褐色 (カラーデータ集の栗褐色 - 栗皮色に相当)、③肉内の管孔層

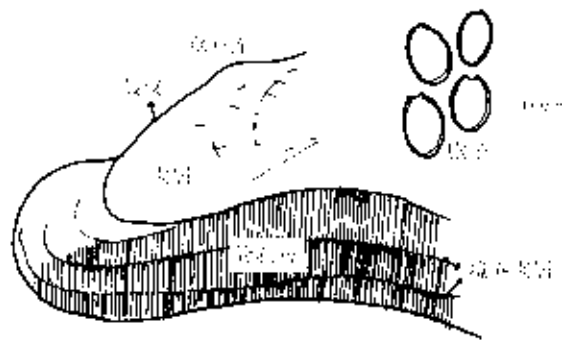


図 17. コフキサルノコシカケ *Ganoderma applanatum* (Pers.) Pat. (20050913175 丹沢山 井上幸子)

に平行して殻質層が走る、④胞子の長さは変異の幅が大きいがつう $8.5\mu\text{m}$ を超える。子実体の外形によるコフキサルノコシカケとの識別は無理である。胞子の大きさは識別の参考にはなるが変異が大きく、多くの場合同定の決め手にはならない。今回の調査で、堂平、イデン沢など丹沢の広範囲に分布していることが確認された。20050510094, 堂平, 井上幸子, 図 18 参照。

トガリミコフキタケ (KT) *Ganoderma* sp.

傘の殻皮は厚く、肉の色は黄褐色で太い放射状の殻質層が多い。管孔層はチョコレート色で肉層を挟む。これらの子実体の外形は丹沢でしばしば見られるコフキサルノコシカケとオオミノコフキタケの中間型に近い。殻皮、肉、管孔壁の菌糸などはコフキサルノコシカケなどと変わるところはない。しかし、コフキサルノコシカケ類としては胞子がマンネンタケ型の特徴の二重壁や内皮の突起が観察されず、スイカの種子型ではなく、頂部が尖る。大きさは $8-10 \times 4-6\mu\text{m}$ (10 個平均 $9.1 \times 5.5\mu\text{m}$)。内外壁の間隔が極めて狭くなって普通の顕微鏡レベルでは一重にしか見えない特異な胞子を持つコフキサルノコシカケ類の未知種と考える。20050802099, イデン沢, 増子忠治, 図 19 参照。

マンネンタケ *Ganoderma lucidum* (Curtis) P. Karst.

広葉樹に生える。普通種。20040901181。

マゴジャクシ *Ganoderma neojaponicum* Imazeki

針葉樹に生える。普通種。20040705035。

エビタケ *Trachyderma tsunodae* (Yasuda ex Lyoyd) Imazeki

ブナの立ち枯れ、倒木にはえる。絶滅危惧種に指定されているが今回の調査では多数観察された。種の存続はブナ林の存続と相關する。20040728032。

ミヤマトンビマイタケ 科 Bondarzewiaceae

ミヤマトンビマイ *Bondarzewia montana* (Quél.) Singer

スギ切り株に発生。ややまれ。20050628002, 堂平, 井上幸子。

タバコウロコタケ 科 Hymenochaetaceae

コガネウスバタケ *Hydnochaete tabacinoides* (Yasuda) Imazeki

半背着生。子実層托は薄菌状、迷路状、網目など変化が多い。20041105021。

ミヤベオオウロコタケ *Hymenochaete intricatae* Lloyd

半背着生。小さな傘を群生する。茶褐色の菌糸を特徴とするタバコウロコタケ科のなかで本種の傘肉の菌糸は無色であるという特異性がある。20040908111。

エビウロコタケ *Hymenochaete rubiginosa* (Dicks.) Lév.

半背着生。子実体は非常に多い。20040619001。

シロタバコウロコタケ (KT) *Hymenochaete* sp.?

タバコウロコタケ科は菌糸、子実体が茶褐色であり、多くの場合、剛毛体を有することを特徴とする。この標本は剛毛体と判断される構造物があるが、白いコウヤウタケ状である。胞子未生産の不完全標本しか採取されなかったが、興味深い菌と考えられるので今後の調査での実体解明を期待して目録に加える。20050412045, 金林沢, 城川四郎。

マツノタバコウロコタケ *Hymenochaete yasudai* Imazeki

普通種。20040728033。

ラッコタケ *Inonotus flavidus* (Berk.) Ryvarden

絶滅危惧種に選定されている。日本特産とされていたがネパールなどにも分布があり、アジア特産であるという。寒冷地に産する。丹沢の分布も比較的少ない。20041105022, イデン沢, 三村京子。



図 18. オオミノコフキタケ *Ganoderma tornatum* (Pers.) Bres. (20050510094 堂平 井上幸子)

ダイダイタケ *Inonotus xeranticus* (Berk.) Imzeki & Aoshima

普通種。20040908110。

サジタケ *Onnia scaura* (Lloyd) Imazeki

Ryvarden 氏は本種をツヤナシマンネンタケ属に移し、ツヤナシマンネンタケ属をタバコウロコタケ科に所属させているが、ここでは旧来の分類に従った。普通種。20040816048。

ネンドタケ *Phellinus gilvus* (Schwein.) Pat.

普通種。20040616013。

チャアナタケモドキ *Phellinus punctatus* (Fr.) Pilát

寒冷地に分布する。平地のチャアナタケに類似するが胞子が偽アミロイドであることで識別できる。20050510092。

ウツギサルノコシカケ *Porodaedalea lonicerina* (Bondarysev) Imazeki

Ryvarden 氏は *Phellinus baumii* Pilát という学名を用いている。ここでは旧来の学名で整理する。ウツギサルノコシカケという和名であるがユキノシタ科のウツギには着生せず、スイカズラ科のタニウツギ属に限って着生する。神奈川県に平地には分布せず、やや標高の高い地域に分布し、丹沢全域に見られる普通種。20040604208。

スエヒロタケ 科 Schizophyllaceae

スエヒロタケ *Schizophyllum commune* Fr.

普通種。20040604513。

ミミナミハタケ 科 Lentiniaceae

ミミナミハタケ 属の一種 *Lentinellus* sp.

検討中。味は辛い。20050702015, 三国峠～山頂の間。

ケナシイタチナミハタケ (KT) *Lentinellus* sp.

傘表皮無毛、ひだの刃こぼれが目立たない。油脂菌糸はあるが油脂は少ない。20050913061, 堂平, 井上幸子。

スジミミナミハタケ (KT) *Lentinellus sublineolatus* R.H.Petersen

傘上面無毛、放射状条線がある。胞子は類球形、 $4-5 \times 3.5-4\mu\text{m}$, ひだ組織に油管があるがあまり多くない。子実体の形態的特徴から標記の学名を当てたが、グロエオシスチジアの確認ができないなど疑問もある。仮称ケナシイタチナミハタケとしたものも本種と同種かもしれない。ともに再検討を要す。20050510065, 堂平, 清水芳治, 図 20 参照。

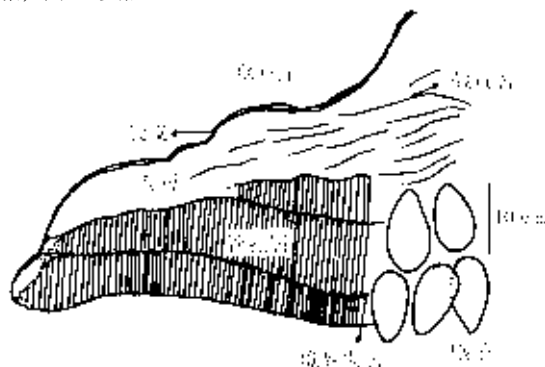


図 19. トガリミコフキタケ (KT) *Ganoderma* sp. (20050802099 イデン沢 増子忠治)

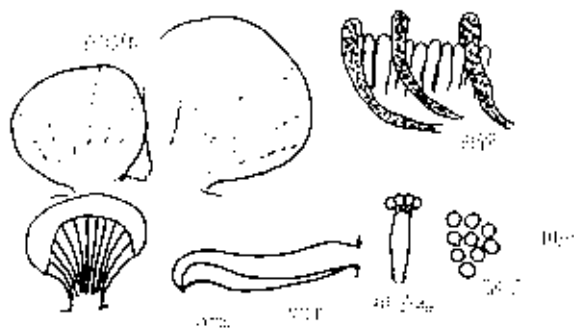


図 20. スジミミナミハタケ (KT) *Lentinellus sublineolatus* R.H.Petersen (20050510065 堂平 清水芳治)

イタチナミハタケ *Lentinellus ursinus* (Fr.) Kühner
普通種。20041014009。

ハラタケ目 Agaricales
ヒラタケ科 Pleurotaceae

マツオウジ *Lentinus lepideus* (Fr.) Fr.
普通種。20040604205。

カワキタケ *Panus conchatus* (Bull.) Fr.
子実体形態やシスチジアの形態にも変化が多い。まれ。
20050607042, イデン沢, 市川。

キヒラタケ *Phyllotopsis nidulans* (Pers.) Singer
普通種。20051102021。

ヒラタケ *Pleurotus ostreatus* (Jacq.) P.Kumm.
普通種。20040816009。

ウスヒラタケ *Pleurotus pulmonarius* (Fr.) Quél.
普通種。20040922062。

ヌメリガサ科 Hygrophoraceae

オトメノカサ *Camarophyllus virgineus* (Wulen) P.Kumm.
白色, 粘性なし。20040922004。

ベニヒガサ *Hygrocybe cantharellus* (Schwein.) Murrill
本種には2 孢子型と4 孢子型がある。この標本は2 孢子型である。
20051025002, 大又沢, 清水芳治。

キヤマトケ *Hygrocybe ceracea* (Wulfen) P.Kumm.
普通種。20051025119。

ベニヤマトケ *Hygrocybe coccinea* (Schaeff.) P.Kumm.
普通種。20050524011。

アカヤマトケ *Hygrocybe conica* (Scop.) P.Kumm.
普通種。20051025120。

トガリベニヤマトケ *Hygrocybe cuspidata* (Peck) Hongo & Izawa
普通種。20040922005。

アキヤマトケ *Hygrocybe flavescens* (Kauffman) Singer
普通種。20050927002。

ヒメキヤマトケ *Hygrocybe obrussea* (Fr.) Wünsche f. pusilla (Imai)
S.Ito

傘は橙色, 幼時は円錐形, 傘の径は2cm 以下。20040922006,
堂平, 清水芳治。

チャヤマトケ (KT) *Hygrocybe* sp.
アカヤマトケの品種レベルの変異品であろうと思う。傘が茶色で,
黒変しない点以外はアカヤマトケに一致する。柄は黄色でやや黒
ずむ。担子器は2 孢子型, 胞子は広楕円形, 10-14 × 5-7 μm。
20051025001, 大又沢, 清水芳治。

ダイダイヒメノカサ *Hygrocybe venusta* Hongo
要再検討。20040816049。

ハダイロヌメリガサ (KT) *Hygrophorus* sp.
ハダイロガサに似るがひだは直生か弱い垂生, ひだ実質は散開型,
傘の粘性は弱く, 乾きやすい。20040908001, 西丹沢, 城川四郎。
クチキキヤマトケ (KT) *Hygrotrama* sp.
鮮橙赤色, 傘の径7mm, 傘上面平滑, 粘性なし, ひだは淡黄色, 疎,
垂生, 柄は直立して高さ3cm, 径3mm。胞子は広楕円形, 8-9
× 5-6mm, 非アミロイド。担子器は円筒形, 45 × 7 μm, 4 孢子型。
上表皮は短節菌糸が棚状に並ぶ。ひだ実質は並列型。地上にある
広葉樹の材の破片に発生。20050906025, 菰釣山, 宮川一孝。

キシメジ科 Tricholomataceae

ワタゲナラタケ *Armillariella gallica* Marxm. & Romagn.
普通種。20040922068。

ナラタケ *Armillariella mellea* (Vahl) P. Karst.
普通種。20040901014。

オニナラタケ *Armillariella ostoyae* Romagn.
標高の高い地域に産し, 平地には分布しない。20050628033, 堂平。
キツブナラタケ *Armillariella* sp.
つば薄く残存, 傘の黒い鱗片が少ない。縁シスチジアが貧弱, 要
再検討。20050510061, 堂平, 井上。

フジイロアマタケ *Baeospora myriadophylla* (Peck) Singer
ややまれ。20050831003, 檜洞丸, 西村幹雄。

ヒメキシメジ *Callistosporium luteo-olivaceum* (Berk. & M.A.Curtis)

Singer

普通種。20051004226。

ハイロサカズキタケ *Cantharellula umbonata* (J.F.Gmel.) Singer
亜高山帯林内の苔間に発生する希種。標本の胞子は無色, 楕円
形, アミロイドで7.7-8.5 × 3.7-4.1 μm。柄は中空, 根元に白毛,
菌糸にクランプ有り。20050913109, 堂平・天王寺尾根, 西村幹雄。
シロヒメカヤタケ *Clitocybe candicans* (Pers.) P.Kumm.
ブナ・ミズナラなどの落葉樹林内の地上に群生する普通種。
20040901012, 長尾尾根。

コシロイヌシメジ *Clitocybe catinus* (Fr.) Quél.
亜高山帯の針葉樹林で特にトウヒ属, カラマツ属側の地上。希種。
20040901011, 長尾尾根, 中島 稔。

コカブイヌシメジ *Clitocybe fragrans* (With.) P.Kumm.
普通種。20040604503。

カヤタケ *Clitocybe gibba* (Pers.) P.Kumm.
普通種。20040604451。

アカチャイヌシメジ *Clitocybe sinopica* (Fr.) P.Kumm.
普通種。青木氏は日本きのこ図版でヤブシメジモドキと仮称してい
た。20040604204。

カヤタケ属の一種 *Clitocybe* sp.
傘は灰褐色繊維状, 表皮は粗面の菌糸で, クランプ有り。柄の頂
部は白粉状で, 傘色繊維状ササクレを持つ。ヒダは淡傘色で垂生
し, やや密で36-40 枚, シスチジアを欠く。胞子は非アミロイド。
20051108109, 堂平, 巖 昭子。
ミヤマイヌシメジ (青木 T, 日本きのこ図版 No.972) *Clitocybe* sp.
傘は灰白褐色繊維状, hygrophanous, 臍窪形。柄は暗傘色繊維
状, 中空, 根元に白菌糸, 消毒臭有り。ヒダは淡傘色〜クリーム色,
直垂密で狭く, 分叉あり。20040901013, 長尾尾根, 三村浩康。
コカヤタケ (KT) *Clitocybe* sp.
形態的にも顕微鏡的にもカヤタケに類似するが小型で軟弱。
20040908002。

アシボソコツブイヌシメジ (KT) *Clitocybe* sp.
傘は淡黄褐色, 中央強く凹み, 径10mm。ひだは垂生。柄は
細長く40 × 2mm, 傘と同色。胞子は楕円形, 4 × 2.5mm。
20040908003, 西丹沢, 三村浩康。

ウスチャコツブイヌシメジ (KT) *Clitocybe* sp.
傘は淡茶褐色, 径30mm, 中央は強く凹む。ひだは密, 垂生。
柄は25 × 8mm。胞子は楕円形, 5 × 3 μm。20040908004, 西
丹沢, 中島 稔。

タケノネカヤタケ (KT) *Clitocybe* sp.
埋もれ竹の根より発生, 傘は暗茶褐色, 中央は強く凹み縁部
はやや内曲し, 放射状内生繊維がある。ひだは淡褐色〜汚
白色, やや疎, 垂生。肉は汚白色〜淡褐色を帯びる。柄は
淡褐色, 2-3cm × 5mm, 中空。所属も含め再検討を要する。
20040922029, 長尾尾根, 井上幸子。

カヤタケ属の一種 *Clitocybe* sp.
藓類の中に生える。子実体の形態はタケノネカヤタケ (KT) に
よく似るので同種の可能性がある。胞子は楕円形, 5 × 2.5 μm,
非アミロイド。ひだ縁部には糸状の菌糸が多数伸び出ている。傘
表皮は並列菌糸, クランプがある。20051108063, 堂平, 三村京子。
アマタケ *Collybia confluens* (Pers.) P.Kumm.
近似種が多く, 同定が困難である。縁シスチジアの形態からは
ウスバアマタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1096) に一致する
が柄シスチジアの形態は *C. confluens* に一致する。ブナ林床に
多いという生態も考えるとアマタケと同定するのが妥当と判断した。
20050913023, 堂平, 巖 昭子。

モリノカレバタケ *Collybia dryophila* (Bull.Fr.) P.Kumm.
本種の実体把握が困難, 要再検討。20050802048。

ヒロアマタケ *Collybia effusa* Har.Takah.
普通種。20040616039。

ニオイカレバタケ *Collybia iocephala* (Berk. & M.A.Curtis) Singer
まれ。20050906089, 菰釣山登山道, 三村京子。

ケヒダクスギカレバ (MT) *Collybia* sp.
一見クスギタケ属に見える。傘は淡灰白褐色で平滑, 表皮は多少
なりとも平行菌糸。柄は傘色で繊維状, 頂部には縁シスチジアと
同形でやや短い柄シスチジアを持つ。柄の根元には白い菌糸粗
毛。ヒダは粗毛の縁取りで, 嘴状で細首瓶形の長い縁シスチジア

を持つ。胞子は無色、平滑、種形で $7.1 \times 4.3 \mu\text{m}$ 。ヒダに粗毛状の縁取りのあるのが特徴的である。20040901018, 長尾尾根, 山口義夫。

シロアマタケ (MT) *Collybia* sp.

傘は汚白〜クリーム灰褐色, 平滑〜微細な皺状, 条線はない。柄は淡赤褐色, 振り繊維状, クリーム色の粉糠状, 中空。ヒダは傘色, 湾〜上生, 狭く, 密 (40 枚), 分叉あり, 波状棍棒形の縁シスチジアあり。胞子は未熟で見当たらず。多少大根臭あり。20040901020, 長尾尾根, 三村京子。

オチバツエタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.767) *Collybia* sp. 普通種。20040705155。

クサカレバタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.786) *Collybia* sp. 標高の高い地域の針葉樹林床に分布が多い。20040816065。

カレハタケモドキ (青木 T, 日本きのこ図版 No.902) *Collybia* sp. 傘は灰白褐色, 皺条, 表皮は多少なりとも平行菌糸。柄は傘色, 繊維状条があり, 白短毛状。ヒダは傘色〜クリーム色, 分叉あり, シスチジアは棍棒・紡錘形。20040901017, 長尾尾根, 三村浩康。

カウロアカチャツエタケ (KT) *Collybia* sp.

腐木 (腐れが進み針葉樹か広葉樹か不明) に発生。傘は中央が低く突出, 平らに開き, 茶褐色, 約径 3cm。ひだは白色, やや密, 上生, 部分的に褐色のしみをつくる。柄は傘と同色かやや淡色, $4 \times 0.5\text{cm}$, 基部が太まる。胞子は広楕円形, $4.5 \times 2.5\text{--}3 \mu\text{m}$ 。傘表皮は並列菌糸, クランプがある。柄シスチジアはこん棒状 (頭球棒状) アカチャツエタケそのものの可能性も高いが同種の柄シスチジアについての記載を見ないので一応別種とした。この標本の他に幼菌も採取されたが, その同定には柄シスチジアが有効であった。20050628049, 堂平, 黒谷秀夫。

シロカレハシメジ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1052) *Collybia* sp.

傘表皮の菌糸は径ほぼ $3 \mu\text{m}$, 傘肉の菌糸は径ほぼ $10 \mu\text{m}$ 。クランプはない。柄の上部の粉毛部には $40 \mu\text{m}$ 以下の糸状菌糸が伸び出ている。日本きのこ図版 No. 1052 で青木 実氏が紹介している菌に一致する。平地での採集例がないので冷涼な地域に分布するものと考えられる。20050913025, 丹沢山, 黒谷秀夫, 図 21 参照。

アカチャツエタケモドキ (KT) *Collybia* sp.

アカチャツエタケに酷似するが広葉樹 (クマシデ) に発生, 胞子が広楕円形〜類球形, $4.5\text{--}6 \times 3.5\text{--}4 \mu\text{m}$ で小型である。20050927004, 県民の森, 三村京子。

ヒダカツコリビア (KT) *Collybia* sp.

ひだが褐色を帯びる。要再検討。20051025007, 大又沢, 清水芳治。

ニセホウライタケ *Crinipellis stipitaria* (Fr.) Pat.

普通種。20040816062。

ダイダイガサ *Cyptotrama asprata* (Berk.) Redhead & Ginns

普通種。20040604605。

ラツンタケ属の一種 *Favolaschia* sp.

ニカワアナタケ *Favolaschia nipponica* Kobayasi ではないかと思われるが再検討を要する。20050702016。

エノキタケ *Flammulina velutipes* (Curtis) Singer

普通種。20041014117。

ヒナノヒガサ *Gerronema fibula* (Bull.) Singer

普通種。20040908009。

オリーブサカズキタケ *Gerronema nemorale* Har.Takah.

普通種。20051004225。

シラゲヒメムキタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.301) *Hohenbuehelia* sp.

ややまれ。20051004007, 大又沢, 岡 はま子。

ヒロヒダタケモドキ *Hydropus atrialbus* (Murrill) Singer

普通種。20040705002。

ハイチャヒダサカズキタケ *Hydropus marginellus* (Pers.) Singer

針葉樹 (スギ?) 材上に生える。傘は暗灰褐色, 径 10mm。ひだは垂生, 縁どりが有る。柄は長さ 15mm, 傘と同色。胞子は楕円形, $6\text{--}9 \times 4\text{--}5 \mu\text{m}$, アミロイド, 大きさに不ぞろいが目立つ。縁シスチジアはこん棒型やフラスコ型が混じり, $15\text{--}40 \times 10\text{--}15 \mu\text{m}$, 有色のものがある。本種は従来の日本の文献には紹介されていなかったが近年, 長沢栄史氏が標記の和名を新称した。比較的分布は多いものと考え。鍋割山稜小丸尾根で採集された 20040604301 も同種である。20050906023, 荻釣山, 岡 はま子。

ミヤマシメジ *Hydropus nigrita* (Berk. & M.A.Curtis) Sing

材上に生える暗黄褐色の小菌である。スギ材上で採集された。同種であろうと判断されるキノコが 2006.6.7/イデン沢 (三村浩康), 2006.8.2/イデン沢 (西村幹雄), 何れも広葉樹材上で採集された。傘は径 3cm 以下, はじめ鍾形, のち平らに開き, 暗黄土褐色 (梅茶色), 古くなると黒変する。ほぼ平滑であるが, 中心部に明瞭な放射状のしわのあるものや, 全体にかすかな放射状しわを認めるものなどがある。ひだは白くてほとんど離生し, 小ひだも多く, 密で, 幅 3mm ほどである。傷つけると黒変する。柄は高さ 5cm 以下, 径ほぼ 2.5mm, はじめ傘と同色で, のち黒くなる。胞子は類球形, $4.5\text{--}6 \times 4\text{--}5 \mu\text{m}$, 弱アミロイド。縁シスチジアは密生し, 円柱状, こん棒状, 狭紡錘形など変化があり $15\text{--}50 \times 7\text{--}8 \mu\text{m}$ 。側シスチジアはない。柄シスチジアは球囊状, 狭紡錘形, こん棒状など変化があり $10\text{--}35 \times 5\text{--}8 \mu\text{m}$ 。傘シスチジアは短円柱状で $20\text{--}30 \times 4\text{--}7 \mu\text{m}$ 。子実体各部に径 $3\text{--}10 \mu\text{m}$ の汁管菌糸が密に走行している。標記の和名, 学名で記載されている内外の文献を調べてみると各文献によって内容に相違が多い。今後の再検討が必要である。20040616009, 押出沢周辺, 井上幸子・巖 昭子, 図 22 参照。

イトイヌシメジ (KT) *Hydropus* sp.

地上に生える褐色のカヤタケ形中型菌である。傘は中央が凹み, 平滑, 茶褐色, 径 3-4cm。成長すると傘が反転するのでひだは垂生に見える。柄は円筒状, $30\text{--}50 \times 3\text{--}5\text{mm}$, 傘と同色, 中実で上下同大または基部がやや太まり, 白い菌糸束に包まれる。胞子は楕円形, $5\text{--}6 \times 2\text{--}3 \mu\text{m}$, 弱アミロイド。ひだ縁部には突出部が $40\text{--}50 \times 2\text{--}3 \mu\text{m}$ の糸状の構造物が列生する。傘表皮には紡錘形や棒状など不整のシスチジアが散在する。ひだ縁部の糸状構造物は子実体によっては密生, 散在など差がある。菌糸にはクランプ

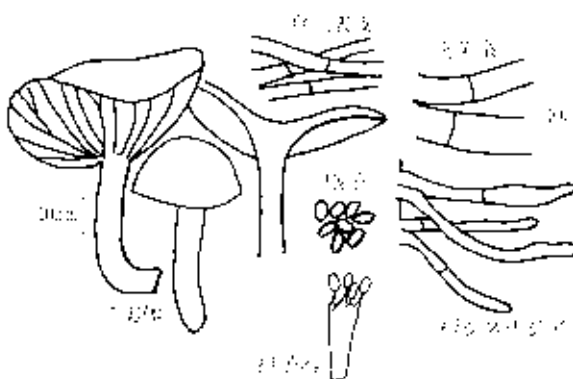


図 21. シロカレハシメジ (青木 T 日本きのこ図版 No.1052) *Collybia* sp. (20050913025 丹沢山 黒谷秀夫)

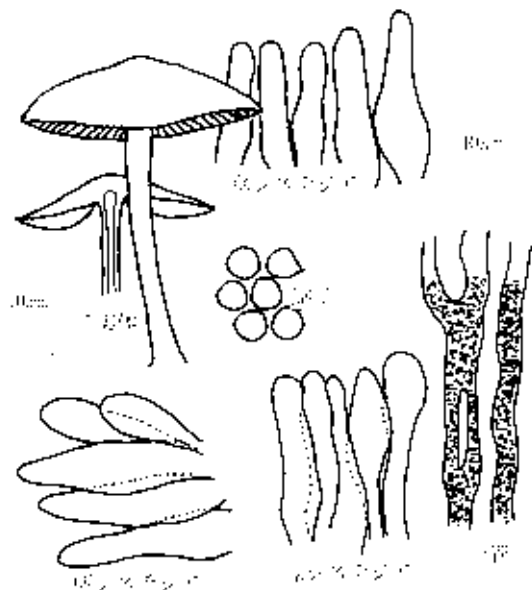


図 22. ミヤマシメジ *Hydropus nigrita* (Berk. & M.A.Curtis) Singer (20040616009 押出沢周辺 井上幸子・巖 昭子)

がある。20051004003, 大又沢, 藤沢示弘, 図 23 参照。

ニセアシナガタケ属の一種 *Hydropus* sp.

地上生の褐色小菌。傘は径 10mm, 柄は 25 × 2mm, 基部は根状で白色粗毛がある。胞子は楕円形, 4 × 2 μm, アミロイド。縁シスチジアは円柱状, 25 × 5 μm。傘表皮は垂直要素からなり, 部分的にシスチジア状になる。柄シスチジアは径 20-30 × 5 μm, 叢生する。要再検討。20051025004, 大又沢, 宮川一孝。

ニセアシナガタケ属の一種 *Hydropus* sp.

地上生黄褐色小菌。傘は径 8mm, ひだはやや密, 直生。柄は 15 × 1mm, 基部に毛状菌糸束がある。胞子は楕円形, 4 × 2 μm。縁シスチジアは紡錘形, 20 × 5 μm。傘表皮は垂直要素からなる。要検討。20051025005, 大又沢, 宮川一孝。

ブナシメジ *Hypsizygus marmoreus* (Peck) H.E.Bigelow

ブナ倒木上に生え, 食用菌として喜ばれる普通種であるが比較的数量が少ない。20041014004。

ウラムラサキ *Laccaria amethystea* (Bull.) Murrill

普通種。20040901008。

キツネタケ *Laccaria laccata* (Scop.) Fr. var. *pallidifolia* (Peck) Peck

日本の図鑑で紹介されるキツネタケは, 球形~類球形胞子の *L. laccata* var. *pallidifolia* であって, 類球~楕円形の *L. laccata* var. *laccata* ではない。従ってここでは, 前者をキツネタケとする。採集標本は子実体が小さく, 胞子が比較的大きい (10 μm を超えるものを含む) ことから, 当初 *L. montana* ビトゲヒメキツネ (MT) で記録したが, その後を含め, 15 件, 略 45 標本の継続観察の結果, 胞子径が 14 μm に達するものは無く, 10.2 μm 止まりであり過ってキツネタケと判断し, 標本表示も修正した。本種の傘は, 灰白褐色~橙褐色, 繊維状~微細な繊維鱗片を付け, hygrophanous, 新鮮な時は透明条線を示すが, 乾くと消失, 径は 6-18mm。ヒダは灰ピンク, 上~湾~直生, 厚く広い, 疎で L=14-24 枚, I-0-3 枚。柄は傘色, 繊維条線, 根元に白菌糸。刺胞子で無色, 胞子径 6.8-10.2 μm, 刺長 0.3-1.4 μm。G. M. Mueller の見解を参考にした。長尾尾根, イデン沢, 菰釣山, 堂平, 表丹沢泉民の森, 大又沢等, 広範囲。20040901003, 長尾尾根。図 24 参照。

トゲナガヒメキツネ (MT) *Laccaria tetraspora* Singer

傘は灰肉桂色, ピンク色を帯び, 平滑, 条線は無い。柄は傘色, 繊維条, 根元に白菌糸あり。ヒダは傘色で厚く疎。胞子は無色で球形, 径は 8.5 μm, 刺長は 1.7 μm 長で長いのが特徴。20040816050, 三の塔。

カレバキツネタケ *Laccaria vinaceoavellanea* Hongo

20040908075, 丹沢湖 VC 庭。

ツキヨタケ *Lampteromyces japonicus* (Kawam.) Singer

有名な毒菌。絶滅危惧種に選定されている。ブナ立ち枯れ, 倒木に発生が多い。ブナ林の存続があれば絶滅は考えられない。20040719001。

シイタケ *Lentinula edodes* (Berk.) Pegler

本標本は盛夏の発生で, 生態的に興味深い。20050802002。

オオイチョウタケ *Leucopaxillus giganteus* (Sowerby) Singer

普通種。20050927062。

ハタケシメジ *Lyophyllum decastes* (Fr.) Singer

普通種。20040908057。

シロタモギタケ *Lyophyllum ulmarium* (Bull.) Kühner

ブナシメジとの識別は困難。20041014003。

クワイロムクエタケ *Macrocyttidia cucumis* (Pers.) Joss.

顕微鏡的に特徴的なキノコである。20051025006。

ヒノキオチバタケ *Marasmiellus chamaecyparidis* (Hongo) Hongo

普通種。20040616043。

マッシロチビタケ (KT) *Marasmiellus* sp.

傘表皮の構造確認できず所属に疑問あり。全体白色。傘の径 5mm 以下, 柄の長さ 3mm 以下。胞子は紡錘形, 7-8 × 3-4 μm, 非アミロイド。縁シスチジアはない。柄には不規則にこぶのある縮れた菌糸が密にまつわる。クランプがある。20051004011, 大又沢, 清水芳治。

シロホウライタケ属の一種 *Marasmiellus* sp.

全体白色, 傘の径 5mm 以下, 柄の長さ 3mm 以下。胞子は, 細い楕円形, 6 × 2.5 μm, 非アミロイド。ひだ縁部には糸状菌糸が 30 μm ほど伸び出し, 密生。柄には屈曲した菌糸が開出する。クランプがある。20051004014, 大又沢, 市川敦子。

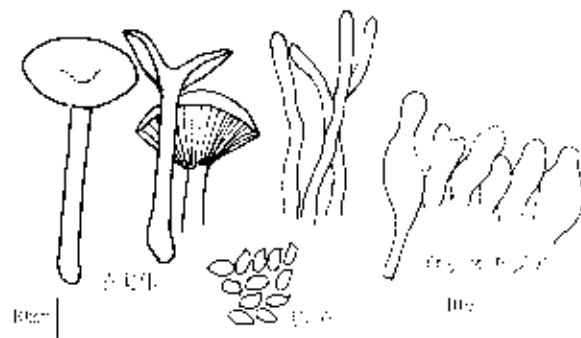


図 23. イトイヌシメジ (KT) *Hydropus* sp. (20051004003 大又沢 藤沢示弘)

ミヤマオチバタケ *Marasmius cohaerens* (Alb. & Schwein.) Cooke & Quél.

普通種。20041014087。

オオホウライタケ *Marasmius maximus* Hongo

普通種。20040816001。

ユキホウライタケ *Marasmius nivicola* Har.Takah.

普通種。20051004009。

ヒカゲオチエダタケ *Marasmius occultatus* Har.Takah.

普通種。20040901151。

スジオチバタケ *Marasmius purpureostriatus* Hongo

普通種。本標本は巨大型で異形。20040922008。

ハリガネオチバタケ *Marasmius siccus* (Schwein.) Fr.

普通種。20040901044。

ヌカエノオチバタケ (MT) *Marasmius* sp.

傘は灰黄褐色, 弱い条線のある突形, 表皮は平滑囊状細胞が子実層状に並び, その間に嘴付き梨形の傘シスチジアが散在。柄は頂部が白粉糠状 (細い棍棒形の菌糸末端による)。ヒダには細い棍棒紡錘形のシスチジアがある。胞子は無色, 平滑, 楕円形, 非アミロイドで 8.5-8.8 × 3.4 μm。欠箭状細胞で平滑子実層状傘表皮で, 非アミロイドの胞子・実質, 菌叢の根元, 有クランプ等から, シロカレハタケ節に属し, *M. chordalis* (傘が突形でなく, 饅頭形) に近縁であろう。20040816052, 大山, 増子忠治。

ホウライタケ属の一種 *Marasmius* sp.

ヤマウバノカミノケ状。ブナ落枝上より根状菌糸束を伸長。20050524067。

カミホウライタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.318) *Marasmius* sp.

広葉樹の枯木枯枝上に群生。全体白。傘は皺条, 柄は根元まで白色。ヒダ 14 枚, 小ヒダ 0 枚, 脈連絡無し。特徴的な細い棍棒形の縁シスチジアは多数。胞子は見当たらず。20051004102, 大又沢, 井上幸子。

クロエノシラゲホウライ (MT) *Marasmius* sp.

腐木上。傘は白色, 球囊 + 紡錘形傘シスチジアの傘表皮構造 (白微毛)。柄は黒紫褐色地に紡錘形の柄シスチジアによる白微毛, 菌糸にクランプあり。ヒダは傘色で 13-15 枚, 小ヒダは 0, 分叉は

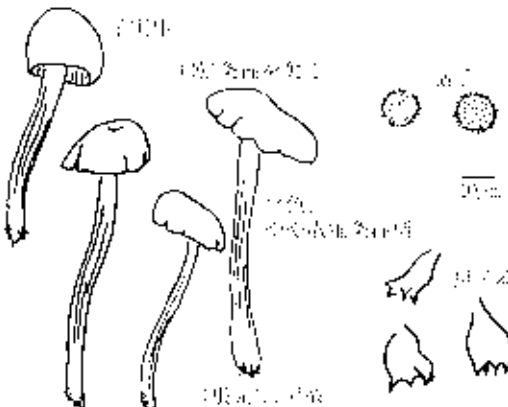


図 24. キツネタケ *Laccaria laccata* var. *pallidifolia* (Peck) Peck (20040901003 長尾尾根)

少ない。20051004104, 大又沢, 三村浩康。

チャシバフタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.787) *Marasmius* sp.
普通種。20040816063。

スギカワタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.292) *Marasmius* sp.
スギの樹皮に生える。春に発生が多い。やや普通種。
20050412032。

ホウライタケ属の一種 *Marasmius* sp.

モミ落枝上のリゾモルフ (根状菌糸束) ---- ヤマウバノカミノケ。
20050416003。

ホウライタケ属の一種 *Marasmius* sp.

フジの茎に発生。淡褐色の小菌。所属も含め要再検討。
20051004008, 大又沢。

ヒメシバフタケ (KT) *Marasmius* sp.

褐色で傘径 2cm, ひだは疎, 柄は細棒状, $40 \times 5\text{mm}$, 微毛状の中型落葉分解菌。胞子は楕円形, $8-9 \times 4\mu\text{m}$ 。柄シスチジアは $30-40 \times 3-4\mu\text{m}$ の糸状菌糸が毛状に開出, 集合糸を形成。傘表皮は径 $5\mu\text{m}$ のこん棒状細胞が子実層状に並ぶ。
20051004010, 大又沢, 藤沢示弘。

カレバシバフタケ (KT) *Marasmius* sp. (城川四郎, 1999. くさびら 21)

オオホウライタケとチャシバフタケとの中間型で, ひだは前者より密。傘表面には後者と異なり放射状の溝線がある。シスチジアは後者に似て, やや大型の側シスチジアが多い。両者ほど一般的ではない。20051004232, 大又沢, 黒谷秀夫。

ベニカノアシタケ *Mycena acicula* (Schaeff.) P.Kumm.

普通種。20050607047。

アクニオイタケ *Mycena alcalina* (Fr.) P.Kumm.

普通種。20040604516。

ニオイアシナガタケ *Mycena amygdalina* (Pers.) Singer

普通種。20050510037。

アカチシオタケ *Mycena crocata* (Schrad.) P.Karst.

普通種。20040922011。

クロカツナメガサ (MT) *Mycena epipterygia* (Scop.) Gray var. *pelliculosa*

傘は黒褐色, 繊維状, 湿時粘性, 表皮はゼラチン物質中に太い指状突起のある菌糸。ヒダは白で直状垂生, 27 枚, 脈連絡があり, 太い指状突起のある棍棒形縁シスチジアを持つ。柄の頂部は白粉状で縁シスチジアと同形の柄シスチジアがある, また柄全体は白絹繊維状。胞子は広楕円形でアミロイド。 *M. epipterygia* var. *pelliculosa* (Fr.) Maas Geest. の形質にほぼ合致する。20051108108, 堂平, 巖 昭子。

ウスキクヌギタケ (KT) *Mycena flavescens* Velen

顕微鏡的特徴から考察, 子実体の特徴は判然としない。
20050417004, イデン沢, 西村幹雄。

ハイグロクヌギ (MT) *Mycena flos-nivium* Kühner

腐朽木上。傘は暗黄褐色で弱い条線, 表皮構造は疣状菌糸。柄は茶褐色粗条線, 根元に白色粗毛。ヒダは灰白で疎, 湾生, 弱い脈連絡あり。胞子はアミロイド。指状突起のある棍棒形縁シスチジアがあり, 側シスチジアを欠く。20050524047, 大山, 巖 昭子。

クヌギタケ *Mycena galericulata* (Scop.) Gray

普通種。ただし, 2 胞子 - 欠クランプ型と 4 胞子 - 有クランプ型の二形があるが, 区別せず。20040908007。通常二形の区別をしないが, 堂平で採集の標本番号 20041014076 は後者。

チシオタケ *Mycena haematopus* (Pers.) P.Kumm.

普通種。20040604007。

ナマノヒメシロクヌギ (MT) *Mycena hiemalis* (Osbeck) Quéf.

広葉樹の切株, 苔の生えた立木の幹などに発生。傘は黄土褐色, 表皮構造は指状突起のある菌糸。ヒダは白色で疎, 湾生。胞子は非アミロイド, 平滑の長紡錘・瓶形の縁シスチジアを持つ。柄の頂部には指状分岐の菌糸末端がある。根元には苔を伴う。
20050524046, 大山, 三村京子。

センボンアシナガタケ *Mycena inclinata* (Fr.) Quéf.

傷幹上広葉樹林内, コナラやクリ等の切り株や損に発生。普通種。
20040922060, 長尾尾根。

コガネメリタケ *Mycena leaiana* (Berk.) Sacc.

ブナ帯のキノコ。20050510038。

ハイカツツリガネクヌギ (MT) *Mycena leptocephala* (Pers.) Gillet

顕微鏡の特徴も含め, 形態形質が *M. leptocephala* に合致する。

20050510085, 堂平, 三村京子。

ハイロサクラタケ *Mycena niveipes* (Murrill) Murrill

まれ。20050607048, イデン沢, 井上幸子。

アシナガタケ *Mycena polygramma* (Bull.) S.F.Gray

普通種。20041105053。

サクラタケ *Mycena pura* (Pers.) P.Kumm.

20040816003。

ヒメチシオタケ *Mycena sanguinolenta* (Alb. & Schwein.) P.Kumm.

20040901046。

ササカンクヌギタケ (MT) *Mycena* sp.

笹の枯れ桿上に発生。傘はクリーム色地に黄褐色の繊維状鱗片, 傘表皮は平滑の平行菌糸。柄は黒褐色地に白粉状, 柄の頂部には細い棍棒形の柄シスチジア, 根元に褐色菌糸あり。胞子は無色, 平滑, 種形, 非アミロイドで $7.7 \times 4.3\mu\text{m}$ 。20040816051, 三の塔, 井上幸子。

ハイカツツガナシクヌギ (MT) *Mycena* sp.

林内地上。傘は淡灰褐色で非条線, 表皮は刺状の平行菌糸。柄はクリーム白, 透明縞帯状, 疣状菌糸は無く, 菌糸にクランプを欠く。ヒダは白〜クリーム色で密, 直生, 広い。平滑棍棒形の縁シスチジアを持つ。胞子は無色, 平滑, 楕円形, アミロイドで $7.7 \times 4.3\mu\text{m}$ 。20040901103, 長尾尾根, 三村京子。

ヒメシロサクラタケ (MT) *Mycena* sp.

傘は灰白〜クリーム色, 時に傘から柄に貫通穴あり, 表皮は平滑平行菌糸。柄は傘色, 透明絹繊維状で中空。ヒダは傘色, 上生で広く, 脈連絡あり, やや疎。やや厚壁で棍棒形の縁シスチジアを持ち, 側シスチジアを欠く, また菌糸にクランプも欠く。胞子は無色, 平滑, アミロイドで $6.0-7.7 \times 3.4-4.3\mu\text{m}$ (シロサクラタケは縁側シスチジア共, 薄壁で紡錘形, 菌糸にクランプありで相違)。
20040908045, イデン沢, 巖 昭子。

ソヒダサクラクヌギ (MT) *Mycena* sp.

サクラタケに酷似する小形のキノコであるが, サクラタケと比べ, ヒダが疎らで, その両脇に見事なまでに整然と並ぶ脈連絡が目立つのが外観の相違である。更に明確な違いは, 微視的な形質にある。即ち, 傘上表皮菌糸が微疣状の平行菌糸からなり, また縁シスチジア, 側シスチジア共に疎らながら指状突起を持つ紡錘形である。これは特にクヌギタケ節のキノコである。サクラタケは傘表皮, 両シスチジア共に, 疣などの突起を持たず, 平滑なのが特徴である。傘は淡灰紅紫色で, ヒダが透けて条線に見える。傘径はほぼ 4cm 以下。柄もほぼ同色で, 繊維状。ヒダは傘とほぼ同色, ヒダ枚数は 18-22 枚 (サクラタケは 30-35 枚), 直〜湾生, 幅が広い, その間に脈連絡が整然と並ぶ。胞子は無色, 平滑, 楕円形, アミロイドで $6.8-8.5 \times 2.9-3.7\mu\text{m}$ 。実質菌糸は偽アミロイド。柄頂部の表皮菌糸にも少ないながら微疣状突起が見られる。丹沢調査で度々採取され, 初期にはソヒダサクラタケ (MT) としたが, 節の違いを強調する意味で, 遡ってソヒダサクラクヌギ (MT) に変更した。20040908046, イデン沢脇道, 黒谷秀夫, 図 25 参照。

マゴヒダシラチャクヌギ (MT) *Mycena* sp.

構成はソヒダサクラクヌギ (MT) に似るが, シスチジアが非常に

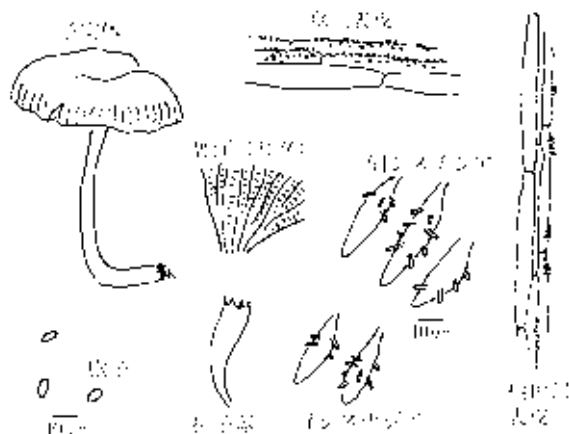


図 25. ソヒダサクラクヌギ (MT) *Mycena* sp. (20040908046 イデン沢脇道 黒谷秀夫)

少ないこと、孫ヒダが多いこと、傘色にピンクの色合いを欠くことが相違点である。ヒダは小ヒダも多く、一見密に見えるが、ヒダは20枚。胞子は長楕円形で $6.8 \times 2.0-2.6 \mu\text{m}$ 、アミロイドである。20040922079, 長尾尾根, 城川四郎。

シラチャソヒダサクラタケ (MT) *Mycena* sp.

ソヒダサクラタケ (MT) の白茶型で、傘は淡黄褐色～白茶、絨状で、表皮は刺状平行菌糸、柄は淡傘色にややピンクの色合いの絹繊維状光沢がある。ヒダはクリーム色で、粉状、脈連絡もあり、やや厚壁の大瓶～紡錘形のシスチジアを持ち、ヒダは20枚。胞子は無色、平滑、長楕円形、アミロイドで $7.7 \times 2.6 \mu\text{m}$ 。20040922080, 長尾尾根, 井上幸子。

マルミノコツブクヌギ (MT) *Mycena* sp.

クヌギタケに似るが、胞子が卵形 ($9-12 \times 6.3-8.6 \mu\text{m}$) でなく、類球形で小形 ($5.1-5.4 \mu\text{m}$) である。20041014075, 堂平, 三村浩康。図 26 参照

アンカツヌメリクヌギ (MT) *Mycena* sp.

柄上部の表皮に特徴的な指状突起の菌糸を持つ。傘は暗褐色、弱い皺状で、湿時粘性を持ち、表皮は微疣状の平行菌糸。柄は白で、下部は暗色、絹繊維状で、表皮菌糸に指状突起がある。ヒダは白、直垂生で、微疣状の囊状～棍棒～紡錘形のシスチジアがある。胞子は無色、平滑、種状楕円形、アミロイドで $8.5 \times 5.4 \mu\text{m}$ 。20041105041, イデン沢, 宮川一孝, 図 27 参照。

アンカツアシナガタケ (MT) *Mycena* sp.

一見色合いの違うアシナガタケ (明灰褐色) であるが、シスチジアの形状を異にする。傘は暗灰黄土褐色、繊維状条を持ち、表皮は微疣状の平行菌糸。柄は白褐色にピンクの色合いを持ち、微疣菌糸は少ない。ヒダは淡灰ピンクでやや疎、直生、脈連絡を欠き、平滑囊状シスチジアがある。アシナガタケのシスチジアは平滑でなく、分岐指状の突起を持つ。胞子は無色、平滑、広楕円形、アミロイドで $9.4-13.6 \times 6.0-7.7 \mu\text{m}$ 。20041105042, イデン沢, 井上幸子, 図 28 参照。

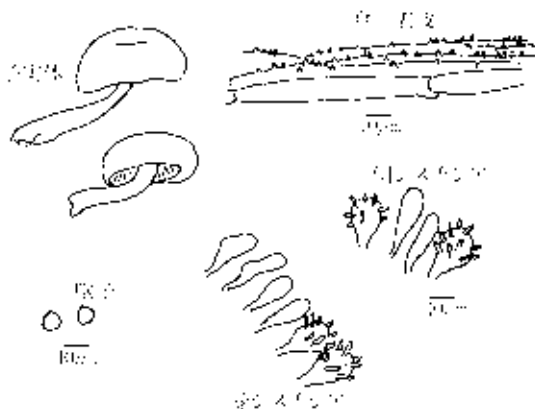


図 26. マルミノコツブクヌギ (MT) *Mycena* sp. (20041014075 堂平 三村浩康.)

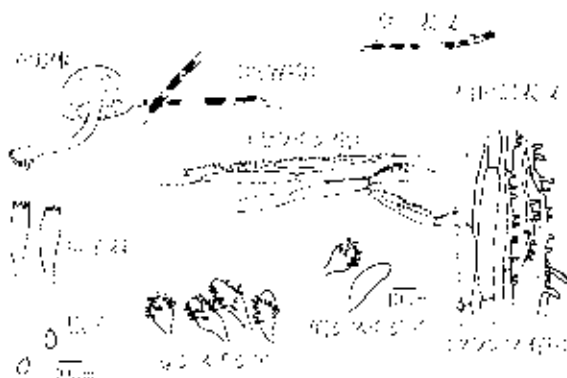


図 27. アンカツヌメリクヌギ (MT) *Mycena* sp. (20041105041 イデン沢 宮川一孝)

スジエノサクラクヌギ (MT) *Mycena* sp.

ヒダもやや密 (36 枚ほど) で、一見サクラタケに酷似するが、柄の表面が繊維状条を付ける筋柄である点を異にする。しかし、傘や柄の表皮に疣指状突起の菌糸を持ち、ヒダのシスチジアにも指状突起があり、ソヒダサクラクヌギ (MT) 同様、クヌギタケ節に入るもの。20041105045, イデン沢, 市川敦子, 図 29 参照。

コツブキュウノウクヌギ (MT) *Mycena* sp.

一見色合いの違うクヌギタケであるが、胞子が小さく ($6.5-8.5 \times 3.4-5.1 \mu\text{m}$)、緑シスチジアの形が刺状の球囊状である点を異にする。クヌギタケの胞子は $9-12 \times 6.3-8.6 \mu\text{m}$ 、緑シスチジアは指状突起のある棍棒形である。傘は淡黄土褐色。20050510084, 堂平, 三村浩康, 図 30 参照。

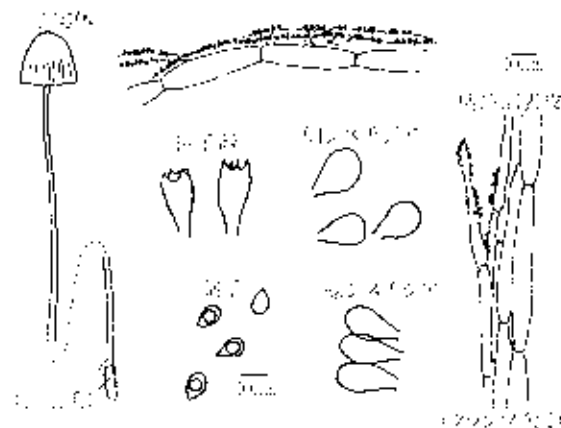


図 28. アンカツアシナガタケ (MT) *Mycena* sp. (20041105042 イデン沢 井上幸子)



図 29. スジエノサクラクヌギ (MT) *Mycena* sp. (20041105045 イデン沢 市川敦子)



図 30. コツブキュウノウクヌギ (MT) *Mycena* sp. (20050510084 堂平 三村浩康)

タレヒダアシナガタケ (MT) *Mycena* sp.

縁シスチジア及び柄頂部の柄シスチジアは同形で特徴的な指分岐突起のある紡錘形、この形状はアシナガタケと合致する。相違点はヒダが垂生し、疎(18枚)である点である。因みに、アシナガタケは上生で25-38枚。20050510086, 堂平, 三村京子, 図31参照。

コツブハイカツヌギ (MT) *Mycena* sp.

傘は淡茶褐色～淡黄褐色, 弱い条線があり, 表皮に微疣菌糸あり。柄は白色絹光沢～繊維状で根元に白粗毛。ヒダは白湾生, 広く24枚, 脈連絡を欠く。ヒダのシスチジアは嘴付き紡錘形。 *M. abramsii* に近縁(標本の胞子はやや小形)。20050607093, イデン沢, 三村京子。

コツブシヒダアシナガ (MT) *Mycena* sp.

傘は暗灰褐色～灰黄褐色で突形, 表皮に微疣菌糸あり。柄は白色～クリーム色～傘色, 繊維状, 根元に白粗毛。ヒダは灰白～クリーム色, 直生, 厚く広く, ルーペで全面が粉毛状, 18枚。ヒダのシスチジアは粒被のある紡錘形。20050607097, イデン沢, 井上幸子。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

傘は灰褐色, 繊維状で突形, 表皮に疣状菌糸あり。柄は淡傘色繊維状。ヒダは白クリーム色, 湾直生で22枚, ルーペで全面白粉毛。縁シスチジアは太首瓶形, 側シスチジアは紡錘形。20050607100, イデン沢, 岡はま子。

センボンヒメアシナガ (MT) *Mycena* sp.

傘は灰黄褐, 弱い条線, 白粉状で臍窪状, 表皮に微疣菌糸があり, 非ゼラチン化。柄は淡傘色で繊維状, 根元に白菌糸マット, 非束生。縁シスチジアは波状棍棒～瓶形。因みに, 近似種のセンボンアシナガタケは指状突起棍棒形の縁シスチジア。センボンクヌギタケは突錐状紡錘形の縁シスチジアで傘は粘性。20050628123, 堂平, 市川敦子。

ハイカツホソミノツリガネクヌギ (MT) *Mycena* sp.

前出ハイカツツリガネクヌギ (MT) の細い胞子型。標本の胞子は $7.7-8.8 \times 3.7-4.3 \mu\text{m}$ 。因みに, ハイカツツリガネクヌギ (MT) の胞子は $7.3-9.3 \times 4.3-5.9 \mu\text{m}$ 。20050628125, 堂平, 市川敦子。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

胞子には無いが, 微疣球囊子実層状の傘表皮構造, 微疣球囊縁シスチジア, 微疣棍棒形側シスチジアから, クヌギタケ節, *Ciliatae* 亜節に置かれる。20051004095, 大又沢, 清水芳治。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

疣状菌糸の表皮構造, 疣指突起の棍棒形縁シスチジア, 同形の側シスチジア, 円柱形胞子から *Mycena flos-nivium* の近縁であろう。尚, *M. flos-nivium* は側シスチジアを欠くとされるが, 他はよく符合。20051004099, 大又沢, 黒谷秀夫。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

傘は殆ど白, 中淡褐色, 表皮に微疣菌糸を持つ。縁シスチジアは平滑棍棒形で, 側シスチジアには指状疣突起がある。胞子は無色, 平滑, 広楕円形, 非～弱アミロイドで $6.0-6.8 \times 4.3-5.1 \mu\text{m}$ 。 *Mycena hiemalis* の近縁種と思われる。20051004101, 大又沢, 増子忠治。

フトミノベニカノアシ (MT) *Mycena* sp.

傘は紅色, 表皮に指状突起菌糸あり。柄は淡橙黄色で透明繊維

状条, ヒダはクリーム色縁取りで19枚, 樹脂被のある紡錘形の縁シスチジアを持つ。胞子は広楕円形, 非アミロイドで $7.7-8.5 \times 4.3-5.1 \mu\text{m}$ で, 胞子が太いことを除きベニカノアシタケの形質にほぼ合致。因みに, ベニカノアシタケ胞子は $9-11 \times 3.5-4.5 \mu\text{m}$ 。20051025070, 大又沢, 宮川一孝。

シロエノクヌギタケ (MT) *Mycena* sp.

特徴的には白柄が目立つクヌギタケであるが, シスチジア形状の組み合わせが相違する。傘は灰黄土褐, 繊維状, 弱い皺条で, 上表皮は疣状平行菌糸。ヒダは白でやや密, 直生, 24枚。突起のある棍棒形の縁シスチジアと平滑紡錘形の側シスチジアがある。柄の上部は白で絹状繊維, 下部は淡橙色の繊維状縦縞が薄く被り, 根元には白の長毛あり。また柄の上部表皮には, 疣状菌糸と共に, ヒダに見られる縁シスチジア, 側シスチジアと同形のシスチジアが混在し散在する。胞子は無色, 平滑, 楕円形, アミロイドで $8.8-10.2 \times 5.1-5.4 \mu\text{m}$ 。20051108106, 堂平, 三村京子, 図32参照。

モミクヌギタケ (KT) *Mycena* sp.

モミ材に着生。外形はクヌギタケ状, 灰褐色。傘の径45mm, 中丘がある。ひだは密, 直生, ややピンクを帯びる。柄は長さ50mm。胞子は楕円形, $5-6 \times 3 \mu\text{m}$, アミロイド。縁シスチジアは便腹型, 紡錘形など, $40-50 \times 8-10 \mu\text{m}$, 密生。柄シスチジアは糸状, $80-100 \times 5 \mu\text{m}$ 。傘表皮は糸状菌糸よりなる。20040705171, 大洞沢, 黒谷秀夫。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

崩壊地。シロサクラタケ? 20040901037。

ミタケウスキブナノミタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.955)

***Mycena* sp.**

ブナの果実に生える可憐な全体淡黄色のキノコである。傘は径7-8mm, 平滑で粘性はない。ひだはほぼ直生し, やや疎。柄は長さ4-5cm, 細くて中空, 基部は長毛があり, 根状に伸びて地中のブナの実に連なる。胞子はアミロイド, 卵形～楕円形, $8-9 \times 3.5-5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアはのう状-こん棒状で膨大部に多くの指疣突起をそなえ, $20-35 \times 13-18 \mu\text{m}$, 密生する。側シスチジアは便腹型で頸部が長く, $45-100 \times 5-19 \mu\text{m}$, 散在する。普通種として日本の図鑑に紹介されているウスキブナノミタケは縁シスチジアが便腹型と記されており, 本種ののう状指疣型とは異なる。青木氏はその相違から本種に標記の仮称を与えて区別した。筆者らの調査では日本海側の雨飾山産, 秋田県吉森山産, 丹沢産すべてミタケウスキブナノミタケ型であった。従来, ウスキブナノミタケに当てられていた *M. luteopallens* のタイプ標本を調べたら, *M. luteopallens* ではないことがわかり, 改めて *M. crocea* という学名が与えられたという。しかし, それは日本のウスキブナノミタケとは違うらしい。この混乱はまだ解決していない。日本のウスキブナノミタケには新しい学名が記載されるべきであり, 縁シスチジアが便腹型と記されている文献記載は誤認であると思う。学名記載にあたり再検討されればミタケウスキブナノミタケという仮称は必要がなくなると考える。20040922015, 長尾尾根, 城川四郎, 図33参照。

セイタカクロクヌギタケ (KT) *Mycena* sp.

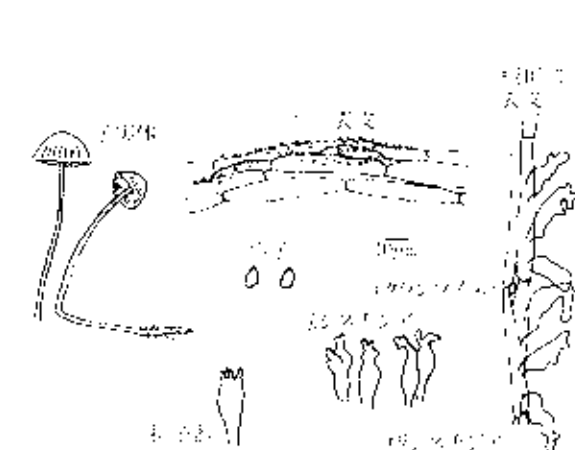


図 31. タレヒダアシナガタケ (MT) *Mycena* sp. (20050510086 堂平 三村京子)

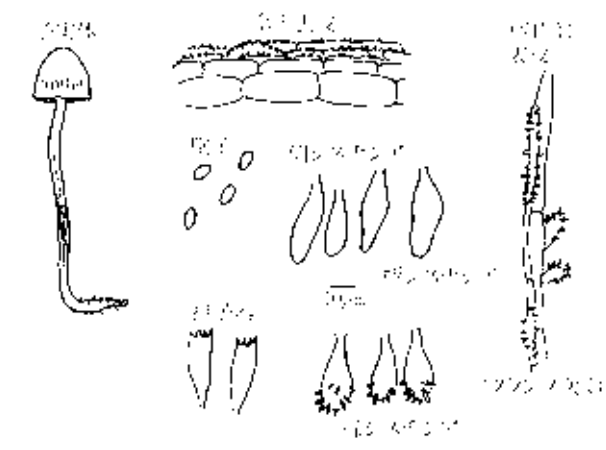


図 32. シロエノクヌギタケ (MT) *Mycena* sp. (20051108106 堂平 三村京子)

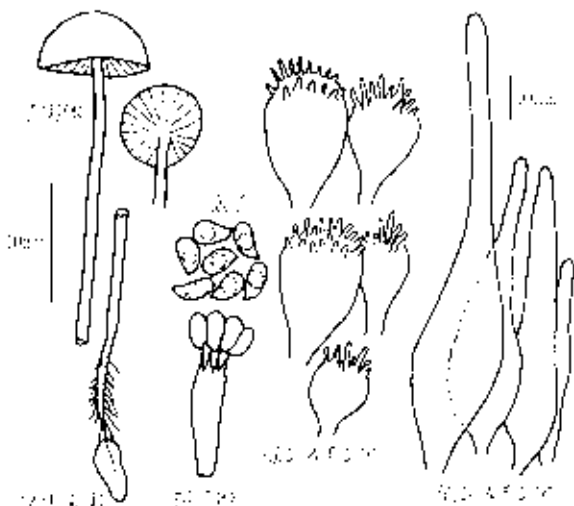


図 33. ミタケウスギブナミタケ (青木 T 日本きのこ図版 No.955) *Mycena* sp. (20040922015 長尾尾根 城川四郎)

検討中。20041014011.

イデンミケナ (KT) *Mycena* sp.

検討中。20041105007.

ホソナガクヌギ (KT) *Mycena* sp.

傘は茶褐色, 検討中。径 10mm, 柄の長さ 60mm. 20041105008.

ゼンタイアンカツアシナガタケ (MT) *Mycena* sp.

アンカツアシナガタケ (MT) と比べ, 柄を含め, 全体が暗褐色であるが, 大きな相違点は柄シスチジア (紡錘形) を持つこと, ヒダのシスチジアが囊状でなくてやや長く, 棍棒形に近い。20041105043, イデン沢。

アカカツカレバクヌギ (MT) *Mycena* sp.

傘表皮の菌糸も, また紡錘～瓶形シスチジアも平滑である点, 汁管菌糸を持つことから, チシオタケ節が推定される。傘は赤褐色, 中暗, 繊維状。柄は傘色繊維状条, 微疣菌糸と汁管を持つ。ヒダはベージュ, 直生で広く, 疎 (20 枚), 大きな平滑の紡錘～瓶形のシスチジアを持つ。胞子は無色, 平滑楕円形, 弱いアミロイドで $10.2 \times 5.1 \mu\text{m}$ 。20041105046, イデン沢, 三村浩康。

クヌギタケダマシ (KT) *Mycena* sp.

ヨツミノクヌギタケ (MT) と同種かもしれない。20050607051, イデン沢, 増子忠治。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

20050607052.

アシナガサクラクヌギ (KT) *Mycena* sp.

アシナガタケに似てサクラタケ節の所属。20050607053, イデン沢, 巖 昭子。

コツブジュヒクヌギ (MT) *Mycena* sp.

傘は暗灰褐色, やや hygrophanous, 長条傘, 表皮は微疣菌糸。ヒダは灰白で 18 枚, 脈連絡を欠く。指疣状突起のある棍棒形縁シスチジアを持つ。倒木樹皮の苔間に発生。 *M. mirata* に近縁 (標本の胞子はやや小形) であろう。20050607091, イデン沢。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

傘は灰黄褐色, 皺状, hygrophanous で, 表皮に疣状菌糸を持つ。柄は白色繊維状。ヒダは汚淡褐色で上生, 32 枚。分岐突起の紡錘形縁シスチジアを持ち, 胞子はアミロイド。クヌギタケ節。20050607092, イデン沢。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

20050802049.

ハリシスチジアサクラタケ (KT) *Mycena* sp.

20050906024.

マルミノシロサクラクヌギ (MT) *Mycena* sp.

傘は汚白, 中灰色, 繊維状, 表皮に疣菌糸。柄は傘色, 繊維状条, 頂は白粉状, 表皮に疣菌糸。ヒダは白で直垂生, 疎 (24 枚), 広, 脈連絡無し, ヒダのシスチジアは平滑の紡錘～棍棒形。胞子は広楕円～類球形, アミロイド。クヌギタケ節, *Ciliatae* 亜節に置かれる。20051004100, 大又沢, 清水芳治。

クヌギタケ属の一種 *Mycena* sp.

子実体全体が黄褐色。傘表皮に微疣菌糸を持つ。縁シスチジアは指疣突起のある囊状で, 側シスチジアを欠く。胞子は無色, 平滑, 楕円形, 非～弱アミロイドで $8.5-8.8 \times 3.9-4.3 \mu\text{m}$ 。クヌギタケ節, クヌギタケ亜節に置かれる。20051025076, 大又沢。

シロサクラタケ *Mycena subaquosa* A.H.Sm.

研究者によってはサクラタケの品種 *M. pura* f. *alba* (Gillet) Kühner とする。20040908008.

クチキクロヒダサカズキタケ (KT) *Omphalina* sp.

材上生。全体黒褐色 (ほとんど黒く見える)。傘は径 1cm, 中央は強く凹み, 縁部は内曲する。ひだも黒褐色でやや密, 垂生。肉は白い。柄は直立し長さ 3cm, 径 4mm, 中空, 基部に白色菌糸束がある。胞子は非アミロイド, 楕円形, $7-8 \times 4-4.5 \mu\text{m}$ 。傘表皮は並列菌糸。20050913021, 堂平, 黒谷秀夫。

ハイロヒダサカズキタケ (KT) *Omphalina* sp.

腐木に生える中型菌。全体黒灰褐色, 傘は径 3cm, 中央が凹み, 平滑で条線はない。ひだは強い垂生でやや疎。柄は $3\text{cm} \times 3\text{mm}$ 。胞子は非アミロイド, $6-8 \times 4 \mu\text{m}$ 。要再検討。20041014018.

フチドリツエタケ *Oudemansiella brunneomarginata* Lj.N.Vassiliev

まれ。20041105009.

マルミノツエタケ *Oudemansiella japonica* (Dörfelt) Pegler & Young

地上に生える褐色～灰褐色の中型菌である。後記ミヤマツエタケ (仮称) と同じく *Radicata* 節に属する。ミヤマツエタケとは胞子が球形～類球形であることを決定的な相違点とする。現段階ではミヤマツエタケとサヤマツエタケの子実体の肉眼的識別点を明らかにできていないが, 本種は傘上面の放射状の太い隆起脈と周辺の網状隆起の状況から, 子実体の肉眼観察でおおよそ同定可能である。今回の調査で, 分布域もミヤマツエタケと違って平地里山からブナ帯に至る広い範囲に分布することが明らかになった。従来の観察から平地におけるマルミノツエタケの分布量はサヤマツエタケの 1 割程度と認識していたので, 2005.10.4, 大又沢の調査でサヤマツエタケの 18 個に対しマルミノツエタケが 15 個採集された事例から, 本種は低地よりもやや標高の高い地域に多く分布するものと考えられる。しかし, 今回の調査では地域的に分布量の偏りが著しいので, 分布様式を把握するには今後の多数の地域, 資料に基づく考察が必要である。20051004138, 大又沢, 増子忠治, 図 34 参照。

ヒロヒダタケ *Oudemansiella platyphylla* (Pers.) M.M.Moser

普通種。20040901022.

ミヤマツエタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1100) *Oudemansiella radicata* (Rehhan) Singer

地上に生える灰褐色～褐色の中型菌である。従来, 日本の文献に解説されているツエタケの学名は標記の *O. radicata* であるが, この学名に該当する形質を備えたツエタケは, 神奈川県低地には分布せず, 丹沢山地のようにやや標高の高い地域に分布することが今回の調査で明らかになった。低地里山にも多く分布するツエタケをサヤマツエタケと仮称して本種と区別することとした。子実体の肉眼的特徴ではサヤマツエタケとの識別点がまだ解明できていない。サヤマツエタケと共に傘上面の隆起脈, 網目はきわめて変化が多く, 大きさも色調も変化が多い。傘の径は 10cm 以下, 高さ 15cm 以下で, 灰褐色～淡黄土褐色が多い。傘表皮は子実層状で頭球こんぼう状～球囊状の細胞よりなり, 傘シスチジアを欠く。胞子は楕

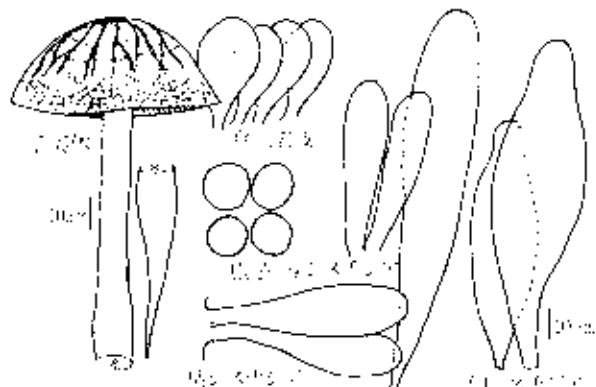


図 34. マルミノツエタケ *Oudemansiella japonica* (Dörfelt) Pegler & Young (20051004138 大又沢 増子忠治)

円形で15-16 × 10-12 μm (Q=1.3-1.6), 縁シスチジアはほぼ円筒形で先端は円頭, 側シスチジアは分布量, 大きさ, 形態に変化が多いがほぼ90-140 × 28-35 μm, 先端部に分泌物を被っている場合もある。柄シスチジアはこん棒状で円頭。サトヤマツエタケとの相違点は傘シスチジアを欠くこと, 胞子は楕円形で銀杏型を示すものは存在しないこと, 柄シスチジアは嚢状〜こん棒状で円頭であることで明確に識別される。20040816086, 三の塔, 井上幸子図35参照。

サトヤマツエタケ (KT) *Oudemansiella* sp.

地上に生える灰褐色〜褐色の中型菌である。ツエタケ属 *Oudemansiella* は傘シスチジアを欠く *Sect. Radicata* と傘シスチジアを持つ *Sect. Albotomentosi* の節に分けられる。仮称ミヤマツエタケは前者に属する。神奈川県周辺の平地里山に産するツエタケ類は次に記すマルミツエタケを少産するほかほとんどは傘シスチジアを持つ *Albotomentosi* 節に属する。しかし, 日本の文献ではツエタケに *radicata* の種名を当てているため, 普通に里地で見えるツエタケは *Sect. Albotomentosi* 節に属することは確かであるがそれに当てるべき学名はまだ判然としない。調査域内の全地域で多数確認できたので, その分布域は平地から, 標高のやや高い地域にまで広く分布することが明らかになった。現段階では子実体の肉眼的観察ではミヤマツエタケ (仮称) と識別できない。傘表皮に直立線状のシスチジアが存在する。胞子はすべてが明らかな銀杏型または楕円形で一部銀杏型の要素を含む。縁シスチジアの先端は円頭とならず細まる傾向があり, 柄シスチジアは線状である。したがって, 乾いた状態ならば, 傘上面をルーペで観察すれば傘シスチジアの確認により本種を認識できる。20050906013, 菰釣山, 城川四郎, 図36参照。

トゲミフチドリツエタケ (KT) *Oudemansiella* sp.

地上に生える褐色の中型菌である。傘は径5cm以下で強い粘性があり, 茶褐色〜橙褐色, 隆起脈はなく, ほぼ平坦である。ひだは垂生し, 白色で縁部は褐色の縁取りがある。柄は15cm以下で基部には膨らみがあり, 傘と同色の微細点を密布し, やや粘性がある。傘表皮はこん棒状細胞と直立円筒状の傘シスチジアが

らなる。胞子は金平糖状に2.5 μmほどの鈍頭針状突起のある球形で径10 μm, 非アミロイド。縁シスチジアは円筒状で50-90 × 7-9 μm, 密生する。柄シスチジアは糸状で40-60 × 5-7 μm, 粒点で叢生する。針状突起胞子を持つツエタケ類は世界的にも稀なようであり, 本種も未知種である。神奈川県内では1991.11.8, 高尾山; 1995.10.7, 宮が瀬; 1999.10.24, 津久井仙洞寺山で採集例がある。他県では2005.10, 熊本県菊池溪谷で採集されたとの不確実情報がある (熊本きのこ会会報)。20051004152, 西丹沢大又沢, 藤沢示弘, 図37参照。

シロツエタケ (KT) *Oudemansiella* sp.

地上に生える白色の中型菌である。純白のツエタケの存在は情報として伝えられていたこともあり, 桧岳での採集例もあるが, 他の文献での記載はない。採集品の顕微鏡的特長は前記サトヤマツエタケと全く一致することから, 筆者はサトヤマツエタケの白色型であると考えている。生育時にはその純白を認識できるが, 乾燥標本では色調判断はできないので他のサトヤマツエタケと識別できない。サトヤマツエタケには色素の多いものから少なくてほとんど白いものまで変異があるが, 純白種は分類群を分け, 白色品種として考えるべきものと判断したので標記の仮称を与えて別記した。なお, ミヤマツエタケ型の白色種が存在する可能性もあるので肉眼観察だけで本種の同定はできない。20040816084, 三の塔, 市川敦子・三村京子, 図38参照。

スメリツバタケモドキ *Oudemansiella venosolamellata* (Imazeki & Toki) Imazeki & Hongo

スメリツバタケとはひだにしわを生ずる点で異なる。ブナの立ち枯れに生えるブナ帯のキノコである。スメリツバタケはブナ帯に分布しない, 20040604405。

ムキタケ *Panellus serotinus* (Schrad.) Kühner

ブナ立ち枯れに生えるブナ帯のキノコである。食用きのことしてキノコ狩りの対象になる, 20041014106。

ワサビタケ *Panellus stipticus* (Bull.) P. Karst.

普通種。20040705156。

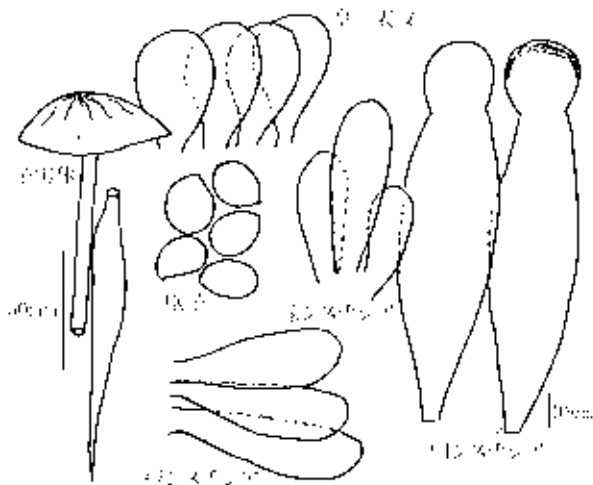


図 35. ミヤマツエタケ (青木T 日本きのこ図版 No.1100) *Oudemansiella radicata* (Relhan.) Singer (20040816086 三の塔 井上幸子)

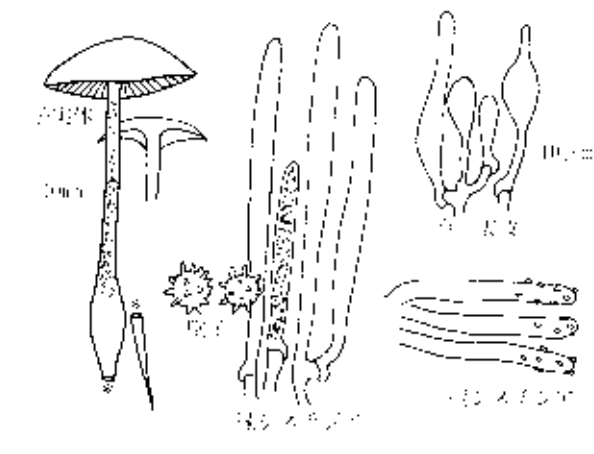


図 37. トゲミフチドリツエタケ (KT) *Oudemansiella* sp. (20051004152 西丹沢大又沢 藤沢示弘)

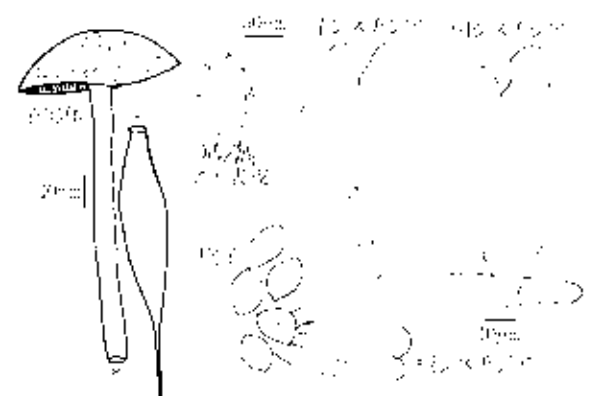


図 36. サトヤマツエタケ (KT) *Oudemansiella* sp. (20050906013 菰釣山 城川四郎)

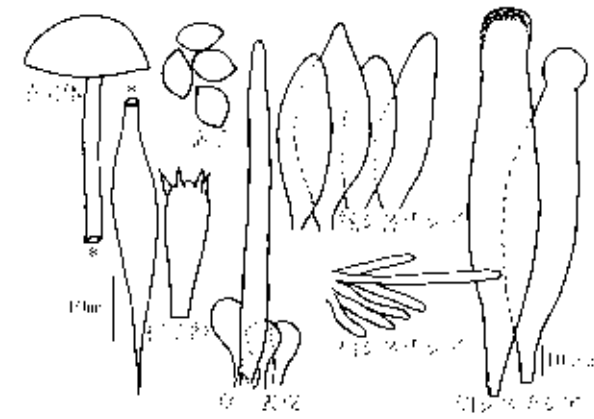


図 38. シロツエタケ (KT) *Oudemansiella* sp. (20040816084 三の塔 市川敦子・三村京子)

クロサカズキシメジ *Pseudoclitocybe cyathiformis* (Bull.) Singer

胞子はアミロイド、菌糸にクランプを欠く。20041014017.

クロサカズキタケ *Pseudoclitocybe obbata* (Fr.) Singer

前出のクロサカズキシメジ（鼠色～灰褐色で条線を欠く2-7cm 径の傘）に対し、小形で煤褐色～黒褐色の深い臍窪 - 透明条線傘 (3-6cm 径)。普通種。20041014065, 堂平, 井上幸子。

シジミタケ *Resupinatus applicatus* (Batsch) Gray

腐木に重生するヒラタケ型、黒色の小菌。胞子は球形。まれ。20050524009, 大山, 井上幸子。

ナガミノシジミタケ *Resupinatus silvanus* (Sacc.) Singer

子実体はシジミタケに酷似。20040705149.

スギエダタケ *Strobilurus ohshimae* (Hongo) Hongo & Izawa

普通種。20040901036.

キサマツモドキ *Tricholomopsis decora* (Fr.) Singer

普通種。20041014103.

サマツモドキ *Tricholomopsis rutilans* (Schaeff.) Singer

普通種。20041014102.

ヒメカバイロタケ *Xeromphalina campanella* (Batsch) Maire

普通種。20050524062.

ウスアカヒダタケ (KT) 科の所属も検討中

中型の地生菌。かさは淡紅褐色を帯び、径 3cm, 放射状条線がある。ひだは直生、淡紅色を帯び、やや疎。柄は白く 3cm × 5mm。胞子はごく淡い褐色を帯び、楕円形、平滑、7-8 × 3.5-4.5 μm。縁シスチジアは紡錘形で先はやや急に細まり頸部がある。側シスチジアもほぼ同形。肉眼的にはひだの色からイッポンシメジ科を想定したが異なる。資料は子実体 1 個。20050927003, 県民の森, 井上幸子。

アミロツヤシメジ (KT) 所属検討中

材上生。傘は径 3cm, わずかに淡褐色を帯びる白色で、銀光沢がある放射状繊維が発達、中央は多少凹むが平坦。ひだやや疎、直生。柄は長さ 3cm, 径 5mm, 中空。胞子はアミロイド、類球形・広卵形、5-6 × 5 μm, 傘表皮は平行菌糸。20050628047, 堂平, 巖 昭子。

センボンタンナサワフタギタケ (KT) 所属検討中

ハイノキ科タンナサワフタギの樹皮に群生。全体汚白色、傘は貝殻状、幅 5mm, 上面に放射状の疎らな広い溝線がある、ひだは極めて疎でやや不規則。柄は傘の基部に着いて短い。胞子は広卵形、10-12 × 6 μm, 非アミロイドかごく弱いアミロイド。傘表皮はややゼラチン化したからみあい菌糸よりなる。20050628052, 堂平, 三村浩康。

クロアミシジミタケ (KT) 所属検討中

傘の上から見ると一見シジミタケ状、下面はひだが著しく不規則、粗く分岐、連絡して粗大な網状になる。胞子は類球形、アミロイド、径 4-5 μm。4 胞子型。菌糸にはクランプがある。20050802047, イデン沢, 巖 昭子。

テングタケ科 Amanitaceae

ヒメコナカブリツルタケ *Amanita farinosa* Schwein.

普通種。20040705029.

コガネテングタケ *Amanita flavipes* S.Imai

まれ。20040728040.

アオミドリタマゴテングタケ *Amanita griseoturcosa* T.Oda, C.Tanaka & Tsuda

最近、記載された。ややまれ。20050927008, 県民の森, 城川四郎。

タマゴタケ *Amanita hemibapha* (Berk. & Broome) Sacc.

普通種。20040816007.

ミヤマタマゴタケ *Amanita imazekii* T.Oda, C.Tanaka & Tsuda

普通種。20040901128.

タマゴテングタケモドキ (アカハテングタケ) *Amanita longistriata* S.Imai

普通種。20040705116.

シロテングタケ *Amanita neo-ovoidea* Hongo

普通種。20040728039.

ガンタケ *Amanita rubescens* Pers.

普通種。20050913160.

カバイロコナテングタケ *Amanita rufoferruginea* Hongo

ややまれ。20050802036.

ニオイドクツルタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1075) *Amanita* sp.

つばがやや黄色を帯びるほか全体白色、柄にはささくれがある。つばの下端部は細まり尖る。KOH 水溶液に反応しない。胞子は楕円形である。20040816005.

アケボノドクツルタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1098) *Amanita* sp.

全体白色、しばしば傘の頂部は紅色を帯びるがその発色はかなり個体差がある。本標本は発色を認めなかった。近似種に比べ華奢である。柄にささくれは全くない。つばの基部は円い。KOH 水溶液で黄色に染まる。胞子は球形である。20040908011.

カバイロツルタケ *Amanita vaginata* (Bull.) Lam. var. *fulva* (Schaeff.) Gillef

普通種。20040901127.

ツルタケ *Amanita vaginata* (Bull.) Lam. var. *vaginata*

普通種。20040728025.

シロタマゴテングタケ *Amanita verna* (Bull.) Lam.

KOH 無変色。20040922091.

ドクツルタケ *Amanita virosa* (Fr.) Bertill.

全体白色、つば、つばがあり、柄のささくれが目立つ。KOH 水溶液で黄染し、胞子は球形。ドクツルタケの近似種は神奈川県内に多産するが本種の確認は神奈川県内では初めてで、神奈川県内の平地には分布しないようである。20051004015.

フクロツルタケ *Amanita volvata* (Peck.) Lloyd

普通種。20050927066.

ウラベニガサ科 Pluteaceae

クロフチヒメベニヒダタケ (KT) *Pluteus* aff. *luctuosus* Boud.

材上に生える黒っぽい中型菌である。傘は黒褐色で径 3-5cm, 一見平滑であるが全面に微細なちりめんしわがある。ひだは離生し、黒褐色の縁取りがある。柄は白く、長さ 3-6cm。傘上表皮は子実層状で幅 25-35 μm の、褐色のう状の細胞よりなる。胞子は類球形～広楕円形、5-7 × 4-5 μm。縁シスチジアは暗褐色、う状で幅 15-20 μm。側シスチジアは便腹型、50-70 × 15-20 μm。仮称はヒメベニヒダタケ節で縁どりがあることを示した。本品の顕微鏡的形質は文献に記載される *P. luctuosus* の特徴にほぼ一致するが、縁シスチジアの形態などやや異なる点もあるのでその近似種とした。20041014023, 堂平, 市川敦子, 図 39 参照。

ウラベニガサ *Pluteus atricapillus* (Batsch) Fayod

普通種。20040616021.

クロベニヒダタケ *Pluteus atrofuscens* Hongo

傘表皮は円柱形菌糸よりなる。胞子は類球形、縁シスチジアも側シスチジアも薄壁、囊状。20040922032.

ヒメベニヒダタケ *Pluteus nanus* (Pers.) P.Kumm.

傘は球囊状細胞よりなる。20040901050.

コイノベニヒダタケ (富士 T, 日本きのこ図版 No.169) *Pluteus podospileus* Sacc. & Cub.

傘表皮は球囊状細胞と紡錘状細胞の 2 形が混在し、ひだの縁取りはない。20050802051.

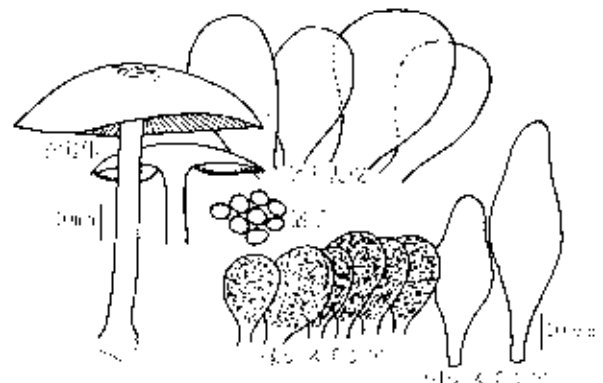


図 39. クロフチヒメベニヒダタケ (KT) *Pluteus* aff. *luctuosus* Boud. (20041014023 堂平 市川敦子)

キアシベニヒダタケ *Pluteus romellii* (Britzelm.) Lapl.

傘は褐色、柄は黄色を帯びる。ヒメベニヒダタケ節に属する。ややまれ。20050913030。

トゲシカタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1136) *Pluteus* sp.

朽木に生える暗褐色の中型菌である。傘は低い丸山形、径 3cm、暗褐色の繊維が放射状に圧着。ひだは離生、はじめ白く、のち紅色を帯びる。柄は高さ 40mm、径 5mm、暗褐色の繊維が着く。胞子は楕円形、 $6-8 \times 4.5-5 \mu\text{m}$ 、淡紅色。縁シスチジアは薄壁の短いこん棒状、 $35-40 \times 12-16 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは厚壁の紡錘形、 $60-70 \times 14-15 \mu\text{m}$ 、頂部付近に不規則に尖った突起を出す。この突起が頂部だけでなく上部側面にも出ることと突起が小さいことが本種の特徴である。傘表皮の暗褐色繊維は径 $7-15 \mu\text{m}$ の糸状菌糸よりなり、クランプがある。この資料はスギ材上に発生。日本きのこ図版 No. 1136 に青木氏が標記の名で紹介しているものにほぼ一致することからその名を当てた。しかし、青木氏の胞子は $6-8 \times 5-6.5 \mu\text{m}$ で幅に少し違いはある。20040616055, 押出沢, 増子忠治, 図 40 参照。

ツノナシウラベニガサ (KT) *Pluteus* sp.

傘は径 5cm、暗褐色、表皮は糸状菌糸。柄は白色。胞子は広楕円形 - 類球形。縁シスチジアはこん棒状、側シスチジアは太い円柱状、厚壁(メチュロイド)、頂部に鍵突起なく円頭。クランプはない。Singer はウラベニガサ節に属し鍵突起のないものに *Amphycystis* 系を挙げているがそれは傘が黄色〜蜂蜜色であるという。本種の傘には黄色系の色調はない。20040901051, 長尾尾根, 市川敦子。

ミヤマベニヒダタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1100) *Pluteus* sp.

朽木に生える暗褐色の中型菌である。傘は丸山形のち平開、径 3-5cm、黒褐色で不規則な網状隆起紋様がある。ひだは密で離生、幅はやや広くほぼ 4mm。柄は $40 \times 4\text{mm}$ 、傘より淡色、全面に暗褐色の微細な粒点を密布する。胞子は類球形、 $5-6 \times 4.5-5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは紡錘形〜便腹形、 $45-70 \times 12-18 \mu\text{m}$ 、密生。側シスチジアは散在し紡錘形で太いものが多い。柄シスチジアは紡錘形、 $60-80 \times 10-15 \mu\text{m}$ 。傘鱗片の末端菌糸は長紡錘形で立ち上がり、先端は尖る。日本きのこ図版 No. 1100 に青木氏が標記の名で紹介しているものにほぼ一致するのでその名を当てる。傘表皮の末端菌糸が立ち上がり、やや子実層的になる特徴からベニヒダタケ節の *Atriavellaneus* 系に属し、*P. plautus* に近い。外形的にはひだの縁どりが無い以外はフチドリベニヒダタケ *P. umbrosus* に酷似する。20050628054, 堂平, 井上幸子, 図 41 参照。

イトサキトガリウラベニガサ (KT) *Pluteus* sp.

ウラベニガサ節に属し、クランプを持つので Singer の *Subcervinus* 系に含まれることになるが、本標本は傘表皮の菌糸の末端が鋭く尖る特徴がある。20041014024, 堂平, 清水芳治。

ナガボウスイウラベニガサ (KT) *Pluteus* sp.

ウラベニガサ節に属し、クランプを持つので Singer の *Subcervinus* 系に含まれることになるが、本標本は傘表皮の菌糸の末端はやや長い紡錘形状に膨らむ特徴がある。20041014025, 堂平, 三村京子。

ウラベニガサ属の一種 *Pluteus* sp.

検討中。20050510053。

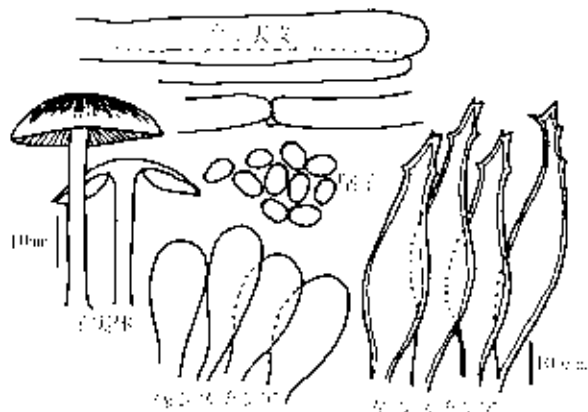


図 40. トゲシカタケ (青木 T 日本きのこ図版 No.1136) *Pluteus* sp. (20040616055 押出沢 増子忠治)

ウラベニガサ属の一種 *Pluteus* sp.

検討中。20050510054。

ウラベニガサ属の一種 *Pluteus* sp.

検討中。20050510057。

トウキウウウラベニガサ (KT) *Pluteus* sp.

縁シスチジアは頭球こん棒状で特徴的である。20050510059。

コハクベニヒダタケ (KT) *Pluteus* sp.

朽木に生える黄褐色の小菌である。傘は径 2cm、明るい茶色に黄色を加えたような鮮やかな色で、琥珀色と表現したい。頂部に不規則な隆起脈がある。ひだは密で離生、幅は広く 4mm。柄は $10-15 \times 3\text{mm}$ 、淡黄色を帯びる。胞子は類球形、径 $5-7 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアはこん棒形、円筒状、紡錘形など、 $30-70 \times 10-20 \mu\text{m}$ 、側シスチジアもほぼ同形で $30-60 \times 10-20 \mu\text{m}$ 。傘表皮は子実層状で、幅 $17-20 \mu\text{m}$ の球囊状の細胞よりなる。本品は傘の色以外の、子実体の形態、顕微鏡的構造はヒヨロベニヒダタケによく似る。20050628056, 堂平, 宮川一孝, 図 42 参照。

マダラウロコベニヒダタケ (KT) *Pluteus* sp.

朽木に生える暗褐色の中型菌である。傘は丸山形、径 3-6cm、暗褐色の微細な鱗片が白色繊維状の地肌全面に疎着し、ごまだら状になる。ひだは密で離生する。柄は $50 \times 5\text{mm}$ 、暗褐色の微細粒点があり淡暗褐色を帯びる。胞子は類球形、径 $4.5-5.5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは多形でこん棒状、円筒状、便腹形、紡錘形などの大小さまざまで、 $25-60 \times 9-20 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは便腹形〜紡錘形、 $50-100 \times 10-25 \mu\text{m}$ 。傘表皮の菌糸は糸状で、先端は細まり尖る。

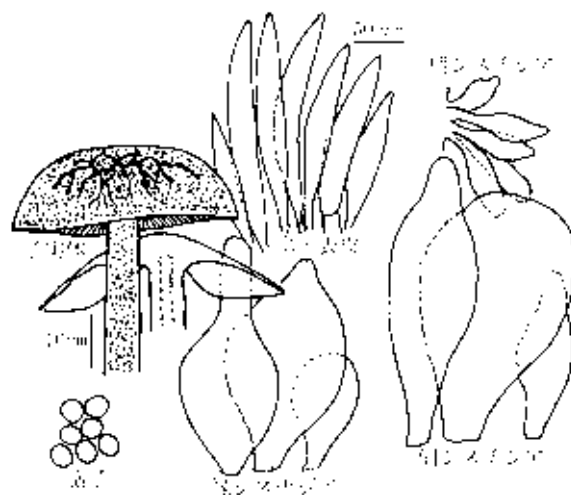


図 41. ミヤマベニヒダタケ (青木 T 日本きのこ図版 No.1100) *Pluteus* sp. (20050628054 堂平 井上幸子)

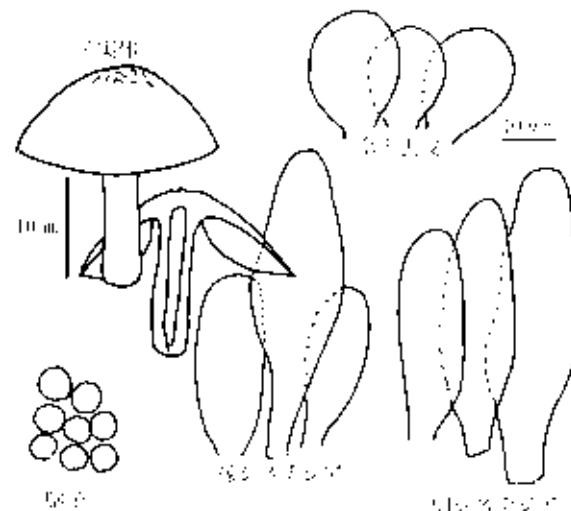


図 42. コハクベニヒダタケ (KT) *Pluteus* sp. (20050628056 堂平 宮川一孝)

柄シスチジアは長紡錘形で先端は尖る。傘表皮の末端菌糸が立ち上がり、尖る特徴からベニヒダタケ節に属し、Singer の *Fuliginosus* 系に属する。20050628060, 堂平, 三村京子, 図 43 参照。

タンゼツヒョウヒウラベニガサ (KT) *Pluteus* sp.

材上生中型菌。傘は径 4cm, 暗茶褐色の鱗片をやや疎らに被る。傘表皮は糸状菌糸, やや立ち上がり, 先端は尖る。その節間が比較的短いのが特徴である。胞子は広楕円形, メチュロイドはない。縁シスチジアも側シスチジアもほぼ同形で先端は次第に細まる。ベニヒダタケ節に属し、Singer の *Fuliginosus* 系に所属する。20050628062, 堂平, 巖 昭子。

ウラベニガサ属の一種 *Pluteus* sp.

検討中。20050802052。

ウラベニガサ属の一種 *Pluteus* sp.

検討中。20050906026。

ウスチャアシブトベニヒダタケ (KT) *Pluteus* sp.

材上生中型菌。傘は径 6cm 以下, 茶褐色, 平坦で中央にもしわはない。ひだは上生, 淡紅色, 密。柄は 4cm × 9mm, 白い。傘表皮は球嚢状細胞。胞子は広楕円形, メチュロイドなし。ヒメベニヒダタケ節に属し、Singer の *Eucellulodermini* 亜節, *Tucumanus* 系に所属する。20050913027。

コナウロコベニヒダタケ (KT) *Pluteus* sp.

材上生中型菌。傘は径 7cm 以下, 暗褐色～黒褐色の細鱗片に覆われ中央は黒褐色, 周辺は次第に淡色。ひだは上生, 初め白く後淡紅色。柄は長さ 6cm 以下, 径 1cm。20050913028, 堂平, 三村京子。

ニセウラベニガサ (青木 T, 日本きのこ図版 No.996) *Pluteus* sp.

ウラベニガサに酷似するがクランプを持つ。20050913029, 堂平, 巖 昭子。

ウラベニガサモドキ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1260) *Pluteus* sp.

ウラベニガサに似るが針葉樹材に生え, クランプがある。ニセウラベニガサとして整理した 20050913029 の標本と同種かもしれない。ウラベニガサ節に属し、Singer の *Subcervinus* 系に所属する。20051025008, 大又沢, 井上幸子。

カサヒダタケ *Pluteus thomsonii* (Berk. & Broome) Dennis

普通種。20040922092。

フチドリベニヒダタケ *Pluteus umbrosus* (Pers.) P.Kumm.

傘表皮は糸状菌糸, シスチジアは薄壁, 縁シスチジアは有色。神奈川の平地には分布がない。ブナ帯のキノコのような。ややまれ。20041014020, 堂平。

オオフクロタケ *Volvariella speciosa* (Fr.) Singer var. *gloiocephala* (DC.) Singer

ややまれ。20040922002。

ハラタケ科 Agaricaceae

ナカグロモリノカサ *Agaricus praeclaresquamosus* A.E.Freeman

普通種。20040901153。

コムラサキモリノカサ *Agaricus purpurellus* (F.E.Møller) F.E.Møller

ややまれ。20040901057。

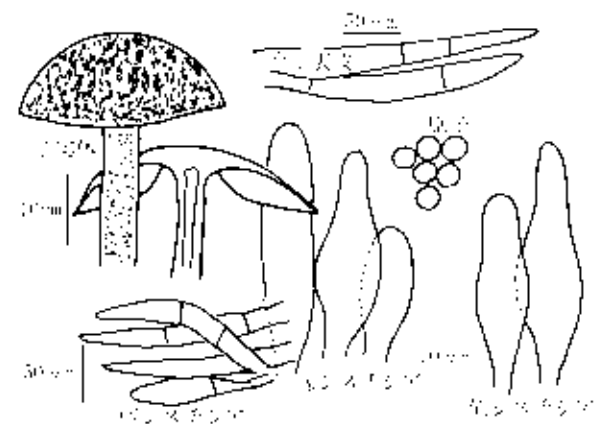


図 43. マダラウロコベニヒダタケ (KT) *Pluteus* sp. (20050628060 堂平 三村京子)

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

KOH30%で黄変。20050702002。

ザラエノハラタケモドキ (KT) *Agaricus* sp.

ザラエノハラタケに酷似するが KOH 水溶液で傘鱗片の緑色反応はない, なお, 類似種のコゲチャモリノカサ (KT) にも似るが KOH 黄色反応もない。顕微鏡的特徴はザラエノハラタケに近い。縁シスチジアがあるのでハラタケモドキではない。20040816092, 表丹沢鳥尾。

シロモリハラタケ (KT) *Agaricus* sp.

傘, 柄は白色, KOH 無反応。20040901056, 長尾尾根。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

KOH 無反応。ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20050906028, 菰釣山, 巖 昭子。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

KOH 無反応。ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20050906029, 菰釣山, 井上幸子。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

KOH 反応は初め黄色反応と判断したが確認作業では明確な反応を認めず判然としない。ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高い。20050906030, 菰釣山, 井上幸子。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

KOH 無反応。ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20050906031, 菰釣山, 市川敦子。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

KOH 無反応。ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20050927010, 県民の森, 井上幸子。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

KOH 無反応。ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20051004018, 大又沢, 黒谷秀夫。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20051004019, 大又沢, 井上幸子。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20051004020, 大又沢, 市川敦子。

ハラタケ属の一種 *Agaricus* sp.

ザラエノハラタケモドキ (KT) と同種の可能性が高いが判然としない。20051004021, 大又沢, 宮川一孝。

ザラエノハラタケ *Agaricus subrutilescens* (Kauffm.) Hotton & D.E.Stuntz

普通種。20040604702。

オニタケ *Lepiota acutesquamosa* (Weinm.) P.Kumm. s.lat.

普通種。20040901134。

ワタカラカサタケ *Lepiota clypeolaria* (Bull.) Quél.

普通種。20040908078。

コゲチャワタカラカサタケ *Lepiota clypeolaria* f. *umbrinisquamosa* Hongo (Syn. *L. ventriosopora* D.A.Reid)

ワタカラカサに比べ傘の鱗片がこげ茶色, 胞子は明らかな船型でやや大きい。やや普通。20051004241。

キツネノカラカサ *Lepiota cristata* (Bolton) P.Kumm.

20051025009。

シロヒメカラカサタケ *Lepiota cygnea* J.E.Lange

20040908056。

コナカラカサタケ *Lepiota hetieri* Boud.

コナカラカサ節に属し, 外国文献では属のレベルで分け, *Cystolepiota* として扱うものが多い。傘粉は球形, 胞子は非アミロイド, 縁シスチジアは頂部が細長く伸びるものが多い。比較的まれ。20050802055, イデン沢, 西村幹雄。

ヒメコナカラカサタケ *Lepiota sistrata* (Fr.) Quél.

外国文献では属のレベルで分け, *Cystolepiota* として扱うものが多い。傘粉は球形, 胞子は非アミロイド, 縁シスチジア, 側シスチジア何れもない。20050906032, 菰釣山, 井上幸子。

ナカコゲチャキツネノカラカサ (KT) *Lepiota* sp.

傘は径 3cm, 中央部はこげ茶色で周辺は淡褐色の鱗片が次第に疎らに散在する。ひだは離生, 密。つば縁部は褐色に縁どられる。柄は中空, 上部は白く, 下部は褐色を帯びる。胞子は楕円形, 偽アミロイド, 7-8 × 3.5-4 μm。縁シスチジアは頂部がやや太まっ

た円筒状。20040705082.

キツネノカラカサ属の一種 *Lepiota* sp.

20040705119.

ウスゾメキツネノカラカサ (KT) *Lepiota* sp.

針葉樹腐木材上に発生。傘は径 15mm, 中央部に濃く, 周辺に次第に薄く紫褐色細鱗片が散在する。胞子は楕円形, $5-6 \times 3.5 \mu\text{m}$, 弱い偽アミロイド。縁シスチジアはやや頂部のふくれた円筒形またはこん棒状, $20-25 \times 10 \mu\text{m}$ 。20040705147, タライコヤ沢, 山口義夫。

キツネノカラカサ属の一種 *Lepiota* sp.

ナカコゲチャキツネノカラカサ (KT) に似るが傘上面の鱗片の色が薄いこと, 胞子が $6-7 \times 4 \mu\text{m}$ でやや小さく, 多少異なるように見える。同種の可能性も否定できない。20050802053, イデン沢, 巖 昭子。

シロエリカラカサタケ (KT) *Lepiota* sp.

地上に生える黄褐色の中型菌である。傘はほぼ径 6cm, 黄土褐色(ウコン色)で, 綿毛状鱗片が傘全面を覆う。縁部には被膜の名残りが多量に着く。肉は白色。ひだは隔生して白色, 密で, 幅はほぼ 9mm。柄は高さ 7-8cm, 頂部から中部まで被膜に覆われて白色, 中部では明瞭なつばを形成せず, 多量の被膜の名残りが付着する。中部より下は傘面と同色, 同質の綿毛状鱗片に覆われる。胞子は狭楕円形, $6-7 \times 3 \mu\text{m}$, 偽アミロイド。縁シスチジアは円柱状〜こん棒状, $20-25 \times 4-5 \mu\text{m}$ 。傘鱗片菌糸は糸状でほぼ $300 \times 10 \mu\text{m}$, 柄の鱗片菌糸は $200-220 \times 10-15 \mu\text{m}$ 。多量の被膜の名残りに覆われた柄の上半分の白さが目立つので, それを白襟にみなした仮称とした。20050913032, 丹沢山〜三峰尾根, 黒谷秀夫, 図 44 参照。

クチキチャカラカサタケ (KT) *Lepiota* sp.

材上生。幼菌で子実体の正常に発育した状態の確認ができないが材上に生えていたこと, ワタカラカサタケ類に似た顕微鏡的構造を持つことなど特異な菌と思われる。20050913033, 丹沢山, 清水芳治。

フタゾメキツネノカラカサ (KT) *Lepiota* sp.

傘の褐色鱗片が少なく, 胞子は強い偽アミロイド反応を示すものとごく弱い反応を示すものが混在する。ナカコゲチャキツネノカラカサ (KT) の一型かもしれない。20051004022, 大又沢, 巖 昭子。

キツネノカラカサ属の一種 *Lepiota* sp.

子実体の外形はナカコゲチャキツネノカラカサ (KT) に酷似するが胞子のメルツァー液反応はフタゾメキツネノカラカサ (KT) と同様に混在する。20051004023, 大又沢, 三村京子。

シロカラカサタケ *Leucoagaricus naucinus* (Fr.) Singer

傘はクリーム色地に褐色繊維状鱗片を被り, 中は密繊維状綿毛, 柄はクリーム白, 下淡褐色, 繊維状, 早落性の膜ツバを着ける。胞子は無色, 平滑, 楕円〜広楕円形, 厚壁, 弱偽アミロイドで $6.8-7.7 \times 3.4-5.1 \mu\text{m}$ 。20050802092, イデン沢。

カラカサタケ *Macrolepiota procera* (Scop.) Singer

普通種。20040901130。

アカヒダカラカサタケ *Melanophyllum echinatum* (Roth.) Singer

文献によるとまれなキノコではないようであるが, 出会って確認でき

る場合はごく少ない。20050802054, イデン沢, 巖 昭子。

ヒトヨタケ科 *Coprinaceae*

アイゾメヒカゲタケ *Copelandia cyanescens* (Berk. & Broome) Singer
シカ糞そばに発生。20040816093。

アシボンヒトヨタケ *Coprinus acuminatus* (Romagn.) P.D.Orton

傘先端が尖り, 柄が細い。ややまれ。20040922034, 長尾尾根, 三村京子。

ヒトヨタケ *Coprinus atramentarius* (Bull.) Fr.

普通種。20050607035。

イヌセンボンタケ *Coprinus disseminatus* (Pers.) Gray

普通種。20040705073。

キララタケ *Coprinus micaceus* (Bull.) Fr.

普通種。20040901110。

コキララタケ *Coprinus radians* (Desm.) Fr.

普通種。20040705103。

ミヤマヒメヒガサヒトヨタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.2157)
Coprinus sp.

腐植土に生え細長の柄を持つ中型菌である。傘は鍾形で径ほぼ 2cm, 淡褐色で中心はやや濃く, 周辺は次第に淡くなり, 密に放射状溝線がある。被膜や付属物は全く存在しない。ひだは上生して密。柄は長さほぼ 8cm, 径ほぼ 1.5mm, 基部に白色粗毛が目立つ。胞子はハート形, $10-11 \times 6-9 \mu\text{m}$ 。傘表皮細胞は囊状〜こん棒状, $20-25 \times 15-20 \mu\text{m}$ 。顕微鏡的特徴はヒメヒガサヒトヨタケに類似するが子実体の形状が異なる。日本きのこ図版 No. 2157 に青木 実氏が標記の名で記載しているものに一致すると考えられる。20050802056, 西丹沢イデン沢, 三村京子・井上幸子, 図 45 参照。

ヒトヨタケ属の一種 *Coprinus* sp.

検討不十分。20040604409。

カバイロカザリヒトヨタケ (KT) *Coprinus* sp.

大きなものは高さ 10cm に達するやや大型〜中型のヒトヨタケ。傘はほとんど平開せず, 長い鐘型で長さ 4-5cm, 幅 2-3cm, 明黄褐色の鱗片がほぼ全面に均等に散在して飾りをつけたようである。胞子は楕円形, 褐色, $10-11 \times 5-6 \mu\text{m}$ 。4 胞子をつける。縁シスチジアは円柱状, 薄壁, $80-100 \times 15-20 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは $150 \times 25 \mu\text{m}$ 。菌糸にはクランプがある。液化は比較的遅い。丹沢の奥山で, まれに出会う目立つキノコであるが良好な保存状態で持ち帰り検討する機会がなく検討不十分な未知種である。20041014027, 堂平。

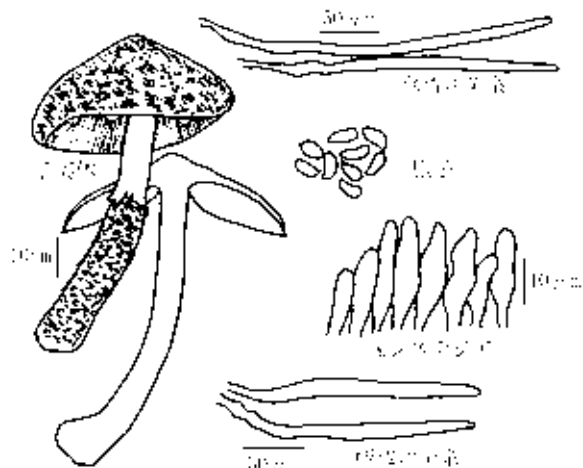


図 44. シロエリカラカサタケ (KT) *Lepiota* sp. (20050913032 丹沢山〜三峰尾根 黒谷秀夫)

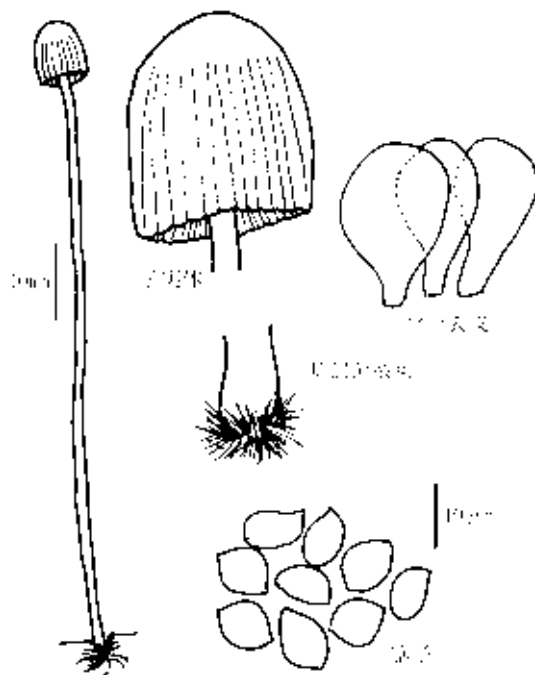


図 45. ミヤマヒメヒガサヒトヨタケ (青木 T 日本きのこ図版 No.2157) *Coprinus* sp. (20050802056 西丹沢イデン沢 三村京子・井上幸子)

コキラダマシ（青木 T, 日本きのこ図版 No.1143）*Coprinus* sp.
一見、コキラタケに似るがやや大型である。標本を良好な状態で持ち帰ることができず、シスチジアの観察が不可能で、検討不十分である。胞子は $6-7 \times 4 \mu\text{m}$ 。一応、青木氏の標記の仮称を当てて整理する。20050607058, イデン沢, 城川四郎。

ヒトヨタケ属の一種 *Coprinus* sp.

カバイロカザリヒトヨタケ（KT）と同種の可能性が高い。傘表皮はゼラチン化して接着した菌糸で観察が困難。平地では観察したことがない種類なのでブナ帯のキノコであると思われる。20050913034, 堂平。

ヒトヨタケ属の一種 *Coprinus* sp.

傘は茶褐色, 丸山型, 径 15mm。柄は長さ 60mm。胞子は楕円形, ほぼ $10 \times 6 \mu\text{m}$, 大きな発芽孔がある。縁シスチジアは便腹型, $70 \times 13 \mu\text{m}$ 。20051025010, 大又沢, 清水芳治。

ヒトヨタケ属の一種 *Coprinus* sp.

傘は鐘形, 長さ 30mm, 幅 15mm, 黄褐色, 被覆物がある。胞子は楕円形, $8-9 \times 4.5 \mu\text{m}$ 。シスチジアは縁側ともに囊状または太い円柱状, 縁シスチジアは $50-70 \times 25-30 \mu\text{m}$, 側シスチジアは $110 \times 55 \mu\text{m}$ に達する。被覆物の菌糸は円柱状細胞の連なりよりなる。20051025011, 大又沢, 三村京子。

イタチタケ *Psathyrella candolleana* (Fr.) Maire

20040604009。

ハゴロモイタチタケ *Psathyrella delineata* (Peck) A.H.Sm.

子実体はナヨタケ属らしからぬがっしりした中型菌で、この標本は特に柄の太さが目立った。傘は丸山型, 径 40mm, 明褐色, 密に細い縦しわがある。柄は径 10mm, 白色, 中空。ひだは上生, やや密。胞子は楕円形, $9 \times 5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは密生し, 紡錘形, $50-75 \times 10-15 \mu\text{m}$, 先は細まり尖る。側シスチジアもほぼ同形同大で多生する。2005 年に新産種として発表された。20050628078, 堂平, 黒谷秀夫。

ナヨタケ *Psathyrella gracilis* (Fr.) Quél.

普通種。20051108067。

センボンクズタケ *Psathyrella multissima* (S.Imai) Hongo

普通種。20041014002, シカ食害証拠品。

コナヨタケ *Psathyrella obtusata* (Pers.) A.H.Sm.

林内地上または埋れ木上に発生のやや希種。20051108107, 堂平, 巖 昭子。

ヒカゲイタチタケ *Psathyrella olympiana* A.H.Sm.

ややまれ。20040604211。

ムササビタケ *Psathyrella piluliformis* (Bull.) P.D.Orton

普通種。20040922059。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

イタチタケの近縁種, 傘表皮構造は未確認。20040728010, 長尾尾根, 山口義夫。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

コイタチタケの近縁種, 傘表皮構造は未確認。20040922058, 長尾尾根, 巖 昭子。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

形態及び縁シスチジアはイタチタケに似るが, 胞子がやや大形 ($10.5-11 \times 5.5-6 \mu\text{m}$) で, また側シスチジアを持つことが相違点。更に要検討。20041014078, 堂平, 山口義夫。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

囊状縁シスチジアとイタチタケ縁シスチジア様の太首瓶形側シスチジアを持ち, 胞子が小形 ($6-7.8 \times 3.8-4 \mu\text{m}$)。更に要検討。20041014079, 堂平, 市川敦子。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

縁シスチジア, 側シスチジアともに長首瓶形で時に先が嘴状に伸びる, 胞子は小形 ($6-7 \times 4 \mu\text{m}$)。更に要検討。20041014080, 堂平, 井上幸子。

コムササビタケ（青木 T, 日本きのこ図版 No.811）*Psathyrella* sp.

傘は褐色, 湿時濃く細い透明条線があり, 乾くと淡色で小皺を生じる。20041014082, 堂平, 山口義夫。

コイタチタケ（青木 T, 日本きのこ図版 No.914）*Psathyrella* sp.

イタチタケに類似して縁シスチジアの頂部の細まるものをいうがイタチタケの変異の中にはいるようにも思われる。20040616035。

ウスイロコイタチタケ (KT) *Psathyrella* sp.

傘が淡色で, 白っぽく見えるもので, 縁シスチジアの頂部の細

いものをいう。イタチタケの変異の中に含まれるかもしれない。20040705044。

ツバイタチタケ (KT) *Psathyrella* sp.

傘は褐色, 低い丸山型, 径 30mm, 平坦。ひだはやや密, 直生。柄は長さ 40mm, 中部に膜質, 永存性のつばがある。胞子は楕円形, $7-9 \times 3-3.5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは囊状〜こん棒状, $25 \times 10 \mu\text{m}$, 密生。側シスチジアは細く伸びる脚部のある円筒状で円頭, $45 \times 23 \mu\text{m}$ 。菌糸にクランプはある。ナヨタケ属でつばのあるものにはミヤマイタチタケがあり, 初めそれを想定したが, 顕微鏡的特徴が一致しないようである。20050524003, 大山, 井上幸子。

コツバカクミノイタチタケ (KT) *Psathyrella* sp.

傘は丸山型, 暗褐色, 径 15mm, 柄は長さ 40mm。胞子はやや丸みのある四角形, $5-6 \times 4.5-5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは囊状, 紡錘形, 円筒状などで $40-50 \times 15 \mu\text{m}$, 側シスチジアは囊状 - 紡錘形, $30 \times 15 \mu\text{m}$ 。20050607062, イデン沢, 宮川一孝。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

検討中。20050607065。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

検討中。20050628073。

アシケイタチタケ (KT) *Psathyrella* sp.

傘は茶褐色, 径 40mm。柄は白色, 全面に毛を着ける。胞子は楕円形, $7-9 \times 4 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアはこん棒状 - 囊状, $30-40 \times 10-15 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは紡錘形 - 便腹型, $40-60 \times 15 \mu\text{m}$ 。柄には長さ $300 \mu\text{m}$ に達する糸状菌糸が多少屈曲して密に着く菌糸にはクランプがある。20050628077, 堂平, 黒谷秀夫。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

検討中。20050913036。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

傘は黄土褐色, 山型, 径 0mm, 高さ 15mm, 成熟したものでは放射状の細しわがある。柄は白色, $40\text{mm} \times 3\text{mm}$, 中実。胞子は細い楕円形, $7-8 \times 3-4 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは紡錘形, 頂部円頭, $30 \times 10 \mu\text{m}$, 密生。側シスチジアは便腹型, $30 \times 10 \mu\text{m}$, 散在。20051025012, 大又沢, 巖 昭子。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

傘は暗黄土褐色, 径 30mm, 平滑。ひだは上生, やや密。柄は $30\text{mm} \times 4\text{mm}$, 頂部粉状, 中空。胞子は太い紡錘形, $9-10 \times 5 \sim 6 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは多形でこん棒状, 便腹型, 紡錘形などあるが便腹型が多く, $30-40 \times 10 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは細い脚部のある便腹型で $70 \times 20 \mu\text{m}$ (脚部の長さ $20 \mu\text{m}$)。20051025013, 大又沢, 増子忠治。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

傘は茶褐色, 径 10mm, 丸山型。柄は細長く, $30\text{mm} \times 1\text{mm}$ 。胞子は長楕円形, $13-14 \times 6 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは便腹型, こん棒状, 囊状など多形, 密生, $20-40 \times 10 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは細い変形便腹型, $80 \times 15 \mu\text{m}$, 散在。20051025014, 大又沢, 井上幸子。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

傘は低い丸山型, 平滑, 淡茶褐色, 径 40mm。ひだは直生, やや密。柄は $40\text{mm} \times 4\text{mm}$, ささくれ鱗片が目立つ。胞子は楕円形, $6-7 \times 4 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは脚部の有る便腹型, $50 \times 15 \mu\text{m}$, 密生。側シスチジアもほぼ同形, 同大, 散在。20051025016, 大又沢, 井上幸子。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

検討中。20051108068, 液浸標本有り。

ナヨタケ属の一種 *Psathyrella* sp.

叢生する小型菌。傘は平開せず, 短い鐘形, 黄茶褐色 高さ 15mm, 幅 15mm, 縁に被膜名残を着ける。柄は $60-70 \times 2-3\text{mm}$, 胞子は $15 \times 6 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは便腹型〜フラスコ型, $30 \times 10 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは便腹型, $60 \times 13 \mu\text{m}$ 。柄シスチジアは基部が膨らみ先は糸状に伸び, $40 \times 60 \times 10 \mu\text{m}$ 。20051108069, 堂平, 市川敦子, 液浸標本有り。

アシナガイタチタケ *Psathyrella spadiceogrisea* (Schaeff.) Maire

普通種。20050524007。

オキナタケ科 Bolbitiaceae

ツチナメコ *Agrocybe erebia* (Fr.) Kühner ex Singer

普通種。20051004246。

ニシタンアグロキベ (KT) *Agrocybe firma* (Peck.) Singer

傘表皮はこん棒状細胞よりなり子実層状。胞子は楕円形、ほぼ $6 \times 4 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは首部の細いフラスコ型などで $30 \times 7 \mu\text{m}$ 、側シスチジアは便腹型。一応、標記の学名を当てたが要再検討。20040908016, 西丹沢忍橋付近, 清水芳治。

キフミツキタケ (KT) *Agrocybe* sp.

材上に生える淡黄褐色の中型菌である。傘は径 5cm, 中央部付近は淡褐色, 周辺は淡黄土色で, 平坦, 辺縁には被膜の名残りを付着する。ひだは初め淡色で次第に褐色を帯びる。小ひだがあり, 密, 直生する。柄は長さほぼ 5.5cm, 径ほぼ 8mm, やや淡褐色を帯び, 縦の繊維条が明らかで中空, 上部に残存性のつばがある。胞子は長楕円形, $9-11 \times 3.5-5 \mu\text{m}$, 発芽孔は明瞭。縁シスチジアは薄壁, こん棒状, $20-25 \times 8-10 \mu\text{m}$, 密生。まれに側シスチジア型が混じる。側シスチジアは紡錘形, まれに頂部が2分岐, $30-60 \times 15-20 \mu\text{m}$ 。柄シスチジアはこん棒状, 紡錘形など変化がある。つば及び被膜の辺縁にもこん棒状〜頭球状のシスチジアが多生する特徴がある。傘シスチジアは不規則円筒状で $15-40 \times 5 \mu\text{m}$ 。菌糸にはクランプがある。本種はフミズキタケ亜属に所属するものと考えたが傘シスチジアやつばにもシスチジアが存在するなどの特異な形質を持つ未知種である。子実体の色が黄色系で, 材(木)上生であることから標記の仮称とした。20050628087, 堂平, 増子忠治, 図 46 参照。

ヨツミツチナメコ (KT) *Agrocybe* sp.

ツチナメコ種群の一型で4胞子型。20050927012, 県民の森, 井上幸子。

コツブツチナメコ (KT) *Agrocybe* sp.

ツチナメコに似て胞子は $8-9 \times 3.5-4 \mu\text{m}$ で小さい。要再検討。20051025018, 大又沢, 増子忠治。

ネナゴコガサタケ *Conocybe antipus* (Lasch) Fayod

普通種。20050628083, 堂平, 市川敦子。

ツチイチメガサ *Conocybe arrhenii* (Fr.) Kits van Wav.

ややまれ。20050524005, 大山, 宮川一孝。

キンコガサタケ *Conocybe aurea* (Schaeff.) Hongo

ややまれ。20050524004, 大山, 宮川一孝。

キコガサタケ *Conocybe lactea* (J.E.Lange) Métrod

普通種。20040901136。

ブナコガサタケ (KT) *Conocybe pilosella* (Pers.) Kühner

材上に生える中型褐色菌である。傘は茶褐色で, 径ほぼ 3cm, 平滑, 湿っているときは長い放射状の条線が現れる。ひだは傘面より淡色で上生し, 小ひだがあり, 密。柄は傘面と同色またはやや淡色で高さほぼ 3.5cm, 径 2.5mm, 中空, 新鮮な子実体では表面に粉状毛が観察される。基部はやや膨れる。胞子は楕円形, $6-7 \times 3.5-4.5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは下部が膨らみ, 頂部は待ち針状(頭球)で, 基部の幅は $8-9 \mu\text{m}$, 頭球の幅は $3.5-5 \mu\text{m}$ 。傘表皮は子実層状で細胞はほぼ $25 \times 13 \mu\text{m}$ 。柄シスチジアは不定形で待ち針型は見当たらなかった。ブナ倒木材上に発生。20050628079, 堂平, 清水芳治, 図 47 参照。

ヌメリツバコガサタケ (KT) *Conocybe* sp.

材上生褐色の小菌である。傘は径 1-2cm, 栗褐色 - 褐色で粘

性がある。ひだは褐色で上生し, やや密。柄は褐色で長さほぼ 4cm, 上部に永存性膜質のつばがある。傘の表皮は子実層状で細胞は径ほぼ $10 \mu\text{m}$ の頭大こん棒状。胞子は楕円形, $6.5-7.5 \times 3.5-4.5 \mu\text{m}$, 平滑, 発芽孔は不明瞭, 4胞子型。縁シスチジアは下部がふくらみ頂部が待ち針状, $25 \times 8-10 \mu\text{m}$, 頭球の径はほぼ $4 \mu\text{m}$ 。永存性のつばがあることからツチイチメガサ亜属 *Pholiotina* に所属するが, *Pholiotina* に待ち針状シスチジアを持つものは知られていないようで, 興味深い。神奈川県平地での採集例はなく, 2000年に堂平で採集され神奈川県キノコの会会報「くさびら」に紹介した経緯がある。今回の調査では他の調査域でも少数採集されたのでブナ帯のキノコと考えられるが, 稀な種類である。20040901058, 長尾尾根, 巖 昭子, 図 48 参照。

ハンツブコガサタケ (KT) *Conocybe* sp.

胞子はコガサタケに比べほぼ半分の大きさで $5 \times 2.5 \mu\text{m}$ 。20040604701, 鍋割丘陵小丸, 西村幹雄。

コツブコガサタケ (KT) *Conocybe* sp.

コガサタケに似て胞子が小さい。胞子 $7-8 \times 3.5-4 \mu\text{m}$ 。20040604703。

コガサタケ属の一種 *Conocybe* sp.

傘は径 20mm, 柄は $30-50\text{mm} \times 2.5\text{mm}$ 。柄の基部は根状ではない。胞子は楕円形, $10-11 \times 5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアは待ち針型, $25 \times 8 \mu\text{m}$, 頭球の径 $4 \mu\text{m}$ 。柄には不定形のシスチジアがあるが待ち針形はない。したがってハタケコガサタケ節に属する。

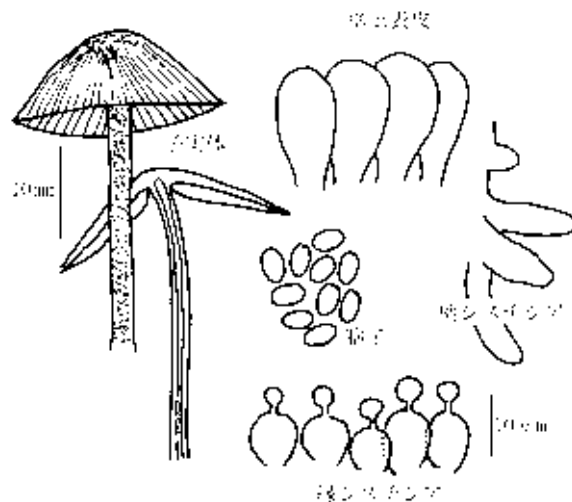


図 47. ブナコガサタケ (KT) *Conocybe pilosella* (Pers.) Kuhn (20050628079 堂平 清水芳治)

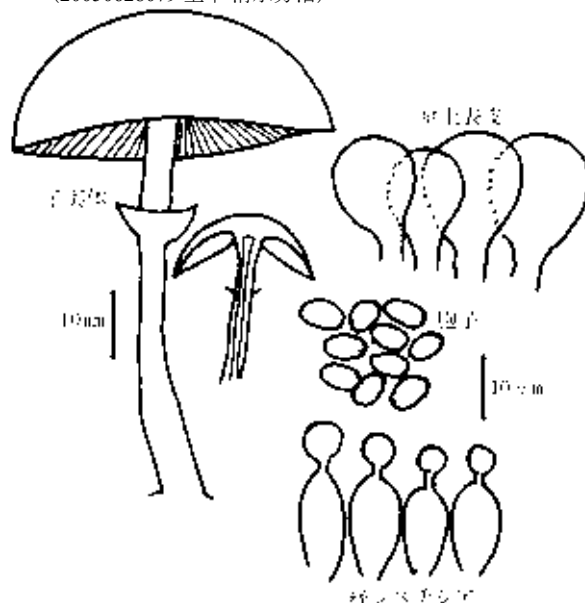


図 48. ヌメリツバコガサタケ (KT) *Conocybe* sp. (20040901058 長尾尾根 巖 昭子)

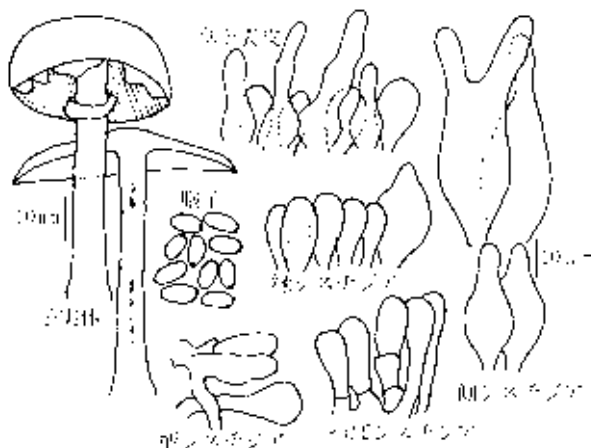


図 46. キフミツキタケ (KT) *Agrocybe* sp. (20050628087 堂平 増子忠治)

20050524013, 大山, 井上幸子.

ホソナガエコガサタケ (KT) *Conocybe* sp.

腐植地上に生える褐色の小菌である。傘は山形、褐色、径15mm、目立たないが放射状繊維紋がある。ひだは直生する。柄は細長くて10cm、径1mm、基部は根状に伸びる。胞子は褐色、広楕円形、 $6-8 \times 5-6 \mu\text{m}$ 。傘表皮は子実層状で細胞は径 $12-15 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアはこけし人形型で $20-25 \times 6-10 \mu\text{m}$ 、頭球は径 $4-5 \mu\text{m}$ 。柄シスチジアはない。20051004027, 大又沢, 宮川一孝, 図49参照。

コガサタケ *Conocybe tenera* (Schaeff.) Fayod

普通種。20040816094.

モエギタケ科 Strophariaceae

ヒメアジロタケモドキ *Kuehneromyces lignicola* (Peck) Redhead

材上生の褐色小菌は外形の似ているものが多いので本種を見逃すことが多い。比較的まれ。20050524010, 大山, 宮川一孝。

センボンイチメガサ *Kuehneromyces mutabilis* (Schaeff.) Singer & A.H.Sm.

普通種。20040604801.

センボンイチメガサ属の一種 *Kuehneromyces* sp.

センボンイチメガサまたはその近縁種。味は苦辛い。20040901060.

センボンイチメガサ属の一種 *Kuehneromyces* sp.

材上生。傘は茶褐色、平開、平滑、径20mm。ひだは疎で弱い垂生、縁部は微鋸歯状。柄は直立し、 $20\text{mm} \times 3\text{mm}$ 、全面に薄く菌糸が膜状に着き、霜降り状、基部は白色菌糸叢をつくる。胞子は楕円形、 $6 \times 4 \mu\text{m}$ 、平滑。縁シスチジアはこん棒状、 $25-30 \times 15 \mu\text{m}$ 、密生。側シスチジアは便腹型、散在、 $50-60 \times 13 \mu\text{m}$ 。クリソは未確認。傘表皮は糸状菌糸、柄には菌糸がまといつく。20050802090. No20050802091 と同種。

ケコガサダマシ (KT) *Kuehneromyces* sp.

材上生の褐色小菌で叢生する。傘は湿時、暗茶褐色、放射状の太い条線明瞭、乾時、淡黄褐色、条線は消える、平開して低い山形、径8mm。ひだはやや疎、上生～離生する。柄は褐色、脱落性のつばがあり（多くの場合は痕跡）、部分的に白色菌糸膜が着き、基部は白く菌糸束に包まれる。胞子は楕円形、 $5-6 \times 3 \mu\text{m}$ 、平滑、発芽孔明瞭。縁シスチジアは円頭で細い便腹型やフラスコ型など、 $25-30 \times 5 \mu\text{m}$ 。側シスチジアは確認できない。傘表皮は糸状菌糸、上表皮はゼラチン化。柄の表皮もゼラチン化。顕微鏡でゼラチン

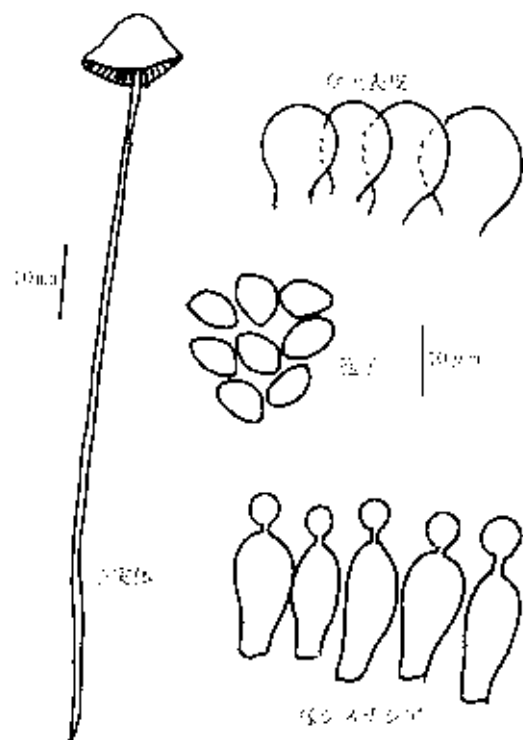


図 49. ホソナガエコガサタケ (KT) *Conocybe* sp. (20051004027 大又沢 宮川一孝)

化が確認されるが、粘性があるとは認識されない。菌糸にクランプがある。担子器は1-4胞子を着ける。はじめ *Galerina* と思ったが違ったのでとりあえず標記の仮称とした。同種の標本を黒谷秀夫氏も同日、同地域で採集した。20050628095, 堂平, 三村浩康。

ニガクリタケ *Nematoloma fasciculare* (Fr.) P. Karst.

普通種。20040719003.

クリタケ属の一種 *Nematoloma* sp.

検討中。20041014030.

ヒメクリタケ (KT) *Nematoloma* sp.

広葉樹倒木上に叢生する。傘は栗褐色、丸山型、径15mm、傘上面周辺広く被膜が白く着く。縁は内曲、被膜の名残を着ける。肉は褐色を帯びる。柄は $20\text{mm} \times 5\text{mm}$ 、褐色。内被膜が少量で柄にも初めつば状に残る。胞子は短楕円形、 $5-6 \times 4 \mu\text{m}$ 、発芽孔は明瞭。縁シスチジアは変化が多いが紡錘形で頂部が短く突出するものが目立つ。側シスチジアは確認できない。傘上表皮は糸状菌糸、下表皮は楕円体の細胞からなる。表皮の構造からクリタケ属としたが再検討を要する。20050607067, イデン沢, 城川四郎。

クリタケ *Nematoloma sublateralitium* (Schaeff.) P. Karst.

普通種。20051102029.

ヒメスギタケ *Phaeomarasmium erinaceus* (Peck) Singer

普通種。20050628092.

ミヤマヒメスギタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1006)

Phaeomarasmium sp.

材上に生える褐色の小菌である。傘は径ほぼ3.5cmで丸山型、濃茶褐色～濃黄褐色の束毛状鱗片に覆われる。ひだは傘と同色、幅ほぼ7mm、小ひだがあり縁部は微鋸歯状、やや密。柄は傘と同色で細鱗片に覆われる。長さほぼ3cm、径5mm、中空。胞子は楕円形、 $7-9 \times 4-5 \mu\text{m}$ 。縁シスチジアはこん棒状、 $17-25 \times 7-10 \mu\text{m}$ 。側シスチジアはない。傘鱗片菌糸の先端の方は短節で、長楕円形～円柱状細胞が連なり、径 $7-15 \mu\text{m}$ 、細胞壁にはやや厚く色素が付着している。柄の鱗片菌糸も類似する。20050628091, 堂平, 巖 昭子, 図50参照。

アカツムタケ *Pholiota astragalina* (Fr.) Singer

普通種。20050702011.

ヌメリスギタケモドキ *Pholiota aurivella* (Batsch) Fr.

普通種。20041014005.

チャナメツムタケ *Pholiota lubrica* (Pers.) Singer

普通種。20041014029.

カオリツムタケ *Pholiota malicola* (Kauffman) A.H.Sm. var. *macropoda* A.H.Sm. & Hesler

普通種。20051108071.

ナメコ *Pholiota nameko* (T.Itô) S.Ito & S.Imai

普通種であるが丹沢の分布は少ない。今回の調査では貧弱な子実体が得られたただけであった、20041105012, イデン沢 (宮川一孝)。

ビンノオワヌツムタケ (MT) *Pholiota* sp.

一見カオリツムタケ似ながら、無臭。傘は茶褐色、絨状、hygrophanous、表皮は表面ゼラチン化が見られる平行菌糸、渋味あるが無臭。柄は傘色、下黒褐色で繊維状条、クランプ有り。ヒダは淡黄褐色～肉桂色、湾直生、やや密、首長瓶～紡錘形の縁シスチジアがある（瓶形が仮称の由来）。胞子は暗黄褐

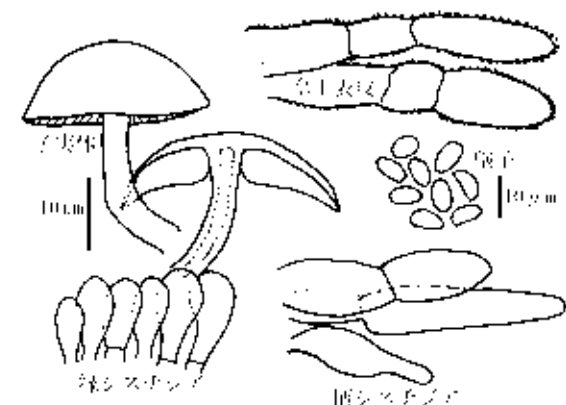


図 50. ミヤマヒメスギタケ (青木 T 日本きのこ図版 No.1006) *Phaeomarasmium* sp. (20050628091 堂平 巖 昭子)

色、粗面～平滑のアーモンド～楕円形で $9.4-10.2 \times 5.1-6.0 \mu m$ 。
20041014068, 堂平, 井上幸子。

キツチスギタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.212) *Pholiota* sp.
地上に生える淡黄土色の中型菌である。傘は径 5cm, 淡黄土色, 一見平滑に見えるが多少鱗片が散在する。ひだは密で, 上生し, 紫褐色。柄は高さはば 5cm, 円筒状で中実, 傘と同色で縦に繊維状鱗片が走る。肉は淡褐色を帯びる。胞子は褐色, 平滑, 楕円形, $5-6 \times 3.5-4 \mu m$ 。縁シスチジアはのう状～卵形～紡錘形など変化があり, $15-35 \times 12-15 \mu m$, 側シスチジアは紡錘形で $25-30 \times 12-15 \mu m$ 。クランプがある。同種と判断されるものを富士山でも観察したが, 神奈川県内の平地での観察例がないのでやや標高の高い地域に分布するものと考ええる。日本きのこ図版 No. 212 に青木 実氏が標記の名で記載しているものが同種と考えられる。
20040816095, 三の塔, 井上幸子, 図 51 参照。

スギタケ属の一種 *Pholiota* sp.

幼菌 1 個の子実体。傘は明褐色, 疎らに鱗片が散在, 径 30mm, 縁は内曲し柄と繊維状被膜でつながる。柄は黄褐色, ささくれ状鱗片が目立つ。胞子は楕円形, $6 \times 4 \mu m$ 。縁シスチジアは多形, こん棒状, 便腹型など, $15 \times 7 \mu m$, 密生。側シスチジアは細い紡錘形, $35 \times 5 \mu m$, クリンがある。苦味はない。20050510067, 堂平, 井上幸子。

キナメツムタケ *Pholiota spumosa* (Fr.) Singer

普通種。20051025022。

スギタケ *Pholiota squarrosa* (Weigel) P.Kumm.

普通種。20051025020。

ツチスギタケ *Pholiota terrestris* Overh.

普通種。20041014126。

モエギタケ *Stropharia aeruginosa* (Curtis) Quél.

普通種。20040816011。

サケツバタケ *Stropharia rugosoannulata* Farl. ex Murrill

普通種。20051025024。

フウセンタケ科 Cortinariaceae

マルミノフウセンタケ *Cortinarius anomalus* (Fr.) Fr.

普通種。20040901062。

フタイロフウセンタケ *Cortinarius haasii* (M.M.Moser) M.M.Moser

普通種。20040922039, 長尾尾根。

モリノフジイロタケ *Cortinarius nemorensis* (Fr.) J.E.Lange

普通種。20050927070。

ムラサキアブラシメジモドキ *Cortinarius salor* Fr.

普通種。20050913044, 堂平。

フウセンタケ属の一種 *Cortinarius* sp.

20040901113。

フウセンタケ属の一種 *Cortinarius* sp.

20040901119。

キシウゲンジ *Descolea flavoannulata* (Lj.N.Vassiljeva) E.Horak

普通種。20040901139。

ヒメアジロガサモドキ *Galerina helvoliceps* (Berk. & M.A.Curtis)

Singer

調査期間を通じ最も頻繁に見られた種類の 1 つである。

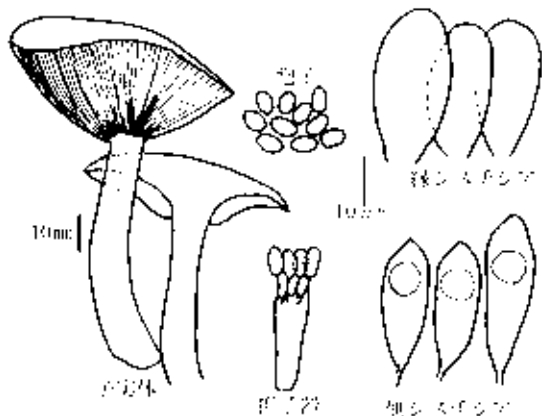


図 51. キツチスギタケ (青木 T 日本きのこ図版 No.212) *Pholiota* sp. (20040816095 三の塔 井上幸子)

20040604210。

ヒメコガサ *Galerina hypnorum* (Schränk) Kühner

まれ。20050524002, 大山, 清水芳治。

サビヒラタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.283) *Pyrrhoglossum* sp.

短い柄があり, 腐木に側着する。全体, 茶褐色, 傘幅 20mm。ひだは大ひだ 12-15 枚, 胞子は広楕円計～類球形, $5 \times 4 \mu m$, 粗面。縁シスチジアは細いこけし型, $25-30 \times 5 \mu m$, 頭球の径 $4 \mu m$ 。傘表皮には頭球菌糸があり, 頭球の径は $6-8 \mu m$ 。サビヒラタケ属に日本でも数種あるとされているが整理解明されていない。
20050802066, イデン沢, 市川敦子。

チャヒラケコガサタケ (KT) *Galerina* sp.

スギ倒木上に重なって叢生し, 柄が短く偏心生なので一見チャヒラタケ類のように見える。傘は貝殻形, 横径 5-10mm, 明黄褐色, 平滑。ひだはやや疎で大ひだ 13-15 枚, 直生する。柄は偏心生で傘の基部近くに着き, 短く 2-5mm, 普通やや曲がって基物に着き, 上から見ると無柄に見える。胞子は広楕円形 - 卵形, 粗面で胞子盤があり, $4-5 \times 3-3.5 \mu m$ 。縁シスチジアはこけし人形型で頭部は球状, $25-30 \times 6-7 \mu m$ 。20040705133, 大洞沢, 城川四郎, 図 52 参照。

ケコガサタケ属の一種 *Galerina* sp.

材上生, 茶褐色の小菌。傘は低い山形, 径 15mm。ひだはやや疎, 直生。柄は $25mm \times 2, 5mm$ 。胞子は楕円形, ほとんど平滑, $10-11 \times 6 \mu m$ 。縁シスチジアはほぼ円筒状で円頭, 密生, $40 \times 10 \mu m$ 。側シスチジアは太い紡錘形, $25 \times 15 \mu m$, 散在。柄シスチジアは変形円筒形。 *Galerina olympiana* A.H.Sm. に似るが判然としない。20050607071, イデン沢, 市川敦子。

カワラケコガサタケ (KT) *Galerina* sp.

川原の砂地に生えるコケの間に生える。傘は鐘形, 径 5-10mm, 橙褐色, 放射状の条線がある。ひだは上生, 大ひだは 25-30 枚。柄は長さ 3-4cm, 径 1mm, 傘と同色。胞子は褐色, 卵状紡錘形, $7-8 \times 4-5 \mu m$, 平滑 (に見える)。縁シスチジアは便腹形で頸部が長く, $35-45 \times 10 \mu m$ 。側シスチジアはない。柄シスチジアは縁シスチジアに似たものが多いが, とくに頭部が球状に膨らんだものも混じり, $40-70 \times 15-20 \mu m$, 20051004048。大又沢, 市川敦子, 図 53 参照。

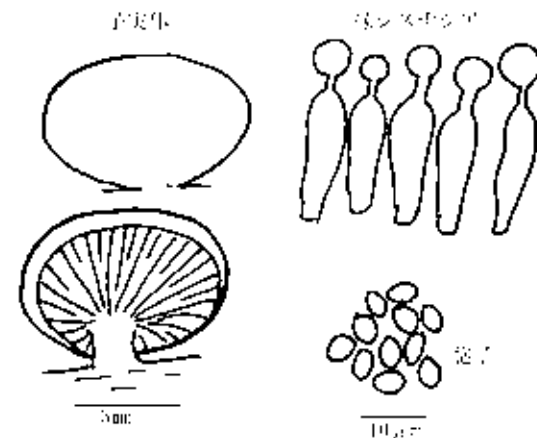


図 52. チャヒラケコガサタケ (KT) *Galerina* sp. (20040705133 大洞沢 城川四郎)

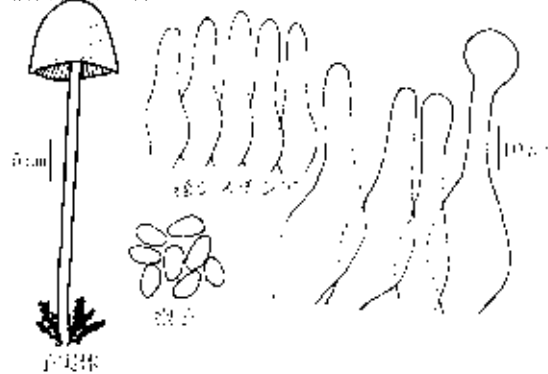


図 53. カワラケコガサタケ (KT) *Galerina* sp. (20051004048. 大又沢 市川敦子)

ケコガサタケ属の一種 *Galerina* sp.

傘は茶褐色、丸山形、平滑、径 20mm。ひだは上生、大ひだ 28 枚。柄は白色、40mm × 3mm。胞子は楕円形、12-14 × 7 μm、いぼに覆われる。縁シスチジアは頭球円柱状、40-50 × 8 μm、密生。20051025025、大又沢、宮川一孝。

ケコガサタケ属の一種 *Galerina* sp.

傘は茶褐色、丸山形、平滑、径 15mm。ひだは上生、やや密。柄は 40mm × 3mm、褐色を帯び、まだらに白い菌糸膜が着く。胞子は楕円形、いぼに覆われ、11-14 × 7-8 μm。縁シスチジアは細い円柱状？、60 × 6 μm？20051025026、大又沢、巖 昭子。

スナゴケタケ (KT) *Galerina* sp.

川原の砂地に多数散生するエゾスナゴケ *Racomitrium japonicum* に生え、特異な景観を呈する。傘は丸山形、径 8-10mm、淡褐色。放射状の浅い溝線があるが目立たない。ひだは疎で大ひだ約 12 枚、直生する。柄は長さ 3-4cm、径 1mm、傘と同色。胞子は褐色、卵状紡錘形、10 × 5-6 μm、平滑。縁シスチジアは細い便腹形で頸部が長く、頭部が細まるものや球状に膨らむものなど混じり、40-60 × 8-10 μm。側シスチジア、柄シスチジアはない。仮称は砂地で、スナゴケ属のコケの上に生えていたことによる。20051025029、大又沢、清水芳治、図 54 参照。

ミドリスギタケ *Gymnopilus aeruginosus* (Peck) Singer

普通種。20040816014。

ハグロチャツムタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1234) *Gymnopilus* sp.

側シスチジアには KOH 水溶液に溶解して黄色に溶け出す結晶質の内容物が含まれる。この物質は光を透過しないために顕微鏡下では黒く見える。神奈川県平地では多く分布する普通種であるが標高が高くなると分布が少なくなる。20041014039、堂平。

ニガハグロチャツムタケ (KT) *Gymnopilus* sp.

ハグロチャツムタケは苦味がない。このことは外形が類似して苦味のあるチャツムタケとの簡易な識別法になるとして対応してきたが、今回ハグロチャツムタケに苦味のある本品が採集された。顕微鏡的特徴は違いがないので同種と考えて良いと思われるが参考に挙げておきたい。20050628099、堂平、井上幸子。

シロアシツムタケ (KT) *Gymnopilus* sp.

所属も含め要検討。柄が被覆菌糸で白く見える。20051025033、大又沢、三村京子。

オオワライタケ *Gymnopilus spectabilis* (Fr.) Singer

普通種。幻覚性有毒とされているが有毒成分のシロシンペンを含む系統と含まない系統があり、日本の多くの地域のものは含まない系統であるという研究がある。20040604008。

ヒメワカフサタケ *Hebeloma sacchariolum* Quél.

普通種。20051004249。

カブラアセタケ *Inocybe asterospora* Quél.

普通種。20040705150。

クロトマヤタケモドキ *Inocybe cincinnata* (Fr.) Quél.

普通種。20040908055。

キヌハダトマヤタケ *Inocybe cookei* Bres.

普通種。20040728022。

オオキヌハダトマヤタケ *Inocybe fastigiata* (Schaeff.) Quél.

普通種。20040728008。

イノキベ・フラベルラ *Inocybe flavella* P. Karst.

傘は三角山型、径 15mm、黄褐色、放射状繊維が覆い、多少亀裂して地肌が見える。ひだは密、直生。柄は細長く、50-80 × 3mm、ほとんど白いかやや淡黄色を帯び、基部は膨れない。胞子は楕円形、平滑、10-12 × 6-7 μm。縁シスチジアは薄壁でこん棒状、紡錘形、40 × 10 μm。クランプがある。20050802064、イデン沢、清水芳治。

シロトマヤタケ *Inocybe geophylla* (Pers.) P.Kumm.

普通種。20040901107。

ササクレキヌハダトマヤタケ *Inocybe hirtella* Bres.

普通種。20041014083。

コバヤシアセタケ *Inocybe kobayashii* Hongo

普通種。20040922037。

コブアセタケ *Inocybe nodulospora* Kobayashi

普通種。20050702017。

キヌハダニセトマヤタケ *Inocybe paludinella* (Peck) Sacc.

胞子は低いこぶ状、シスチジアはメチュロイド、柄にもメチュロイドがある。20050927016、県民の森、清水芳治。

ニセアセタケ *Inocybe praetervisa* Quél.

普通種。20040728026。

ヒメニセトマヤタケ (富士 T, 日本きのこ図版 No.194) *Inocybe putilla* Bres.

暗褐色繊維状で、中央やや鱗状傘。縁シスチジア、側シスチジアともにメチュロイド、胞子は瘤状楕円形で Subgenus *Inocybe* に所属。20050913107、堂平・天王寺尾根。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジアは瓶形のメチュロイド、胞子は平滑の楕円形で、Subgenus *Inocibium* に所属する。20040728013、長尾尾根、清水芳治。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

鈍頭紡錘形の縁シスチジアを持ち、胞子は平滑楕円形で、Subgenus *Inosperma* に所属する。20040816056、三の塔、清水芳治。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア、側シスチジアとも同形のメチュロイドを持ち、胞子は著しい瘤状で、Subgenus *Inocybe* に所属する。20040816057、鳥尾 (ブナ・ナラ林)、井上幸子。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア、側シスチジアはメチュロイド、胞子は瘤状楕円形で、Subgenus *Inocybe* に所属する。20040816058、三の塔、中島 稔。

クロカミトマヤタケ (MT) *Inocybe* sp.

傘はクリーム色地に黒褐色圧着繊維状鱗片 (黒髪様)、柄は淡褐色地に繊維鱗片。胞子は淡褐色、平滑、楕円形で 8.5-9.5 × 5.1-6.0 μm。結晶付きの紡錘形メチュロイドあり。Subgenus *Inocibium* に所属の *Inocybe astroumbonata* ナカグロトマヤタケに、微視形質はほぼ合致するが、傘鱗片が暗赤褐色とあり、標本の黒褐色と相違する。20040901101、長尾尾根 モノレール山頂駅付近、中島 稔・西村幹雄。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジアは球嚢形、胞子は平滑の卵形で Subgenus *Inosperma* のアシプトシラゲアセタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1590) に似るが、柄シスチジアが見られず。20040901104、長尾尾根 モノレール山頂駅付近、市川敦子。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア、側シスチジアともにメチュロイド、胞子は瘤状の楕円形で Subgenus *Inocybe* 所属の *Inocybe leptoclada* モモエノトマヤタケに微視形質は合致する。20040901105、長尾尾根、山口義夫。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア、側シスチジアともにメチュロイド、胞子は疣状の球形でほぼ星形で、Subgenus *Inocybe* に所属する。20040901106、長尾尾根、山口義夫。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア、側シスチジアともにメチュロイド、胞子は平滑楕円形で Subgenus *Inocibium* に所属する。標本 20040901101 クロカミトマヤタケ (MT) と同じかもしれない。20040901108、長尾尾根、井上幸子。

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジアは球嚢状、胞子は平滑の楕円形で、キヌハダトマヤタケに酷似するが、標本はヒダが直生し、上へ離生する標準と相違。

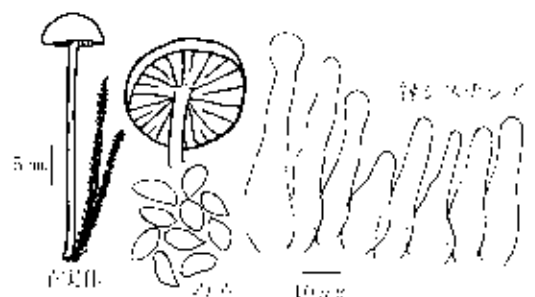


図 54. スナゴケタケ (KT) *Galerina* sp. (20051025029 大又沢 清

20040901111, 長尾尾根, 城川四郎.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジアは球嚢状, 胞子は平滑楕円形で, Subgenus *Inosperma* に所属するであろう. 標本 20040901104 と同じ可能性あり. 20040901112, 長尾尾根, 清水芳治.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア, 側シスチジアともにメチュロイド, 胞子は疣状楕円形で, Subgenus *Inocybe* に所属する. 20040901116, 長尾尾根, 清水芳治.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア, 側シスチジアともにメチュロイド, 胞子は瘤状楕円形で, Subgenus *Inocybe* に所属する. 柄シスチジアは柄の全域に分布. 20040908054, イデン沢, 清水芳治.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

縁シスチジア, 側シスチジアともにメチュロイド, 胞子は瘤状の小さな楕円形 6-7 × 3-5.5 μm で Subgenus *Inocybe* に所属. 20040922055, 長尾尾根, 清水芳治.

キイロシスチジアアセタケ (KT) *Inocybe* sp.

傘は明褐色の鱗片に覆われ, ややまだら状, 中央が濃色, 径 40mm. ひだは上生. 肉はほぼ白色. 柄は 30mm × 8mm, 淡褐色を帯び, 基部は膨らまない. 胞子は楕円形, 8-10 × 4-5 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 側シスチジアの方がやや大きい. ほぼ 60 × 20 μm, 一部のシスチジアには黄色い内容物が含まれる特徴がある. 柄には上下ともにメチュロイドがあるが下部はまれである. Subgenus *Inocibium* に所属する. 20051004035, 大又沢, 井上幸子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

20040616062, 20040616062, 20040616063, 20040616064 は同一種.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

傘は丸山型, 黄褐色, 頂部鱗片は少し小さく, 径 20mm. ひだはほとんど離生. 柄は 35mm × 4mm, 淡褐色, 中実, 基部はほとんど膨れない. 胞子は目立つこぶ状, 6-7 × 4.5-5 μm. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側とも同形同大, 60 × 15 μm. 柄の上下にもメチュロイドがある. Subgenus *Inocybe* に所属. *I. polycystidiata* に近いと思われる. 20050802065, イデン沢, 井上幸子.

ネバリアセタケ (KT) *Inocybe* sp.

傘は丸山型, 茶褐色, 湿時, 強い粘性がある. 径 15mm. ひだは直生, やや密. 柄は上部白く, 下部淡褐色を帯び, 35mm × 4mm, 中実, 基部は多少太まる. 胞子は楕円形, 6-7 × 4-5 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側ほぼ同形同大, 60 × 15 μm. 柄には上部だけメチュロイドがあり, 下部にはない. 傘は平行菌糸. クランプがある. Subgenus *Inocybium* に属する. *I. microspora* に近いと思われるが柄上部にはメチュロイドがあり, 傘の粘性が顕著である. 20050906035, 菰釣山, 宮川一孝.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

20050913009.

シロエリカツオオトマヤタケ (KT) *Inocybe* sp.

外形と胞子の大きさなどはオオキヌハダトマヤタケに一致するが傘の色は栗褐色で柄が白色であること, 縁シスチジアが大型で 60 μm に達することなどがオオキヌハダトマヤタケの変異の範囲と考えられるかどうか疑問なので一応標記の仮称で区別しておく. Subgenus *Inosperma* に属す. 20050927017, 県民の森, 岡 はま子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

検討中. 20050927018.

オオトマヤタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.1160) *Inocybe* sp.

傘の色が栗褐色であることと, 胞子がやや小さく 8-9 × 5-6 μm であることがオオキヌハダトマヤタケとの相違点である. 同種の変異の範囲内とも考えられるがいちおう記録する. 20050927019, 県民の森, 市川敦子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

20050927020.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

傘は淡褐色, 径 55mm. ひだは上生. 柄は淡褐色, 50mm × 5mm, 基部は少し膨れる. 胞子は 10^11 × 5-6 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側とも同形同大, 70 × 20 μm. 柄にシスチジアはない. Subgenus *Inocybium* に属する. *I. pseudodestrica*

に近いと思われる. 20050927022, 県民の森, 井上幸子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

検討中. 20050927023.

スナジチビアセタケ (KT) *Inocybe* sp.

川原の砂地に群生する. 傘は径 4mm, 中央は突出する. 柄は長さ 12mm. 胞子は楕円形, 8-9-(11) × 5 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側, 同形同大, 60 × 12 μm. 柄に毛状菌糸があるがメチュロイドの有無は未確認. 検討不十分の点もあるが生態的特徴と微小な子実体であることから出会えば認識できると思われる. Subgenus *Inocybium* に属する. 20051004034, 大又沢, 岡 はま子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

検討中. 20051004040.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

傘は茶褐色, 径 20mm. 柄は 60mm × 3mm. 胞子は楕円形, 8-10 × 5-6 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側ほぼ同形同大, 70 × 10 μm. 柄には上下ともメチュロイドがある. Subgenus *Inocybium* に属する. 20051004041, 大又沢, 城川四郎.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

検討中. 20051004042.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

検討中. 20051004044.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

傘は暗赤褐色, 径 25mm. 柄は 35mm × 4mm, 淡褐色を帯び中実, 基部は少し膨らむ. 胞子は 5-6 × 3-4 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側とも同形同大, 55 × 10 μm. 柄にもメチュロイドがあるが下部にはまれ. Subgenus *Inocybium* に属する. コアセタケ *I. microspora* に近いが, それは柄にメチュロイドはないという. 20051004045, 大又沢, 井上幸子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

検討中. 20051004046.

タマカウロアセタケ (KT) *Inocybe* sp.

傘は淡黄褐色, ほぼ平開, 放射状繊維鱗片がある. ひだは上生, やや密. 肉はほぼ白. 柄は淡褐色を帯び, 中実, 55mm × 5mm, 基部はかぶら状. 胞子は 10^11 × 5-6 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側ともほぼ同形同大, 柄には上下ともメチュロイドがあるほか下部には球嚢状薄壁のシスチジアが目立つ. Subgenus は *Inocybium* に所属. 20051004047, 大又沢, 井上幸子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

検討中. 20051025035.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

傘は黄褐色, 低い中丘があり, 径 15mm. ひだは上生. 柄は褐色を帯び, 40mm × 3mm, 基部は塊茎状. 奉仕は楕円形, 9-11 × 5-6 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側, ほぼ同形同大, 60 × 15 μm. 柄には上下ともメチュロイドがある. Subgenus は *Inocybium* に所属, *I. godeyi* に近い. 20051025036, 大又沢, 井上幸子.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

傘は黄褐色, 放射状繊維を被り, 径 20mm, 丸山型. ひだは上生, やや密. 柄は白く 40mm × 4mm, 基部は塊根状. 胞子は楕円形, 8-10 × 4-5 μm, 平滑. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側, ほぼ同形同大, 柄部があり, 腹部も狭く, 頸部が長いのでスマートである. 柄には上部にだけメチュロイドがあり, 下部にはない. Subgenus *Inocybium* に所属. *I. logeniformis* に近い. 20051025037, 大又沢, 清水芳治.

アセタケ属の一種 *Inocybe* sp.

資料は幼菌. 傘は暗褐色, 柄は 100mm × 10mm, 白色, 基部は塊根状, 奉仕は目立ってこぶ状, 8-12 × 6-7 μm. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側とも同形同大, 70 × 20 μm. 柄の上下にもメチュロイドがある. 顕微鏡的特徴はカブラアセタケに似るが胞子がやや小さく, シスチジアの頸部がやや短い. Subgenus *Inocybe* に所属. *I. horakomyces* に近い. 20051025038, 大又沢, 市川敦子.

コツブコブアセタケ (KT) *Inocybe* sp.

資料は幼菌子実体 1 個. 傘は淡灰褐色 (採取のときは灰白色に見えたのでシロニセアセタケを想定した), 径 15mm, 山形. ひだは上生. 柄は汚白色, 中実, 35mm × 4mm, 基部は膨らまない. 胞子はこぶ状, 5-6 × 4-5 μm. シスチジアはメチュロイド, 縁, 側, ほぼ同形同大, 70 × 15 μm. 柄には上部だけメチュロイドがある. 顕微

鏡の特徴はコブアセタケに似るが胞子が小さいなど明らかに異なる。Subgenus *Inocybe* に所属。20050927015, 県民の森, 城川四郎。

チャヒラタケ科 Crepidotaceae

マルミノチャヒラタケ *Crepidotus applanatus* (Pers.) P.Kumm.

傘はごく淡い褐色, 無毛。まれ。20040616030。

クリゲノチャヒラタケ *Crepidotus badiofloccosus* S.Imai

普通種。20040616033。

ヒカゲチャヒラタケ (青木 T, 日本きのこ図版 No.882) *Crepidotus* sp.

傘は白色。20040705158。

カギナシマルミノチャヒラタケ (MT) *Crepidotus* sp.

傘表面, ヒダ間を白綿 (カビ?) 覆い, 大きく変形。ヒダにシスチジアを欠く。菌糸にクランプを欠く (仮称カギナシの由来)。胞子は淡褐色, 微刺球形で $6.3\mu\text{m}$ 径。既知の球形胞子型のチャヒラタケ (---- マルミノチャヒラタケ) は, 皆クランプを持つ。20040816053, 三の塔, 三村浩康。

タンザワマルミノチャヒラ (MT) *Crepidotus* sp.

クリーム白の平滑ヒラタケ形傘, 痕跡柄, 根元に白粗毛, 傘頂部 (柄膨れ) に白粉末。淡褐色微刺球形胞子で $5.1-5.4\mu\text{m}$ 径。屢被った棍棒~紡錘形のシスチジアがある。ハコネマルミノチャヒラタケに似るが, シスチジアを欠く。20050628126, 堂平, 井上幸子。

ナガイトコナカブリ (KT) *Crepidotus* sp.

材上に生える白色ヒラタケ形の菌である。若く新鮮なときは全体が純白である。傘は径ほぼ 15mm , 基部付近から辺縁部まで全面に純白の微毛に覆われており, 基部には特に長粗毛がある。ひだは初め純白で後に褐色を帯び, 基部まで達する大ひだは少ないが小ひだが多いので疎であるという印象は受けない。傘基部で材に着生し柄はない。胞子は楕円形, $6-7 \times 4-4.5\mu\text{m}$ 。縁シスチジアは著しく長く, 長円筒状~糸状で $100-180 \times 10-15\mu\text{m}$ 。側シスチジアはない。傘面の微毛の菌糸は径 $5\mu\text{m}$, 先端の方の節間が $15-25\mu\text{m}$ で比較的短い。クランプがある。縁シスチジアが糸状で長いことを強調して標記の仮称とした。20050607072, 西丹沢イデン沢, 井上幸子, 図 55 参照。

チャヒラタケ属の一種 *Crepidotus* sp.

検討中。20050607073。

オオクリゲノチャヒラタケ (KT) *Crepidotus* sp.

神奈川県内でいつも観察するクリゲノチャヒラタケの成長したものは傘の毛が密ではなく, 傘の色は淡色である。本品の傘は幅 6cm を超える大型で, 黄褐色の綿毛を密生し, 淡色の地色は全く見えない。胞子は球形, 径 $6-7\mu\text{m}$ 。縁シスチジアは類円柱状, 著しく不規則に屈曲するものが多く, ほぼ $30 \times 8\mu\text{m}$ 。傘鱗片の菌糸は $40-50\mu\text{m}$ 間隔の隔壁で, 径 $10\mu\text{m}$ 。20050628106, 堂平, 宮川一孝。

チャヒラタケ属の一種 *Crepidotus* sp.

検討中。20050906037。

チャヒラタケ属の一種 *Crepidotus* sp.

検討中。20050913045。

ワタゲチャヒラタケ (KT) *Crepidotus* sp.

傘は偏円形, 横径 20mm , 全面, 白色綿毛に覆われ, 綿毛の剥落した辺縁では条線が明瞭。胞子は球形, $6-7\mu\text{m}$ 。縁シスチジアはこん棒状, $40-50 \times 10-15\mu\text{m}$ 。傘の綿毛菌糸は径 $8\mu\text{m}$, クランプがある。20050913046, 堂平, 三村京子。

ブレウロチャヒラタケ (KT) *Crepidotus* sp.

傘は偏円形, 横径 40mm , 白色, 基部有毛。肉の厚さ 2mm 。ひだは大ひだほぼ 20 枚, 幅 7mm 。胞子は球形, 径 $6-8\mu\text{m}$ 。縁シスチジアは円頭の円柱状, ほぼ $40 \times 8\mu\text{m}$ 。側シスチジアは類フラスコ型, 紡錘形など多形, $30-50 \times 10\mu\text{m}$ 。傘表皮菌糸は径 $5-10\mu\text{m}$, クランプがある。白いチャヒラタケは一見みな同じように見えて別種であることに気がつきにくい。本種もその一つで, *Crepidotus* としては側シスチジアを持つ珍しい種類である。20050628108, 堂平, 市川敦子。

オウカツヒメムクエ (MT) *Simocybe reducta* (Fr.) P.Karst.

傘は黄褐色繊維状, やや粉状, 表皮に錯綜短胞菌糸有り, クランプも有り。柄は傘色繊維状。ヒダは傘色直垂厚で 18 枚, 白粉縁取り, 波状棍棒~数珠形シスチジア有り。胞子は淡褐色, 平滑, 厚壁, 広楕円形で $8.5 \times 5.1\mu\text{m}$ 。 *S. reducta* に該当すると判

断。20050607101, イデン沢, 岡 はま子。

ピロードムクエタケ属の一種 *Simocybe* sp.

材上生。傘は黄色地に茶色繊維状薄膜被, 表皮は柵状ではないが立毛状, 菌糸にクランプ有り。柄は偏心生。ヒダは暗黄色, 直疎広で 14 枚, 黄色粉状縁取り。胞子はやや厚壁, 淡褐色, 平滑。20050906106, 菰釣山。

ピンノクビナガムクエ (MT) *Tubaria* sp.

傘は汚黄褐色, hygrophanous, 表皮は匍匐菌糸。柄は赤褐色, 繊維状, ややササクレ状, 菌糸にクランプ有り。ヒダは肉桂色, 直垂, 首長瓶形の縁シスチジア (クリソシスチジアではない) 有り。胞子は黄褐色で殆ど平滑レモン形 $10.2 \times 5.4\mu\text{m}$ 。20041014067, 堂平, 井上幸子。

チャムクエタケ属の一種 *Tubaria* sp.

傘は黄土褐色繊維状, 表皮に匍匐~やや平行菌糸。ヒダは傘色で直湾, やや密, $29 \sim 32$ 枚。縁シスチジアは円柱状棍棒形 (少ない), 側シスチジアは棍棒形 (多い)。胞子は淡褐色, 平滑, 広楕円形で $6.8-8.5 \times 4.3-4.8\mu\text{m}$ 。20050906107, 菰釣山。

イッポンシメジ科 Entolomataceae

ヒカゲウラベニタケ *Clitopilus prunulus* (Scop.) P.Kumm.

20040728041。

コキイロウラベニタケ *Entoloma ater* (Hongo) Hongo & Izawa

20051004105。

フタツミウラベニタケ *Entoloma bisporus* Hongo

材上生, 小菌。20040604508。

キイボカサタケ *Entoloma murravi* (Berk. & M.A.Curtis) Sacc.

本標本はスギ倒木上に発生。20040705134。

シロイボカサタケ *Entoloma murrarii* (Berk. & M.A.Curtis) Sacc. f. *albus* (Hiroe) Hongo

普通種。20040901120。

コクサウラベニタケ *Entoloma nidorosum* (Fr.) Quél.

普通種。20040922042。

クサウラベニタケ *Entoloma rhodopolium* (Fr.) P.Kumm.

普通種。20040901064。

イッポンシメジ *Entoloma sinuatus* (Bull.) Singer

要検討。20040922041。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘柄共に黒微鱗片を付ける。柄は条線有り。ヒダは最初白, 40 枚。胞子は淡色, 五六角で $10.2-10.5 \times 8.2-8.5\mu\text{m}$ 。ヒダがやや密ながら, モミウラモドキ亜属の *E. rusticoides* に近縁か。20051004098, 大又沢, 城川四郎。

ツヤシワヒメイッポンシメジ (KT) *Entoloma* sp.

傘は暗茶褐色, 径 15mm , 低い山形, 光沢があり, 長い放射状隆起線 (溝線) があり, 裏面の脈間連絡のしわが隆起するため環条のしわがあるように見える。胞子は広楕円状多角形, $8-10 \times 6-7\mu\text{m}$ 。20040922043, 金林沢, 三村京子。

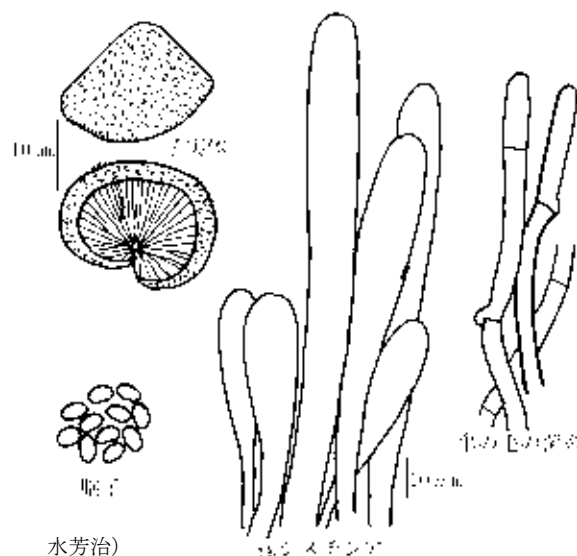


図 55. ナガイトコナカブリ (KT) *Crepidotus* sp. (20050607072 西丹沢イデン沢 井上幸子)

サクラハルシメジ (KT) *Entoloma* sp.

ハルシメジの一種。生育地直近にバラ科のカマツカとマメザクラがある。ウメハルシメジに比べ傘色が褐色系(ねずみ色系ではない)、中丘や、柄の縦条が目立たない。傘中央付近の霜降り状は同じ。試葉検討せず。要継続検討。20050524018, 大山, 城川四郎。

コケノモミウラ (MT) *Entoloma* sp.

苔間に発生。菌糸にクランプを欠くとされるミイノモミウラモドキに酷似するが、本標本は希ながらクランプを持つ。20050628124, 堂平。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘、柄とも橙黄色の小菌。傘は頂部が約80度の山形、径12mm、放射状のしわがある。ひだは直生〜少し上生、やや疎、橙色、幅5mm。柄は傘と同色、30mm×4mm、中空。胞子はほぼ四角形、一辺が10μm、大油球1個がある。縁シスチジアはこん棒状、30×13μm。ひだに多くの油脂菌糸が走る。菌糸にクランプはない。20050906039, 菰釣山, 巖 昭子。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘は黄茶褐色、低い丸山型、径40mm、放射状繊維鱗片を被る。傘肉は極めて薄く厚さ0.5mm。ひだは直生〜少し上生、幅8mm。柄は55mm×9mm、繊維状鱗片が縦にねじれて着く。胞子は歪んだ多角形、10-12×8μm。縁シスチジアは細い便腹型、ほぼ80×13μm、密生。傘鱗片菌糸は並列し、円頭で径10μm。20050927027, 県民の森, 清水芳治。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘は青紫色、径40mm、中央部は少し凹む。ひだはやや疎、上生〜離生、縁どりはない。柄は長さ30mm、傘と同色。胞子は不規則に角ばった楕円形、ほぼ10×8μm。縁シスチジアは円筒状、紡錘形、こん棒状など、50-60×10-15μm。傘鱗片菌糸の末端部は太くて短節の長楕円体の細胞の連なりになり、青紫色の液胞に満たされる。アオエノモミウラモドキ亜属 Subgenus *Lepionia* に属する。はじめヒメコンイロイッポンシメジを想定したが別種である。*E. chalybaeum* かそれに近いものであろう。20051004049, 大又沢, 巖 昭子。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘、柄ともに暗褐色、傘の径12mm、柄の長さ25mm。胞子は角ばった不規則広楕円形、11-12×7-8μm。シスチジアはない。菌糸にクランプがる。20051004050, 大又沢, 岡 はま子。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘は暗茶褐色、径30mm。柄は褐色を帯び、60×5mm。胞子は不規則広楕円形、10×7-9μm。傘上表皮は径5μmの平行菌糸よりなる。20051004052, 大又沢, 清水芳治。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘は径35mm、中央少し凹み、放射状暗褐色鱗片が中央は密にあり、周辺次第にまばらに覆う。やや光沢がある。ムジナイッポンシメジ (KT) に似る。胞子は不規則広楕円形、10×6-8μm。縁シスチジアは円柱状で頂部が急に細くなるものなど変化があり、50°70×10-15μm。ひだ組織には油脂菌糸が発達する。傘鱗片は暗褐色の細胞液を満たした径10μmの平行菌糸からなる。菌糸にクランプはない。20051004053, 大又沢, 宮川一孝。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

傘は黄土〜黄土褐色、やや繊維状〜絨状。柄は傘色で繊維状、根元に白密綿毛あり。ヒダは最初クリーム色、直湾垂生で広疎19〜20枚。シスチジアを欠き、胞子は振れた四角で10.2-11.9μm長。*E. nitens* (胞子は7.7-10×7.5-9.8μm) に近縁か。20051004094, 大又沢。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

地上生の褐色小菌。傘は径10mm、放射状の肋が明瞭。乾くと肋間に細い横しわが密にできる。胞子は角ばった不整楕円形、10-12×6-7μm。シスチジアはない。菌糸にクランプを欠く。20051025039, 大又沢, 宮川一孝。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

地上生褐色小菌。傘は径10mm。柄は長さ35mm。胞子は角ばった不整楕円形、10-12×6-7μm。縁シスチジアは円柱状、30-40×8μm。菌糸はクランプを欠く。20051025040, 大又沢, 城川四郎。

イッポンシメジ属の一種 *Entoloma* sp.

五六角胞子。やや波打ちの頭付き円柱形縁シスチジアがあり、形質は*E. exile* に似る。20051025069, 大又沢, 宮川。

ヒロヒダヒメシロウラベニ (MT) *Entoloma* sp.

傘は極淡褐色〜水白。ヒダは直湾生で、広く厚く18枚、ヒメシロ

ウラベニタケに酷似するが、違いはヒダが広いこと。20050607089, イデン沢。

エントロマ・ヴェルサチレ *Entoloma versatile* (V. Brig) M.M.Moser
少数群生。傘は三角山形、暗褐色、放射状内生繊維あり、少し光沢があり、径25mm。肉は極めて薄く0.5mm。ひだは上生〜離生、はば4mm。柄は長さ50mm。胞子は角ばった不整広楕円形、10-12×7-8μm。縁シスチジアは両端が細く尖る紡錘形、70-80×15-20μm。側シスチジアも同形で散在。傘表皮は並列菌糸よりなる。菌糸にクランプがある。標記種の文献記載よりも本品のシスチジアの幅が狭いので近縁別種の可能性もある。20051025041, 大又沢, 井上幸子。

ムツノウラベニタケ *Rhodocybe mundula* (Lasch) Singer
20040922047。

ヒダハタケ科 Paxillaceae

コゲチャヒロハアンズタケ *Hygrophoropsis bicolor* Hongo

まれ。20050802067, イデン沢, 城川四郎。

ヒダハタケ *Paxillus involutus* (Batsch) Fr.

普通種。20040816097。

イグチ科 Boletaceae

ヒメコウジタケ *Boletus aokii* Hongo

20040908023。

コガネヤマドリ *Boletus auripes* Peck

普通種。20050913048。

オオウラベニイロガワリ *Boletus erythropus* Pers.

地上生大型菌。まれ。傘は赤褐色、径8cm。下面孔口は暗赤色。傘肉は黄色。柄は6×1.5cm、暗赤色の粒点を密布、下部は縦の繊維条が目立つ。柄の肉は中部より下は赤色を帯びる。柄基部には褐色の菌糸束がある。胞子は13-16×5μm。縁シスチジア、側シスチジアはともに細い紡錘形で両端は細く伸び、70×10μm。柄シスチジアはこん棒状、25×10μm。20040816100, 三の塔, 清水芳治。

イロガワリ *Boletus pulverulentus* Opat.

普通種。20040728012。

スミジメヤマイグチ *Leccinum griseum* (Quél.) Singer

普通種。20040705011。

シワチャヤマイグチ *Leccinum hortonii* (A.H.Sm. & Thiers) Hongo & Nagas.

普通種。20040816101。

キヒダタケ *Phylloporus bellus* (Massee) Corner

ブナ科の樹林或いはブナ科を交えたアカマツ林に比較的普通に発生。20040901102, 長尾尾根, 中島 稔。

キヒダタケ属の一種 *Phylloporus* sp.

フェノール赤変。20040908083。

チチアワタケ *Suillus granulatus* (L.) Roussel

20051004255。

アケボニアワタケ *Tylopilus chromapes* (Frost) A.H.Sm. & Thiers

20040719002。

ウラグロニガイグチ *Tylopilus eximius* (Peck) Singer

20050927028。

アイゾメクロイグチ *Tylopilus fumosipes* (Peck) A.H.Sm. & Thiers

20040728042。

キッコウアワタケ *Xerocomus chrysenteron* (Bull.) Quél.

普通種。20040705016。

アワタケ *Xerocomus subtomentosus* (L.) Quél.

普通種。20050921015。

ベニタケ科 Russulaceae

アオゾメツチカブリ *Lactarius glaucescens* Crossl.

20050802042。

ヌメリハツ *Lactarius glutininens* Har.Takah.

普通種。20040901071。

ハツタケ *Lactarius hatsudake* Tanaka

普通種。20051025130。

ヒロハチチタケ *Lactarius hygrophoroides* Berk. & M.A.Curtis

普通種。20040908085。

カラハツモドキ *Lactarius insulsus* (Fr.) Fr.

20051004261.

アカモミタケ *Lactarius laeticolor* (S.Imai) Imazeki ex Hongo

普通種. 20041014006.

ツチカブリ *Lactarius piperatus* (L.) Pers.

乳液白〜クリーム色, 味は激辛. 普通種. 20040728001.

ウスイロカラチチタケ *Lactarius pterosporus* Romagn.

傘表皮細胞は柵状に並ぶ. 普通種. 20050906043.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

ニセヒメチチタケ *Lactarius camphoratus* (Bull.) Fr.? かと思われるが判然としない. 20040901074.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

傘の色は灰褐色, 強い粘性. 乳液白, 柄にクレーターあり, 変色性無く, 強烈辛, 乳量多い. 丹沢では普通種. 胞子は類球形, 径 8-10 μ m, 不完全な太い網目模様がある. 縁シスチジアは 50-60 $\times$ 7 μ m, 少ない. 傘表皮は径ほぼ 4 μ m の菌糸が不整に立ち上がる, ゼラチン化は不明. 20050906041, 菰釣山, 巖 昭子.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

傘は茶褐色, 強粘性, 胞子は類球形, 径 10-11 μ m, 不完全な網目模様がある. 縁シスチジアは円柱状, 30 $\times$ 6 μ m. 側シスチジアは頂部が鋭く尖る紡錘形, 60-80 $\times$ 15 μ m. 傘表皮は錯綜菌糸で不規則に立ち上がり, ゼラチン化する. 20050913054, 堂平, 増子忠治.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

傘は淡灰褐色, 強粘性, 径 50mm, 環紋なし. ひだは弱垂生, やや疎, 淡褐色を帯びる. 柄は 50 $\times$ 15mm, クレーターがある. 乳液は淡白色, あと口が辛い. 胞子は類球形, 径 6 μ m, 縁シスチジアは頂部の尖った円柱状, 70 $\times$ 10 μ m. 側シスチジアもほぼ同形. 傘表皮は錯綜菌糸よりなり, ゼラチン化している. 20050913055, 堂平, 増子忠治.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

傘は赤褐色, 強粘性, 環紋なし, 中央凹む, 径 40 $\times$ 10mm. ひだは褐色を帯び, 弱垂生. 柄は 40 $\times$ 10mm, 褐色を帯び, 少数のクレーターがあり, 中空. 胞子は類球形, 径 6-7 μ m. 縁シスチジアは円柱状, 40 $\times$ 7 μ m. 側シスチジアは円柱状, 60-80 $\times$ 10 μ m. 傘表皮は錯綜菌糸で立ち上がりゼラチン化している. 20050913059, 堂平, 宮川一孝.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

検討中. 20050913060.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

乳液は水様, 変色性無し. 検討中. 20051004060.

チチタケ属の一種 *Lactarius* sp.

検討中. 20051004061.

チチタケ *Lactarius volemus* (Fr.) Fr.

普通種. 20050802001.

アイバシロハツ *Russula chloroides* (Krombn.) Bres.

普通種. 20050802070.

キツネハツ *Russula earlei* Peck

この標本は青木仮称のザラツキシロハツ (青木 T, 日本きのこ図版 No.184) に一致する. 標記学名の菌と子実体の外形から同種であろうと判断して標記した. ときによって広葉樹林の林床に多生する. 20051004258.

ドクベニタケ *Russula emetica* (Scaeff.) Pers.

普通種. 20040901146.

クサハツ *Russula foetens* (Pers.) Pers.

普通種. 20040908024.

コベニタケ *Russula fragilis* Fr.

傘は淡赤紫色, 表皮は糸状菌糸と糸状グレイエオ菌糸が立ち上がる. 胞子は広楕円形, 7 $\times$ 5 μ m. 胞子が文献記載よりやや小さい. 20040816103, 三の塔.

クサハツモドキ *Russula laurocerasi* Melzer

普通種. 20050802041.

ヤブレベニタケ *Russula lepida* Fr.

普通種. 20040901148.

ニオイコベニタケ *Russula mariae* Peck

普通種. 20051025043.

ドクベニダマシ *Russula neoemetica* Hongo

普通種. 20040816102.

クロハツ *Russula nigricans* (Bull.) Fr.

普通種. 20040604509.

シュイロハツ *Russula pseudointegra* Arnould & Goris

普通種. 20051004056.

ルススラ・リヴリコラ *Russula rivulicola* Ruots.& Vauras

傘は淡桃褐色, 周辺溝線あり, 粘性なし. ひだは白色, 密. 柄は白色. 胞子は 7-9 $\times$ 6-7 μ m. 先端に小突起のある縁シスチジアが多い. 傘表皮には径 8 μ m 程度のグレイエオ菌糸が多数立ち上がる. 標本同定のための子実体の特徴把握は不十分であるが顕微鏡的特徴は標記学名の菌によく一致する. 20050702006, 三国山, 西村幹雄.

チシオハツ *Russula sanguinea* (Bull.) Fr.

普通種. 20051004057.

ベニタケ属の一種 *Russula* sp.

検討中. 20040922048.

チョコレートハツ (KT) *Russula* sp.

Russula fuliginosa の近似種, 味無し, 傷つけると褐変. 20040922050.

ベニタケ属の一種 *Russula* sp.

検討中. 0041014041.

ベニタケ属の一種 *Russula* sp.

検討中. 20050913049.

ベニタケ属の一種 *Russula* sp.

傘は紅色で, 柄は白で縦脈, ヒダは黄土色. 胞子は連絡糸のない刺状の類球形で 8.5-9.4 $\times$ 7.7 μ m. 傘表皮は赤色素を持つ短胞菌糸と分岐菌糸, 傘シスチジアは見落としが懸念される. ウスクレナイタケの可能性あり. 20050913113, 堂平.

ベニタケ属の一種 *Russula* sp.

傘は紅色, 柄は白地に頂部で傘色の染みを見る. ヒダは白. 胞子は連絡糸のない微刺状の類球形で 6.8-7.7 $\times$ 6-6.8 μ m. 傘表皮はピンク色素を持つ球囊細胞が子実層状に並び, 結晶付き棍棒形の傘シスチジアが散在する. 20050913114, 堂平.

ヒダブンキウスカバイロハツ (KT) *Russula* sp.

傘は淡黄土褐色, 径 7cm, 低い丸山型から周辺反り返る, 粘性はなく, 表皮は剥げにくい. ひだは白色, 密, 基部から辺縁まで全長にわたって頻繁に分岐し, 小ひだを作らないのは著しい特徴である. 柄は白色, 円筒状, 7 $\times$ 2cm, 中実ただし, 部分的空隙をつくる. 胞子は広楕円形, 9-10 $\times$ 6-8 μ m. 縁シスチジア, 側シスチジアは細い棒状で 60-70 $\times$ 5-7 μ m. 傘表皮にはグレイエオ菌糸がほとんど無く表皮下の肉部にグレイエオ菌糸が多在する. 20051004055, 大又沢, 井上幸子.

ベニタケ属の一種 *Russula* sp.

検討中. 20051004058.

チギレハツタケ *Russula vesca* Fr.

普通種. 20040705084.

腹菌亜綱 Gasteromycetidae

ツチグリ科 Astraeaceae

ツチグリ *Astraeus hygrometricus* (Pers.) Morgan

普通種. 20040604601.

ニセショウロ科 Sclerodermataceae

ハマニセショウロ *Scleroderma bovista* Fr.

20040908052.

クチベニタケ科 Calostomataceae

ホオベニタケ *Calostoma* sp.

丹沢には基本種のクチベニタケも分布するが今回の調査では採集されなかった. 本種は全体に淡紅色を帯びる. 20040901185.

チャダイゴケ科 Nidulariaceae

コチャダイゴケ *Nidula niveotomentosa* (Henn.) Lloyd

普通種. 20040816022.

ヒメツチグリ科 Geastraceae

ヒナツチガキ *Geastrum mirabile* Mont.

20040901096.

フクロツチガキ *Geastrum saccatum* Fr.

普通種. 20050927075.

ケブクロツチガキ *Geastrum velutinum* Morgan

普通種. 20050921018.

ホコリタケ科 Lycoperdaceae

コツブダンゴタケ *Bovista aspera* Lév.

本種は比較的分布の多い種であるが従来の日本の図鑑類には紹介されていなかったためにほとんど知られていなかった。また、分類上の位置についてホコリタケ属としてあつかわれ、*Lycoperdon asperum* という学名を用いてきた。糟谷大河氏によると、近年、シバフダンゴタケ属に所属が変更され標記の学名を用いるようになったという。彼が提唱している標記の和名で整理する。白色、偏球形で外皮はごく短い束状刺からなり、胞子は長柄をつける。20040908133.

ボヴィスタ・デルモキシサンタ *Bovista dermoxantha* (Vittad.) De Toni
胞子は径4μm、弾糸は比較的分岐が多い。要再検討。20051025060, 大又沢, 増子忠治。

ノウタケ *Calvatia craniformis* (Schwein.) Fr.
普通種 (胞子球形井上確認)。20040705057.

タマノウタケ *Calvatia fragilis* (Vittad.) Morgan
材上生。ブナ帯に生える。20040922152.

アラゲホコリタケモドキ *Lycoperdon pedicellatum* Peck
まれ。20050802085, イデン沢, 清水芳治。

ホコリタケ *Lycoperdon perlatum* Pers.

普通種. 20040908119.

タヌキノチャブクロ *Lycoperdon pyriforme* Schaeff.

普通種. 20050412040.

アミメホコリタケ (KT) *Lycoperdon* sp.

20040816113.

キホコリタケ *Lycoperdon spadiceum* Schaeff

普通種. 20040908122.

コゲホコリタケ (ネッタイツブホコリタケ) *Lycoperdon umbrinoides*
Dissing & M.Lange.

本種について吉見昭一氏はコゲホコリタケの仮称で学名に *L. molle* Pers を当てた。糟谷大河氏はその学名が誤りで標記の学名が正しいとし、ネッタイツブホコリタケの和名を提唱した。しかし、吉見氏は *L. molle* という学名にコゲホコリタケの名を当てたのではなく、標本に仮称を与え、後に誤った学名を当てた。世界的分布はとにかく、神奈川県内における分布を見ると本種は丹沢など標高の高い地域の方が分布が多い。和名としてはコゲホコリタケが適当であると考え。20040922161.

アミメホコリタケ (KT) *Morganella* sp.

要再検討。20040816114.

モルガネルラ属の一種 *Morganella* sp.

径8mmの袋状、胞子は径4μm、微粗面。真正弾糸を欠く。要検討。20050913085, 丹沢山, 城川四郎。

ホコリタケ科の一種 所属検討中

砂地のスギゴケ類基部に発生。径15mmの袋状、一見ホコリタケに似る。胞子は径3-4μm、真正弾糸発達。無性基部を欠く。外皮が屈曲菌糸よりなる点、著しい特徴と考えられる。20051025058, 大又沢, 清水芳治。

スッポンタケ目 Phallales

アカカゴタケ科 Clathraceae

カニノツメ *Linderia bicornata* (Kusano) G.Cunn.

普通種. 20051004081.

スッポンタケ科 Phallaceae

キツネノエフデ *Mutinus bambusinus* (Zoll.) E.Fisch.

普通種. 20051004272.

キツネノエフデ *Mutinus caninus* (Huds.) Fr.

普通種. 20050628117.

スッポンタケ *Phallus impudicus* L.

普通種. 20040816025.

ヒメノガステル目 Hymenogastrales

ヒメノガステル科 Hymenogastraceae

ヒメノガステル・ニウエウス近縁種 *Hymenogaster* aff. *niveus* Vittad.
白色. 20041105104.

ヒメノガステル属の一種 *Hymenogaster* sp.

茶色, 軟骨質. 20041105105.

文 献

- 伊藤誠哉, 1955. 日本菌類誌 2(4), pp.137-138. 養賢堂, 東京.
中国科学院中国孢子植物誌編集委員会編, 2000. 中国真菌誌 18, pp.114-121. 科学出版社, 北京.
Bernicchia, A., 2005. Fungi Europaei Polyporaceae s.l., pp.229-233. Edizioni Candusso, Italia.
Bas, C., TH.W.Kuyper, M.E.Noordeels & E.C.Vellinga, 1990. Flora Agaricina Neerlandica 2, pp.53-54. A.A.Balkema, Rotterdam.
Ludwig, E., 2001. Pilzkompendium, Band I Berchtesgaden & Abbildungen, p53, IHWVerlag.
Corner, E.J.H., 1970. Supplement to "Monograph of *Clavaria* and allied genera", pp.283-286. Verlag Von J.Cramer.
Breitenbach, J. & F.Kranzlin, 1983a. Ascomycetes. Fungi of Switzerland 1, pp.110. Verlag Mykologia, Luzern, Switzerland.
Breitenbach, J. & F.Kranzlin, 1986b. Non gilled fungi. Fungi of Switzerland 2, pp.182. Verlag Mykologia, Luzern, Switzerland.
Breitenbach, J. & F.Kranzlin, 1991c. Boletes and Agarics 1st part. Fungi of Switzerland 3, pp.128. Verlag Mykologia, Luzern, Switzerland.
Breitenbach, J. & F.Kranzlin, 1995d. Agarics 2nd part. Fungi of Switzerland 4, pp.130. Verlag Mykologia, Luzern, Switzerland.
Kobayashi, T., 2002. The taxonomic studies of the genus *Inocybe*, 246pp. J.Cramer, Berlin.
Nunez, M. & L.Ryvarden, 2000a. East Asian Polypores 1, pp.40-43. Fungiflora, Oslo.
Nunez, M. & L.Ryvarden, 2000b. East Asian Polypores 1, pp.166-168. Fungiflora, Oslo.
Nunez, M. & L.Ryvarden, 2001c. East Asian Polypores 2. pp.197-219. Fungiflora, Oslo.
Mueller, G.M., 1992. Systematics of *Laccaria* in the Continental United States and Canada, with Discussions on Extralimital Taxa and Descriptions of Extant Types. pp.33-38, 108. Field Museum of Natural History (FIELDIANA, Botany), Chicago, Illinois.
Maekawa, N., 1993a. Taxonomic study of Japanese Corticiaceae 1. pp.25-26. Tottori Mycological Institute, Tottori.
Maekawa, N., 1993b. Taxonomic study of Japanese Corticiaceae 1. pp.49-50. Tottori Mycological Institute, Tottori.
Maekawa, N., 1994c. Taxonomic study of Japanese Corticiaceae 2. pp.35-36. Tottori Mycological Institute, Tottori.
Petersen R.H. & K.W.Hughes, 2004. A Preliminary monograph of *Lentinellus* (Russulales), pp.125-128. J.Cramer, Berlin.
Singer, R., 1986. The Agaricales in Modern Taxonomy, pp.459-465. Koenigstein, Germany.
Dennis, R.W.G., 1981. British Ascomycetes, pp.53. J.Cramer, Berlin.